

竹田市 総合計画策定のための
まちづくりアンケート調査結果報告書

令和4年3月

竹 田 市

目 次

I	調査の概要及び回答者の属性	1
1	調査の概要	1
(1)	調査目的	1
(2)	調査対象及び調査方法、回収結果	1
2	本調査報告書の基本的な事項	2
(1)	数値の基本的な取り扱いについて	2
3	回答者の属性	3
(1)	性別	3
(2)	年齢	3
(3)	職業	3
(4)	就学先・勤務先	4
(5)	居住歴	4
(6)	居住年数	4
(7)	世帯構成	4
(8)	居住地区	5
II	調査結果	6
1	竹田市の住みやすさについて	6
(1)	市の住みやすさ	6
(2)	今後の定住意向	8
(3)	住み続けたいと思う主な理由	10
(4)	住み続けたくないと思う主な理由	12
2	まちづくりの満足度とこれからの重要度について	14
(1)	まちの各環境に関する満足度	14
(2)	まちの各環境に関する重要度	21
(3)	満足度と重要度の相関（優先度）	28
4	まちづくりの意識と取り組みについて	31
(1)	健康管理のための取り組み	31
(2)	かかりつけ医の有無	33
(3)	環境に配慮した生活	35
(4)	3 R運動	37
(5)	公共交通機関の利用	39
(6)	災害時の避難場所	41
(7)	職場や地域での防災訓練への参加	43
(8)	市の講座や教室等の生涯学習活動への参加	45
(9)	地域のいろいろな行事への参加	47
(10)	地域活動やボランティアなどへの参加意向	49

(11) 市政に関する情報の入手先.....	51
(12) 市と一緒にまちづくりを考えてみたいか.....	53
(13) 頼りになる知り合いが近所にいるか.....	55
(14) 高齢者や障がい者にも暮らしやすい地域か.....	57
(15) 買い物や通院に便利な地域か.....	59
(16) 子育てに積極的な地域か.....	61
(17) 地域の子どもはのびのびと育っているか.....	63
(18) 地域の公共交通は便利だと思うか.....	65
(19) 地域はきれいだと思うか.....	67
(20) 地域に活気があるか.....	69
(21) 自慢したい地域の風景や名所があるか.....	71
(22) 地元や県内でとれた農畜産物を買っているか.....	73
(23) 災害に対して住んでいる地域は安全か.....	75
(24) 女性の活躍を多面的に支援する地域か.....	77
(25) 若者が希望を持てる地域だと思うか.....	79
5 今後のまちづくりについて.....	81
(1) 市民と行政のあるべき関係.....	81
(2) 特に重点を置くべき取り組み.....	83
(3) 子育てしやすいまちになるため力を入れるとよいこと.....	85
(4) どのようなまちにしたいか.....	87
(5) 協働のまちづくりを進めるため必要な取り組み.....	89
(6) これからの行政サービスのあり方.....	91
(7) 今後の行財政改革で優先的に行うべき項目.....	93
6 インターネットや情報入手方法について.....	95
(1) 所有している携帯電話の端末の種類.....	95
(2) インターネットを利用する場合の端末.....	97
(3) 利用頻度の高い連絡手段.....	99
(4) 行政情報を入手している広報媒体.....	103
(5) 市ホームページをどのような時に利用するか.....	105
(6) 防災行政の音声告知放送端末（受信機）について.....	107
資料：調査票	109

Ⅰ 調査の概要及び回答者の属性

1 調査の概要

(1) 調査目的

本調査は、竹田市総合計画（令和 5 年度～令和 14 年度）の策定にあたって、まちへの愛着度や今後の定住意向をはじめ、まちの各環境に関する満足度と重要度、今後のまちづくりの特色など、市民の意識やニーズを把握し、計画づくりの基礎資料を得るために実施したものです。

(2) 調査対象及び調査方法、回収結果

項 目	内 容
調査対象	18 歳以上の市民
配布数	2,000（うち不明戻数：10）
抽出法	無作為抽出
調査方法	郵送法
調査時期	令和 3 年 12 月
調査地区	市内全域。ただし、分析上は、地域的傾向を把握するため、以下の 4 地区に区分した。 ① 旧竹田市 ② 旧荻町 ③ 旧久住町 ④ 旧直入町
有効回収数	814
有効回収率	40.9%（回答総数÷（発送数－不明戻数））

2 本調査報告書の基本的な事項

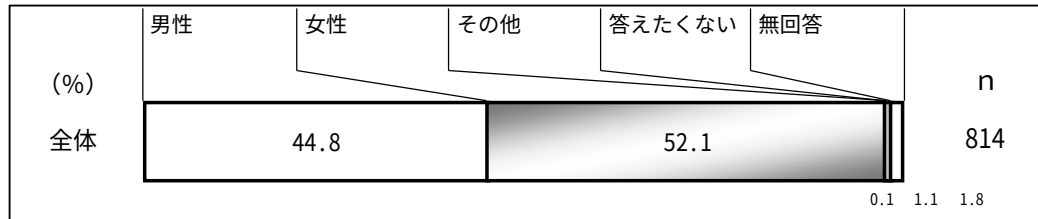
(1) 数値の基本的な取り扱いについて

- ① 比率はすべて百分率（％）で表し、小数点以下2位を四捨五入して算出しています。従って、合計が100％を上下する場合があります。
- ② 基数となるべき実数は、“ $n = \bigcirc\bigcirc\bigcirc$ ”として掲載し、各比率は n を100％として算出しています。
- ③ 質問の終わりに【複数回答】とある問は、1人の回答者が2つ以上の回答を出してもよい問であり、従って、各回答の合計比率は100％を超える場合があります。
- ④ 10歳代の回答者が4人（0.5％）と少数であったため、調査結果（P4以降）は、20歳代とあわせて「10・20歳代」として分析しています。

3 回答者の属性

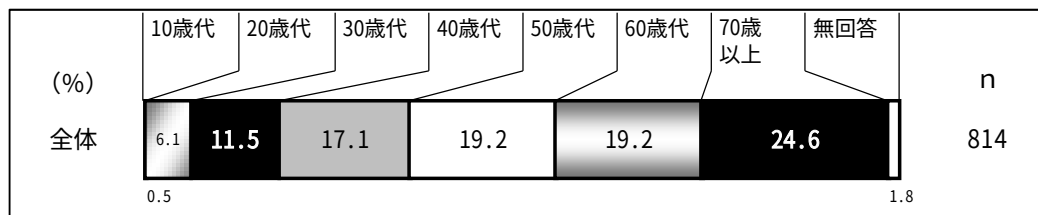
(1) 性別

回答者の性別構成は、「女性」(52.1%)、「男性」(44.8%)、「答えたくない」(1.1%)となっています。



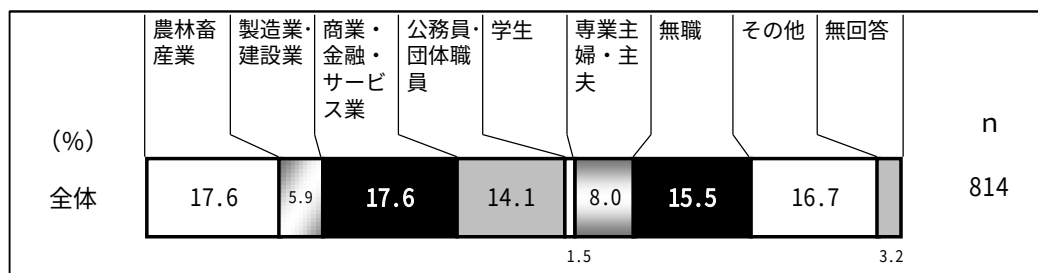
(2) 年齢

回答者の年齢は、「70歳以上」(24.6%)、「50歳代」(19.2%)、「60歳代」(19.2%)、「40歳代」(17.1%)、「30歳代」(11.5%)、「20歳代」(6.1%)、「10歳代」(0.5%)となっています。



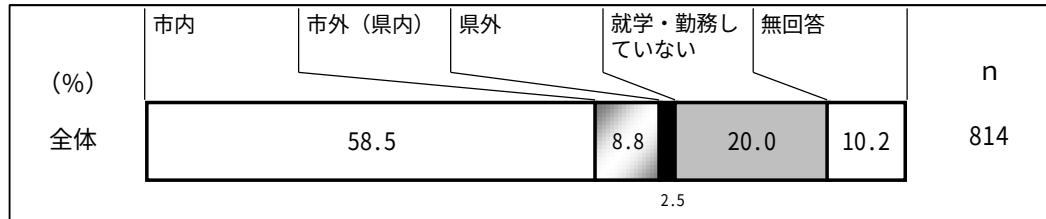
(3) 職業

回答者の職業は「農林畜産業」(17.6%)、「商業・金融・サービス業」(17.6%)、「無職」(15.5%)、「公務員・団体職員」(14.1%)、「専業主婦・主夫」(8.0%)、「製造業・建設業」(5.9%)、「学生」(1.5%)となっています。



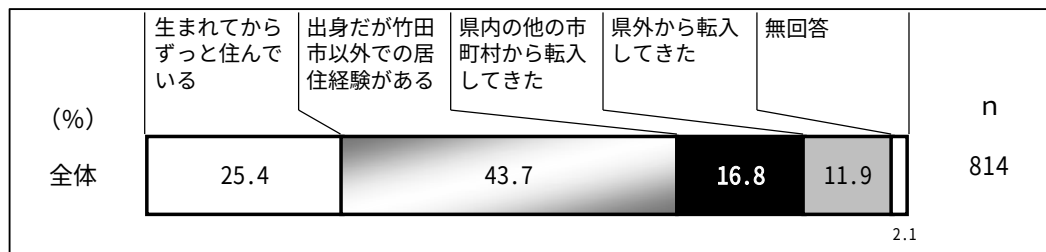
(4) 就学先・勤務先

回答者の就学先・勤務先は、「市内」(58.5%)、「就学・勤務していない」(20.0%)、「市外(県内)」(8.8%)、「県外」(2.5%)となっています。



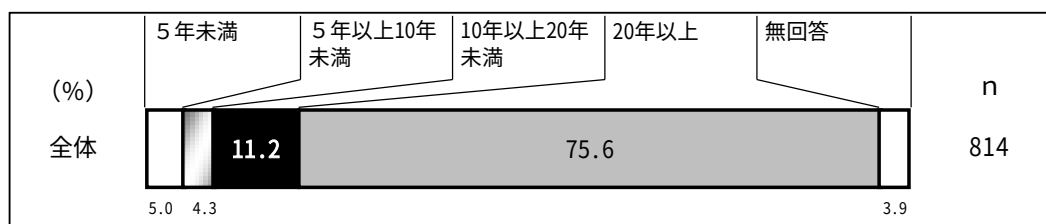
(5) 居住歴

回答者の居住歴は、「出身だが竹田市以外での居住経験がある」(43.7%)、「生まれてからずっと住んでいる」(25.4%)、「県内の他の市町村から転入してきた」(16.8%)、「県外から転入してきた」(11.9%)となっています。



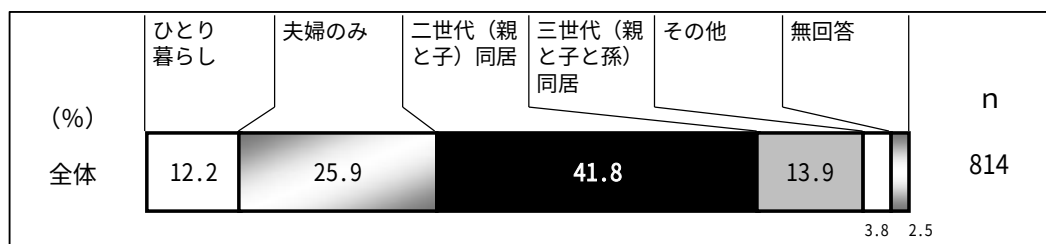
(6) 居住年数

回答者の居住年数は、「20年以上」(75.6%)、「10年以上20年未満」(11.2%)、「5年未満」(5.0%)、「5年以上10年未満」(4.3%)となっています。



(7) 世帯構成

回答者の世帯構成は、「二世帯(親と子)同居」(41.8%)、「夫婦のみ」(25.9%)、「三世帯(親と子と孫)同居」(13.9%)、「ひとり暮らし」(12.2%)となっています。



(8) 居住地区

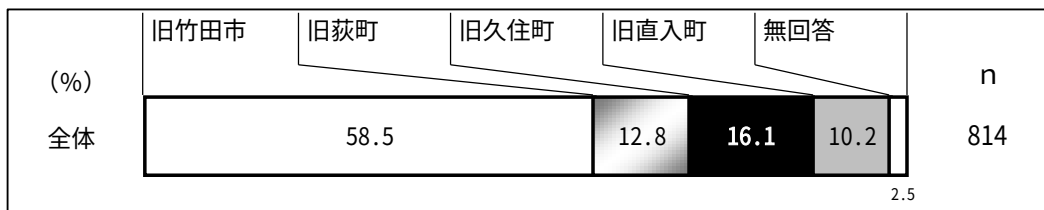
① 大字名

回答者の居住地区（大字名）は以下のとおりとなっています。

区分	大字名	人	%
旧竹田市	竹田	89	10.9
	岡本	20	2.5
	明治	23	2.8
	豊岡	72	8.8
	玉来	79	9.7
	松本	48	5.9
	入田	27	3.3
	姫岳	18	2.2
	宮砥	21	2.6
	菅生	27	3.3
	宮城	18	2.2
	城原	34	4.2
旧荻町	荻	90	11.1
	柏原	14	1.7
旧久住町	久住	55	6.8
	白丹	28	3.4
	都野	48	5.9
旧直入町	長湯	62	7.6
	下竹田	21	2.6
	わからない	1	0.1
	無回答	19	2.3
	全体	814	100.0

② 旧市町名

回答者の居住地区（旧市町名）は、「旧竹田市」（58.5%）、「旧久住町」（16.1%）、「旧荻町」（12.8%）、「旧直入町」（10.2%）となっています。



II 調査結果

1 竹田市の住みやすさについて

(1) 市の住みやすさ

問2 あなたは、竹田市が「住みやすいまち」だと感じますか。



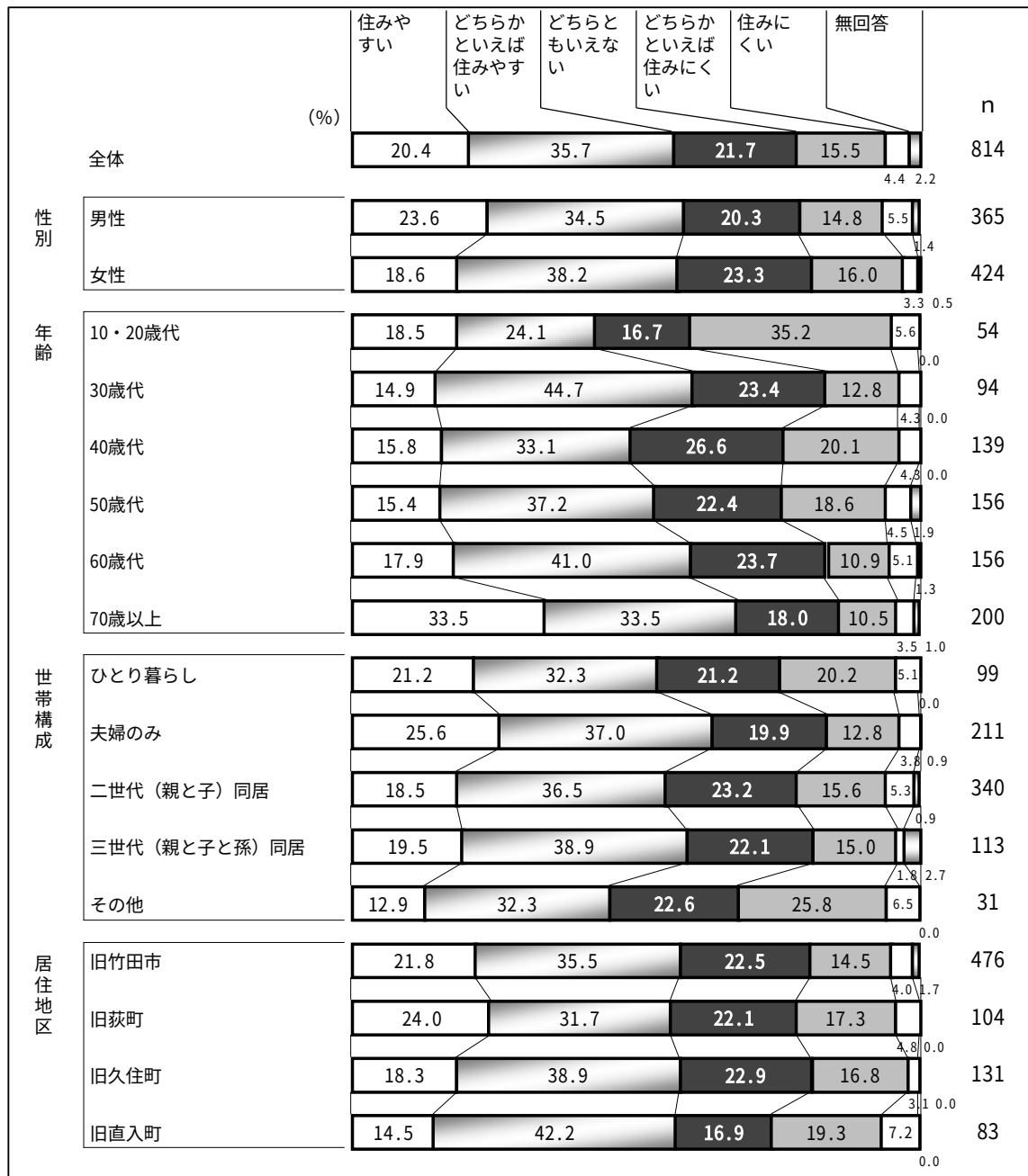
- “住みやすい”が56.1%、“住みにくい”が19.9%。

市民が市の住みやすさについてどう感じているかを把握するため、「住みやすい」、「どちらかといえば住みやすい」、「どちらともいえない」、「どちらかといえば住みにくい」、「住みにくい」の中から1つを選んでもらいました。

その結果、「どちらかといえば住みやすい」と答えた人が35.7%で最も多く、これと「住みやすい」(20.4%)をあわせた“住みやすい”という人が56.1%となっています。これに対し、“住みにくい”という人(「どちらかといえば住みにくい」(15.5%)と「住みにくい」(4.4%)の合計)は19.9%と2割弱となっています。なお、「どちらともいえない」は21.7%となっています。

[図表1参照]

図表1 市の住みやすさ（全体・性別・年齢・世帯構成・居住地区）



(2) 今後の定住意向

問3 あなたは、これからも竹田市に住み続けたいと思いますか。(進学や転勤などやむを得ない理由は無いものとしてお考えください。)



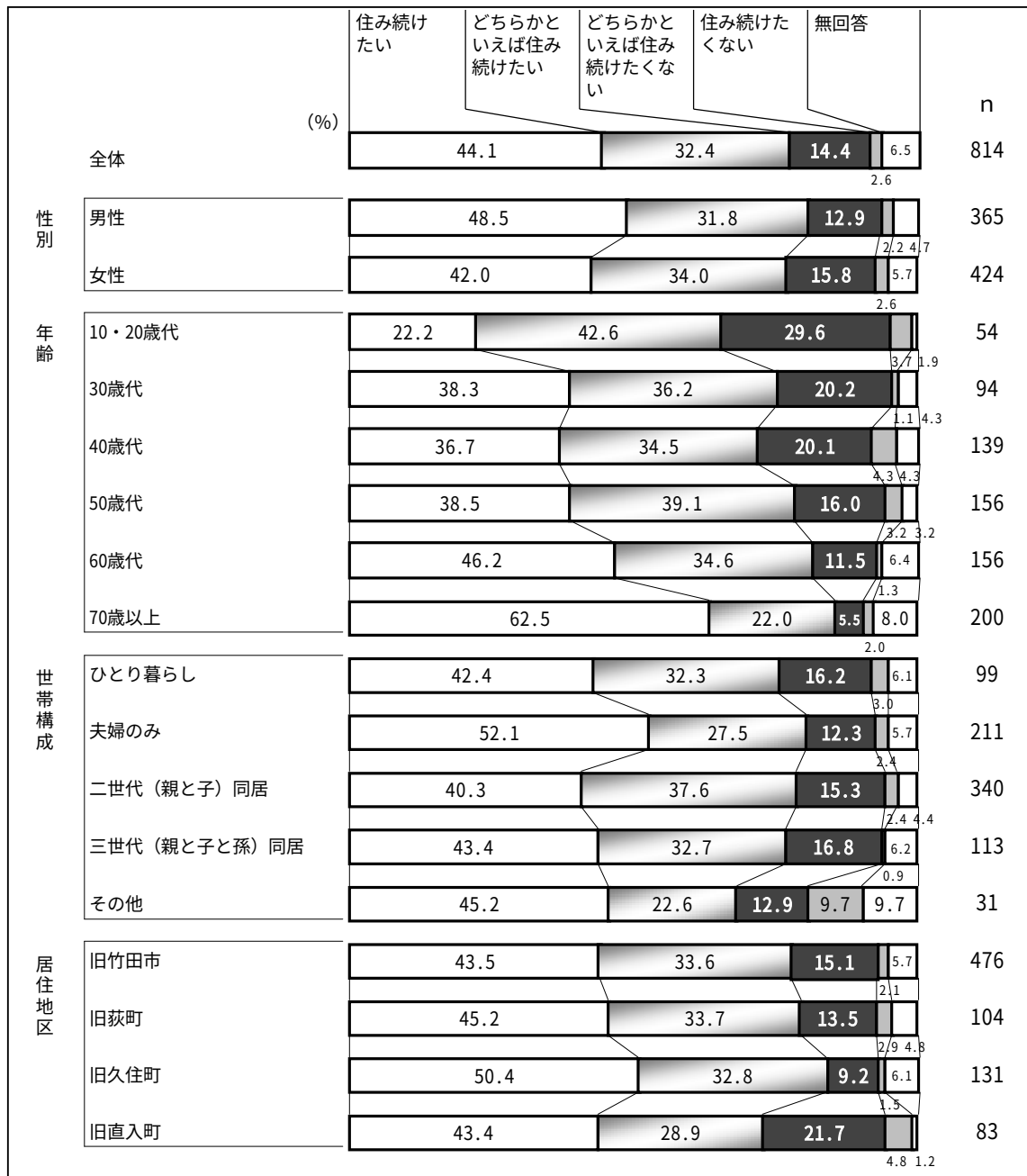
- “住み続けたい”が76.5%、“住み続けたくない”が17.0%。

市民の今後の定住意向を探るため、「住み続けたい」、「どちらかといえば住み続けたい」、「どちらかといえば住み続けたくない」、「住み続けたくない」の中から1つを選んでもらいました。

その結果、「住み続けたい」と答えた人が44.1%で最も多く、次いで「どちらかといえば住み続けたい」と答えた人が32.4%で、これらをあわせた“住み続けたい”という人が76.5%と8割弱となっています。これに対し、“住み続けたくない”という人(「どちらかといえば住み続けたくない」(14.4%)と「住み続けたくない」(2.6%)の合計)は17.0%と2割強程度にとどまり、問2の“住みやすい”と感じている率と同様に、定住意向も強いといえます。

[図表2参照]

図表2 今後の定住意向（全体・性別・年齢・世帯構成・居住地区）



(3) 住み続けたいと思う主な理由

問3-1 問3で「1」または「2」に○をつけた方は、問3-1もお答えください。住み続けたいと思う主な理由は何ですか。(問3で“住み続けたい”と回答した人のみ)
【複数回答】

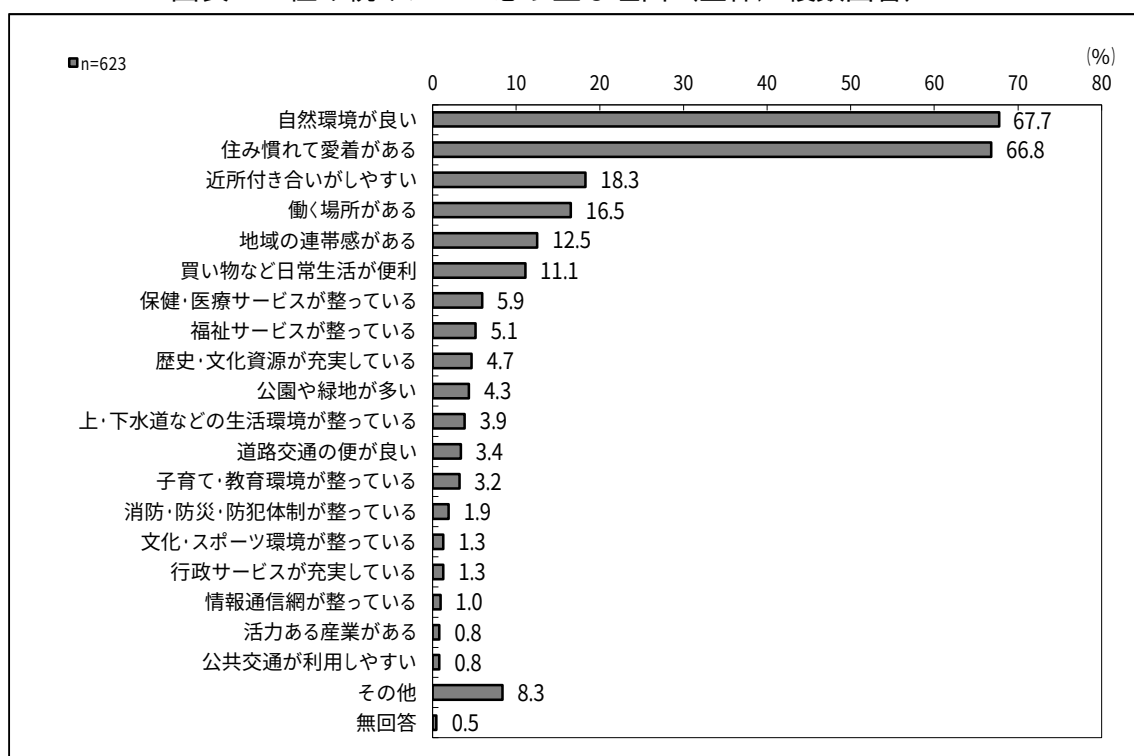


- 「自然環境が良い」と「住み慣れて愛着がある」の2つが目立って高くなっている。

問3で“住み続けたい”と答えた623人(全体の76.5%)に、住み続けたい理由についてたずねたところ、「自然環境が良い」(67.7%)が第1位、次いで「住み慣れて愛着がある」(66.8%)が第2位となっており、この2項目が目立って高くなっています。これ以外では、「働く場所がある」(16.5%)、「地域の連帯感がある」(12.5%)、「買い物など日常生活が便利」(11.1%)、「保健・医療サービスが整っている」(5.9%)、「福祉サービスが整っている」(5.1%)、「歴史・文化資源が充実している」(4.7%)、「公園や緑地が多い」(4.3%)、「上・下水道などの生活環境が整っている」(3.9%)、「道路交通の便が良い」(3.4%)、「子育て・教育環境が整っている」(3.2%)などの順となっています。

属性別でみると、ほとんどの属性で全体と同様に「自然環境が良い」が第1位、「住み慣れて愛着がある」と「近所付き合いがしやすい」が第2位あるいは第3位にあげられています。職業別の農林畜産業では「住み慣れて愛着がある」(71.3%)が第1位で「自然環境が良い」(69.4%)が第2位、年齢別の30歳代と40歳代では「子育て・教育環境が整っている」が第3位にあげられています。[図表3・4参照]

図表3 住み続けたいと思う主な理由(全体/複数回答)



図表４ 住み続けたいと思う主な理由
(全体・性別・年齢・世帯構成・居住地区－上位３位／複数回答)

(単位：％)

		第１位	第２位	第３位
全体		自然環境が良い 67.7	住み慣れて愛着がある 66.8	近所付き合いがしやすい 18.3
性別	男性	自然環境が良い 67.6	住み慣れて愛着がある 65.2	働く場所がある 18.8
	女性	住み慣れて愛着がある 68.6	自然環境が良い 67.7	近所付き合いがしやすい 18.9
年齢	10・20歳代	自然環境が良い 82.9	住み慣れて愛着がある 54.3	働く場所がある 17.1
	30歳代	自然環境が良い 77.1	住み慣れて愛着がある 60.0	公園や緑地が多い／近所付き合いがしやすい 17.1
	40歳代	自然環境が良い 65.7	住み慣れて愛着がある 57.6	働く場所がある 21.2
	50歳代	住み慣れて愛着がある 71.9	自然環境が良い 64.5	働く場所がある 23.1
	60歳代	住み慣れて愛着がある 69.8	自然環境が良い 65.1	働く場所がある 20.6
	70歳以上	住み慣れて愛着がある 71.6	自然環境が良い 66.3	近所付き合いがしやすい 22.5
世帯構成	ひとり暮らし	住み慣れて愛着がある 62.2	自然環境が良い 58.1	近所付き合いがしやすい 27.0
	夫婦のみ	住み慣れて愛着がある 75.0	自然環境が良い 71.4	近所付き合いがしやすい 19.0
	二世帯（親と子）同居	自然環境が良い／住み慣れて愛着がある 67.5		働く場所がある 19.6
	三世帯（親と子と孫）同居	自然環境が良い 72.1	住み慣れて愛着がある 57.0	働く場所がある 19.8
	その他	自然環境が良い 76.2	住み慣れて愛着がある 47.6	福祉サービスが整っている 19.0
居住地区	旧竹田市	自然環境が良い 68.1	住み慣れて愛着がある 64.3	近所付き合いがしやすい 19.3
	旧荻町	住み慣れて愛着がある 67.1	自然環境が良い 57.3	働く場所がある 24.4
	旧久住町	自然環境が良い 68.8	住み慣れて愛着がある 65.1	働く場所がある 19.3
	旧直入町	住み慣れて愛着がある 83.3	自然環境が良い 80.0	働く場所がある／近所付き合いがしやすい 16.7

(4) 住み続けたくないと思う主な理由

問3-2 「3」または「4」に○をつけた方は、問3-2もお答えください。住み続けたくないと思う主な理由は何ですか。(問3で“住み続けたくない”と回答した人のみ)
【複数回答】

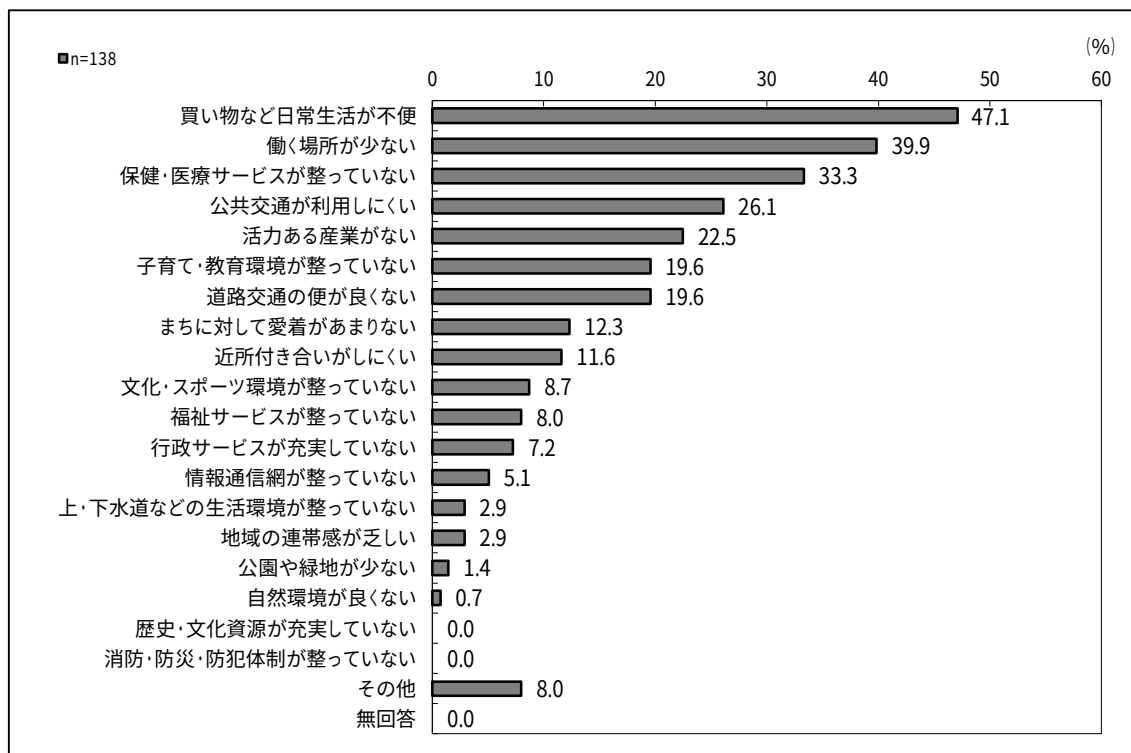


- 「買い物など日常生活が不便」、「働く場所が少ない」、「保健・医療サービスが整っていない」、「公共交通が利用しにくい」、「活力ある産業がない」の順。

問3で“住み続けたくない”と答えた138人(全体の17.0%)に、住み続けたくない理由についてたずねたところ、「買い物など日常生活が不便」(47.1%)が第1位、次いで「働く場所が少ない」(39.9%)が第2位、「保健・医療サービスが整っていない」(33.3%)が第3位となっています。これ以外では、「公共交通が利用しにくい」(26.1%)、「活力ある産業がない」(22.5%)、「子育て・教育環境が整っていない」・「道路交通の便が良くない」(同点 19.6%)、「まちに対して愛着があまりない」(12.3%)、「近所付き合いがしにくい」(11.6%)、「文化・スポーツ環境が整っていない」(8.7%)、「福祉サービスが整っていない」(8.0%)、「行政サービスが充実していない」(7.2%)、「情報通信網が整っていない」(5.1%)、「上・下水道などの生活環境が整っていない」・「地域の連帯感が乏しい」(同点 2.9%)などの順となっています。

[図表5・6参照]

図表5 住み続けたくないと思う主な理由(全体/複数回答)



図表6 住み続けたくないと思う主な理由
(全体・性別・年齢・世帯構成・居住地区－上位3位／複数回答)

(単位：％)

		第1位	第2位	第3位
全体		買い物など日常生活が不便 47.1	働く場所が少ない 39.9	保健・医療サービスが整っていない 33.3
性別	男性	買い物など日常生活が不便 47.3	働く場所が少ない 38.2	活力ある産業がない 36.4
	女性	買い物など日常生活が不便 47.4	働く場所が少ない 41.0	保健・医療サービスが整っていない 35.9
年齢	10・20歳代	働く場所が少ない／買い物など日常生活が不便 61.1		公共交通が利用しにくい／ 道路交通の便が良くない 33.3
	30歳代	働く場所が少ない 65.0	子育て・教育環境が整っていない／買い物など日常生活が不便 40.0	
	40歳代	保健・医療サービスが整っていない 44.1	買い物など日常生活が不便 35.3	働く場所が少ない 32.4
	50歳代	買い物など日常生活が不便 50.0	保健・医療サービスが整っていない／働く場所が少ない 43.3	
	60歳代	保健・医療サービスが整っていない／活力ある産業がない／買い物など日常生活が不便 40.0		
	70歳以上	買い物など日常生活が不便 66.7	公共交通が利用しにくい／道路交通の便が良くない 46.7	
世帯構成	ひとり暮らし	買い物など日常生活が不便 52.6	働く場所が少ない／公共交通が利用しにくい／まちに対して愛着があまりない 26.3	
	夫婦のみ	買い物など日常生活が不便 45.2	公共交通が利用しにくい 38.7	保健・医療サービスが整っていない 32.3
	二世帯（親と子）同居	働く場所が少ない 48.3	買い物など日常生活が不便 41.7	保健・医療サービスが整っていない 36.7
	三世帯（親と子と孫）同居	働く場所が少ない 55.0	買い物など日常生活が不便 50.0	保健・医療サービスが整っていない 35.0
	その他	買い物など日常生活が不便 71.4	保健・医療サービスが整っていない 42.9	働く場所が少ない 28.6
居住地区	旧竹田市	働く場所が少ない 43.9	買い物など日常生活が不便 35.4	保健・医療サービスが整っていない 31.7
	旧荻町	買い物など日常生活が不便 76.5	保健・医療サービスが整っていない 52.9	公共交通が利用しにくい 41.2
	旧久住町	買い物など日常生活が不便／公共交通が利用しにくい 42.9		働く場所が少ない 35.7
	旧直入町	買い物など日常生活が不便 68.2	保健・医療サービスが整っていない／働く場所が少ない 40.9	

2 まちづくりの満足度とこれからの重要度について

(1) まちの各環境に関する満足度

問4 各分野にわたる取り組みについて、これまでの「満足度」と、これからの「重要度」をおたずねします。左右それぞれの項目ごとに、あなたのお考えに（あなたにとって）一番近い番号を1つ選んで○印をつけてください。

1 これまでの満足度



- 満足度が最も高い項目は「自然との共生」。次いで「消防・救急・防災対策」、「歴史や文化の保全・継承」の順。
- 満足度が最も低い項目は「就労環境の整備」。次いで「工業（製造業）の振興」、「道路・交通網整備」の順。

市の各環境の満足度を把握するため、第2次竹田市総合計画前期基本計画に基づき、5分野32項目を設定し、項目ごとに「満足」、「やや満足」、「普通」、「やや不満」、「不満」の5段階で評価してもらい、加重平均値による数量化〔後述参照〕で評価点（満足度：最高点10点、中間点0点、最低点-10点）を算出しました。

その結果、満足度が最も高い項目は、「自然との共生」（1.43点）で、次いで第2位が「消防・救急・防災対策」（1.13点）、第3位が「歴史や文化の保全・継承」（0.30点）、続いて「防犯・交通安全対策」（0.29点）、「芸術文化の振興」（0.27点）、「温泉の有効活用」（0.25点）、「健康づくりの推進」（0.18点）などの順となっています。

一方、満足度が最も低い項目は「就労環境の整備」（-3.06点）で、次いで第2位が「工業（製造業）の振興」（-2.17点）、第3位が「道路・交通網整備」（-2.10点）、続いて「商業の振興」（-1.84点）、「市街地整備」（-1.42点）、「土地利用」（-1.40点）、「地域経営の推進」（-1.29点）、「情報基盤整備」（-1.25点）、「観光の振興」（-1.04点）、「社会保障の充実」（-0.98点）などの順となっています。

全体的にみると、環境分野の満足度が高く、暮らし分野、活力分野の満足度が低くなっており、32項目のうち満足度がプラス評価の項目が7項目、マイナス評価の項目が25項目となっています。〔図表7参照〕

また、これを居住地別でみると、次のとおりとなっています。

旧竹田市

満足度の上位3項目は、第1位が「自然との共生」（1.32点）、第2位が「消防・救急・防災対策」（1.09点）、第3位が「防犯・交通安全対策」（0.39点）となっています。

一方、下位3項目は、第1位が「就労環境の整備」（-3.17点）、第2位が「工業（製造業）の振興」（-2.31点）、第3位が「商業の振興」（-2.00点）となっています。

設定した32項目のうち、プラス評価の項目が6項目、マイナス評価の項目が26項目でした。〔図表8参照〕

旧荻町

満足度の上位3項目は、第1位が「自然との共生」(2.58点)、第2位が「消防・救急・防災対策」(0.84点)、第3位が「温泉の有効活用」(0.55点)となっています。

一方、下位3項目は、第1位が「就労環境の整備」(-2.70点)、第2位が「工業(製造業)の振興」(-2.42点)、第3位が「道路・交通網整備」(-2.25点)となっています。

設定した32項目のうち、プラス評価の項目が8項目、マイナス評価の項目が23項目、中間点が1項目でした。[図表8参照]

旧久住町

満足度の上位3項目は、第1位が「消防・救急・防災対策」(1.35点)、第2位が「自然との共生」(1.21点)、第3位が「温泉の有効活用」(0.79点)となっています。

一方、下位3項目は、第1位が「就労環境の整備」(-2.86点)、第2位が「道路・交通網整備」(-2.81点)、第3位が「土地利用」(-1.56点)となっています。

設定した32項目のうち、プラス評価の項目が8項目、マイナス評価の項目が23項目、中間点が1項目でした。[図表8参照]

旧直入町

満足度の上位3項目は、第1位が「消防・救急・防災対策」(1.56点)、第2位が「自然との共生」(1.09点)、第3位が「温泉の有効活用」(1.06点)となっています。

一方、下位3項目は、第1位が「就労環境の整備」(-3.33点)、第2位が「工業(製造業)の振興」(-2.44点)、第3位が「生活基盤整備」・「道路・交通網整備」(同点-1.75点)となっています。

設定した32項目のうち、プラス評価の項目が10項目、マイナス評価の項目が22項目でした。[図表8参照]

※加重平均値の算出方法

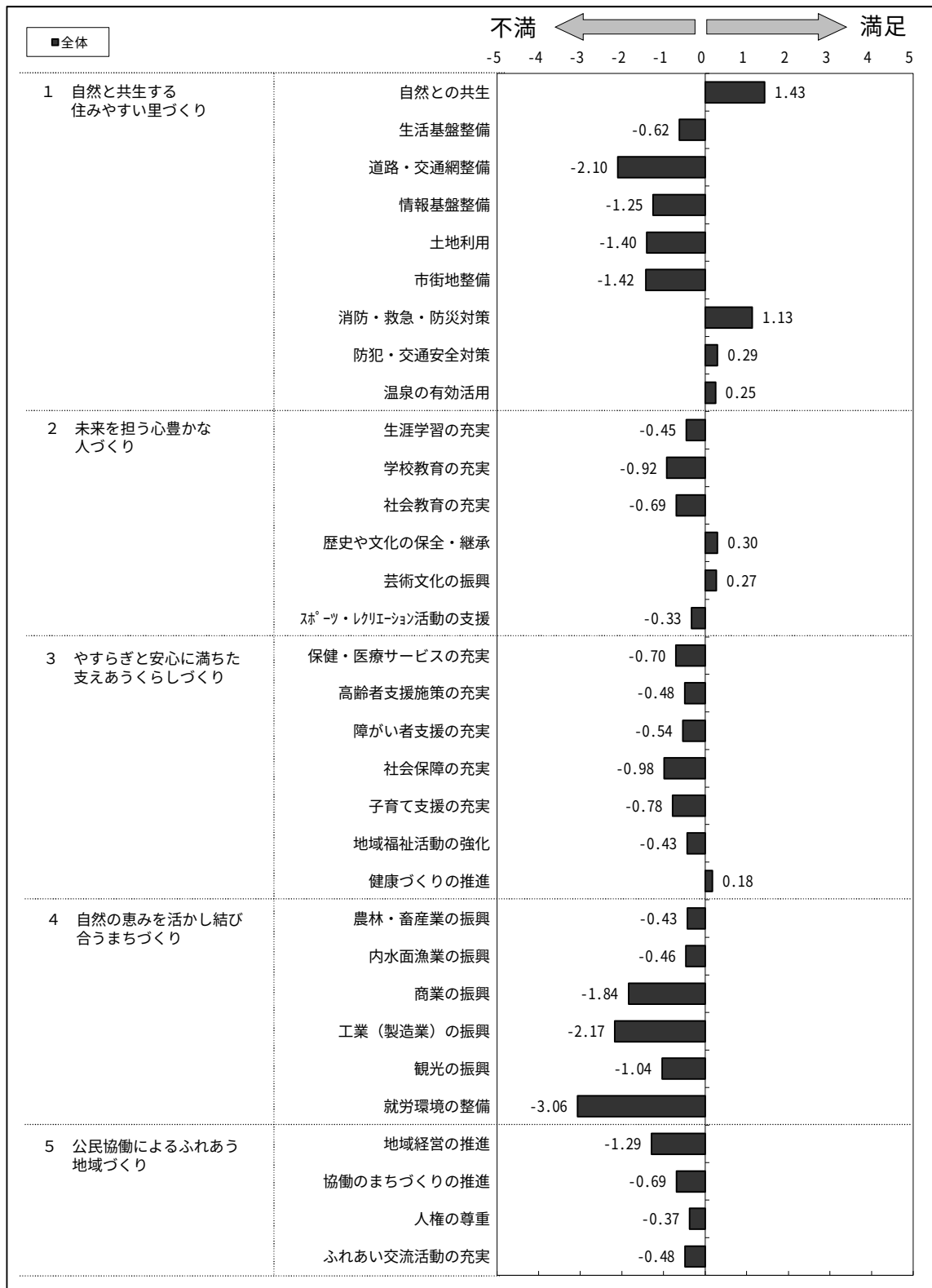
5段階の評価にそれぞれ点数を与え、評価点(満足度)を算出する。

$$\text{評価点} = \frac{\begin{array}{l} \text{「満足」の回答者数} \times 10 \text{ 点} \\ + \\ \text{「やや満足」の回答者数} \times 5 \text{ 点} \\ + \\ \text{「普通」の回答者数} \times 0 \text{ 点} \\ + \\ \text{「やや不満」の回答者数} \times -5 \text{ 点} \\ + \\ \text{「不満」の回答者数} \times -10 \text{ 点} \end{array}}{\begin{array}{l} \text{「満足」、「やや満足」、「普} \\ \text{通」、「やや不満」、「不満」の} \\ \text{回答者数} \end{array}}$$

この算出方法により、評価点(満足度)は10点～-10点の間に分布し、中間点の0点を境に、10点に近くなるほど評価は高いと考えられ、逆に-10点に近くなるほど評価が低いと考えられる。

図表7 まちの各環境に関する満足度（全体）

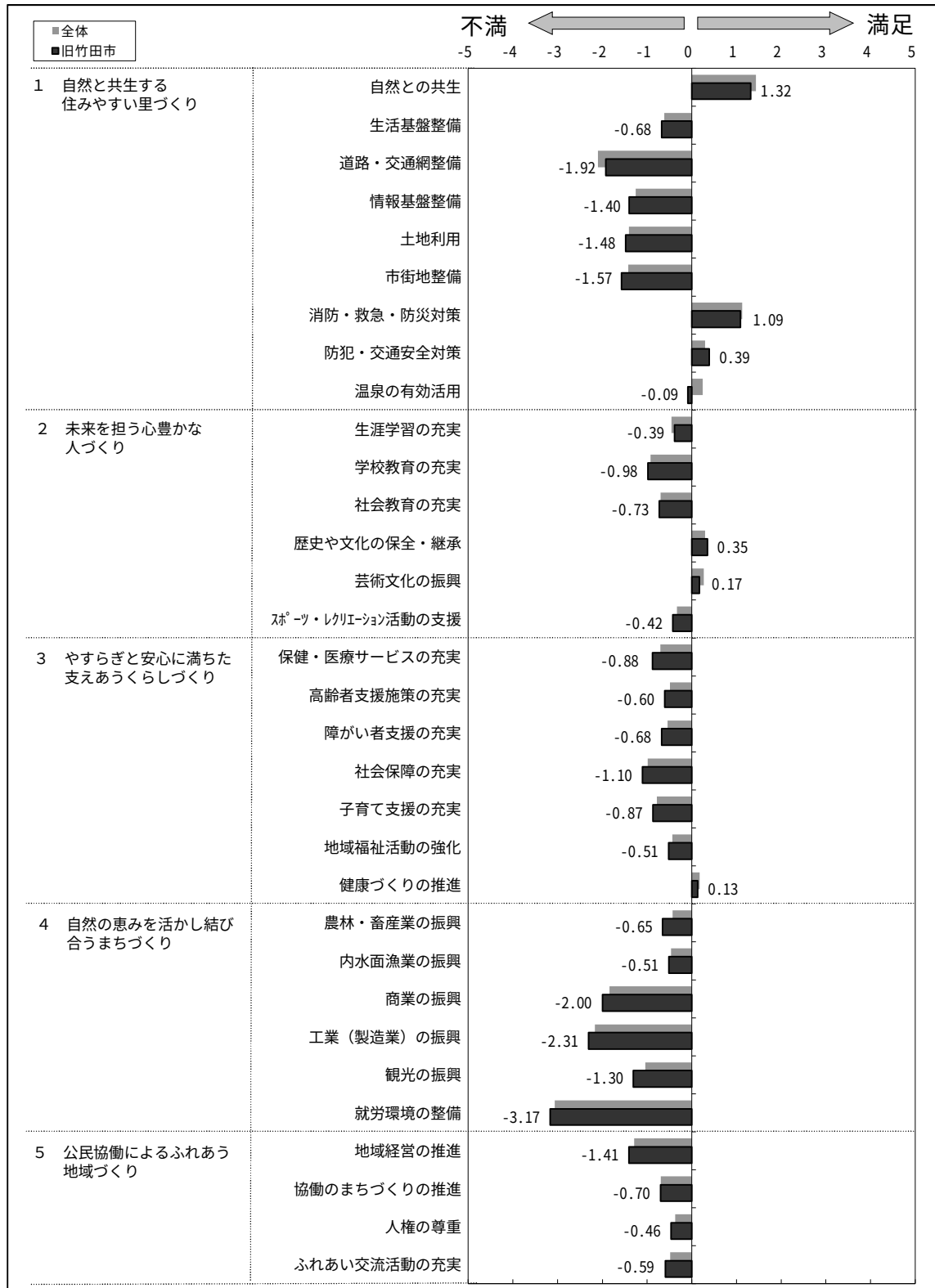
（単位：評価点）



図表8 まちの各環境に関する満足度（全体・居住地別）

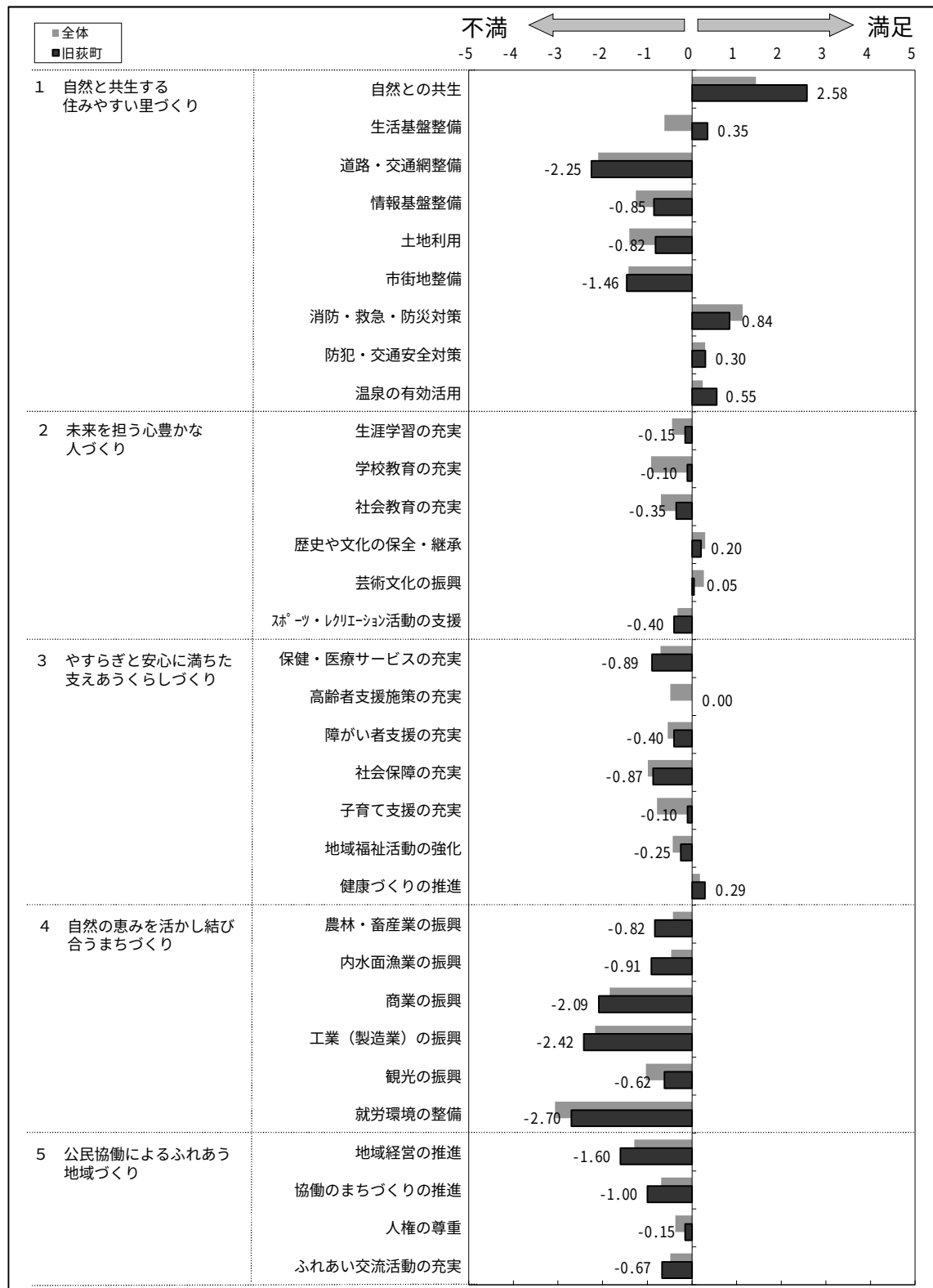
旧竹田市

（単位：評価点）



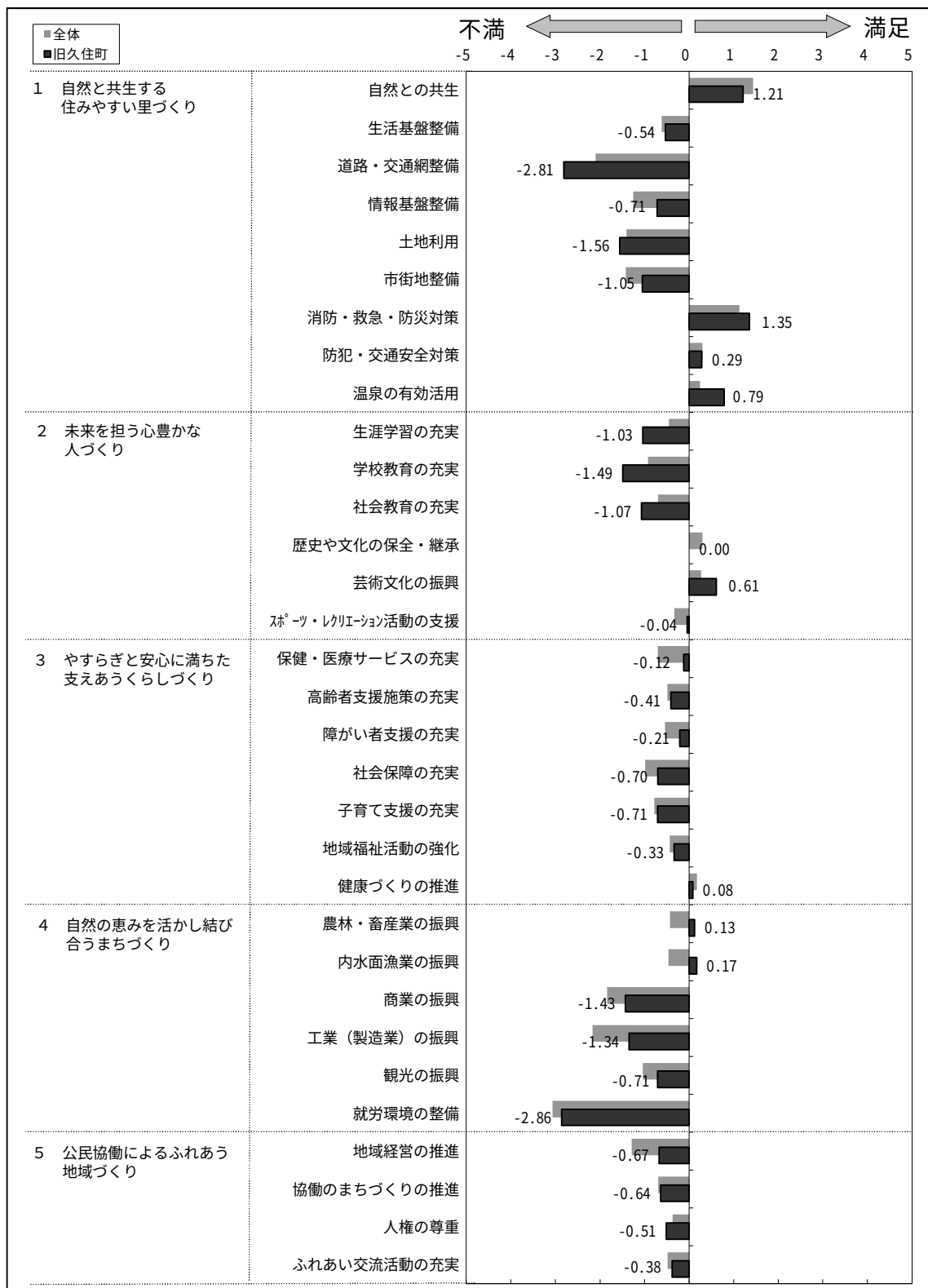
旧萩町

(単位：評価点)



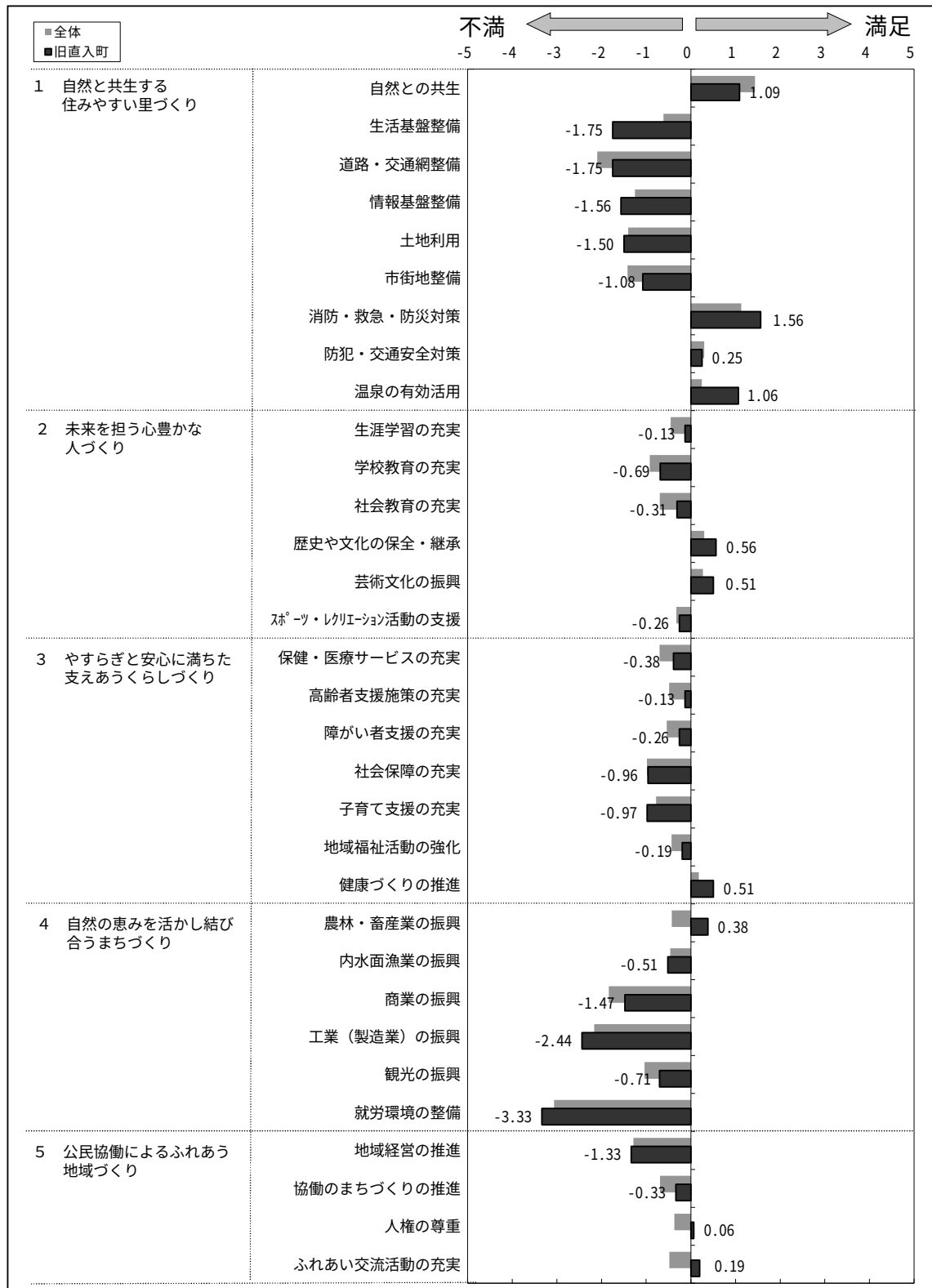
旧久住町

(単位：評価点)



旧直入町

(単位：評価点)



(2) まちの各環境に関する重要度

問4 各分野にわたる取り組みについて、これまでの「満足度」と、これからの「重要度」をおたずねします。左右それぞれの項目ごとに、あなたのお考えに（あなたにとって）一番近い番号を1つ選んで○印をつけてください。

2 これからの重要度



- 重要度が最も高い項目は「保健・医療サービスの充実」。次いで「就労環境の整備」、「子育て支援の充実」、「高齢者支援施策の充実」、「学校教育の充実」の順。

まちの各環境について、今後どの程度重視しているかを把握するため、満足度と同じ5分野32項目について、「重要である」、「やや重要」、「どちらともいえない」、「あまり重要でない」、「重要でない」の5段階で評価してもらい、加重平均値による数量化〔後述参照〕で評価点（重要度：最高点10点、中間点0点、最低点-10点）を算出しました。

その結果、重要度が最も高い項目は「保健・医療サービスの充実」（7.34点）で、次いで第2位が「就労環境の整備」（7.04点）、第3位が「子育て支援の充実」（6.90点）、続いて「高齢者支援施策の充実」（6.71点）、「学校教育の充実」（6.63点）、「消防・救急・防災対策」（6.52点）、「社会保障の充実」（6.48点）、「障がい者支援の充実」（6.35点）、「道路・交通網整備」（6.08点）、「防犯・交通安全対策」（6.07点）などの順となっています。

これら上位10項目をみると、「やすらぎと安心に満ちた支えあうくらしづくり」項目が5項目、「自然と共生する住みやすい里づくり」分野の項目が3項目、「自然の恵みを活かし結び合うまちづくり」分野と「未来を担う心豊かな人づくり」分野の項目が各1項目となっています。〔図表9参照〕

また、これを居住地別でみると、次のとおりとなっています。

旧竹田市

重要度の上位5項目は、第1位が「保健・医療サービスの充実」（7.27点）、第2位が「就労環境の整備」（6.83点）、第3位が「高齢者支援施策の充実」（6.72点）、第4位が「子育て支援の充実」（6.69点）、第5位が「消防・救急・防災対策」（6.50点）となっています。〔図表10参照〕

旧荻町

重要度の上位5項目は、第1位が「保健・医療サービスの充実」（7.66点）、第2位

が「就労環境の整備」(7.42 点)、第 3 位が「学校教育の充実」(7.37 点)、第 4 位が「子育て支援の充実」(7.22 点)、第 5 位が「高齢者支援施策の充実」(7.14 点)となっています。[図表 10 参照]

旧久住町

重要度の上位 5 項目は、第 1 位が「保健・医療サービスの充実」(7.02 点)、第 2 位が「子育て支援の充実」(7.01 点)、第 3 位が「就労環境の整備」(6.90 点)、第 4 位が「学校教育の充実」(6.54 点)、第 5 位が「自然との共生」(6.47 点)となっています。
[図表 10 参照]

旧直入町

重要度の上位 5 項目は、第 1 位が「就労環境の整備」(7.91 点)、第 2 位が「保健・医療サービスの充実」(7.86 点)、第 3 位が「子育て支援の充実」(7.56 点)、第 4 位が「消防・救急・防災対策」・「学校教育の充実」(同点 7.34 点)となっています。[図表 10 参照]

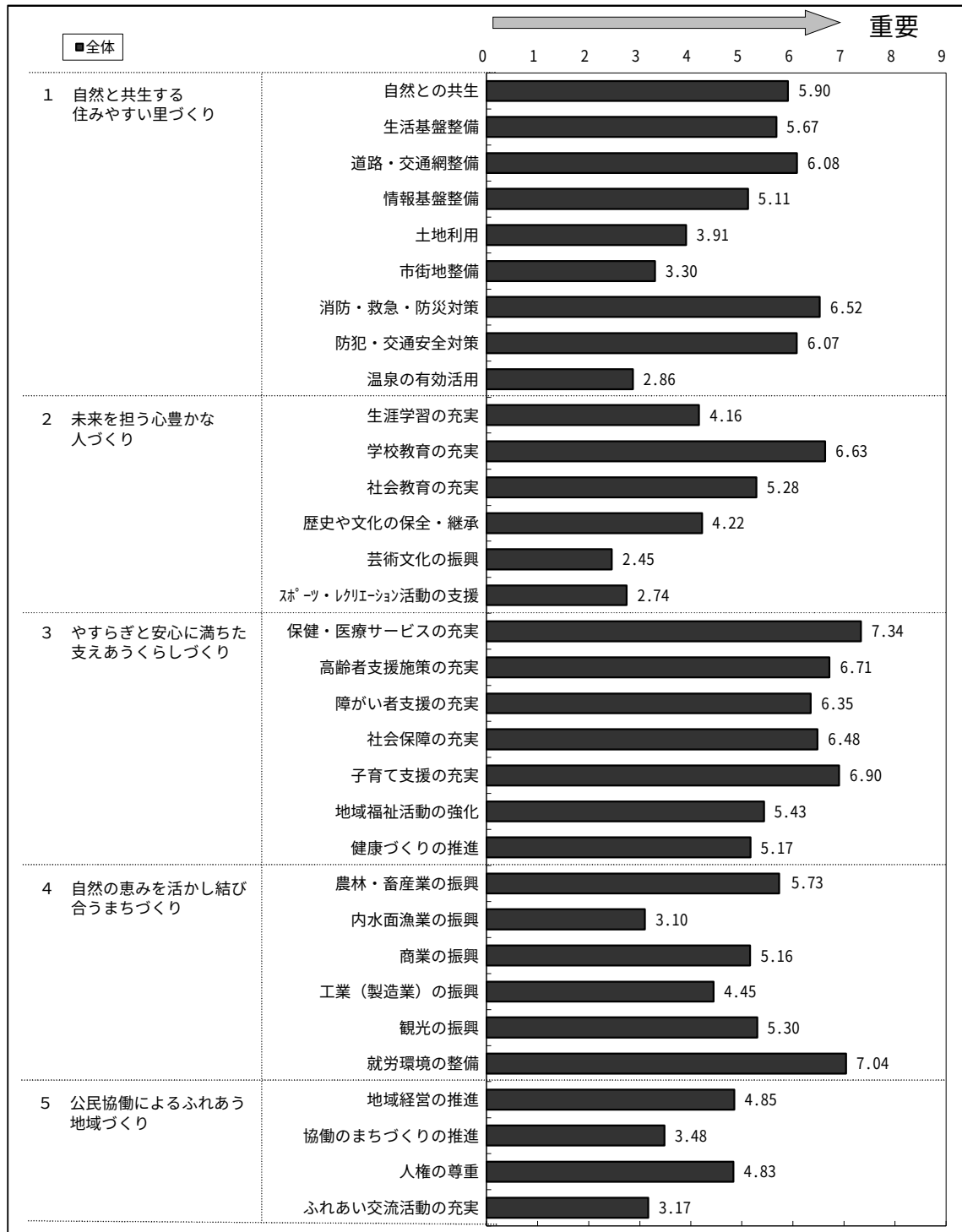
※加重平均値の算出方法

5 段階の評価にそれぞれ点数を与え、評価点（重要度）を算出する。

$$\text{評価点} = \frac{\begin{array}{l} \left(\begin{array}{l} \text{「重要である」の回答者数} \times 10 \text{ 点} \\ + \\ \text{「やや重要」の回答者数} \times 5 \text{ 点} \\ + \\ \text{「どちらともいえない」の回答者数} \times 0 \text{ 点} \\ + \\ \text{「あまり重要でない」の回答者数} \times -5 \text{ 点} \\ + \\ \text{「重要でない」の回答者数} \times -10 \text{ 点} \end{array} \right)}{\left(\begin{array}{l} \text{「重要である」、「やや重要」、} \\ \text{「どちらともいえない」、「あま} \\ \text{り重要でない」、「重要でない」} \\ \text{の回答者数} \end{array} \right)}$$

図表9 まちの各環境に関する重要度（全体）

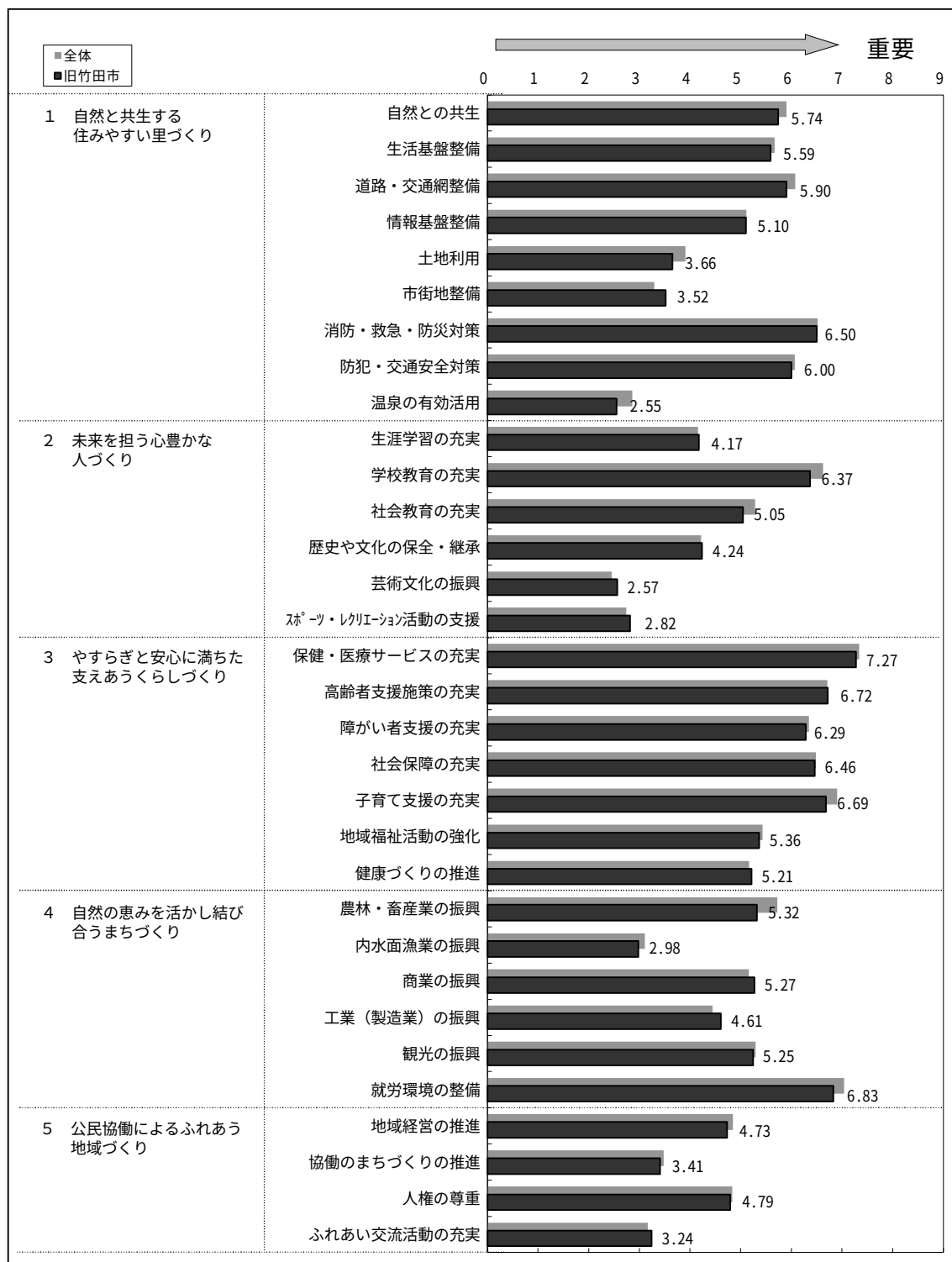
（単位：評価点）



図表 10 まちの各環境に関する重要度（全体・居住地）

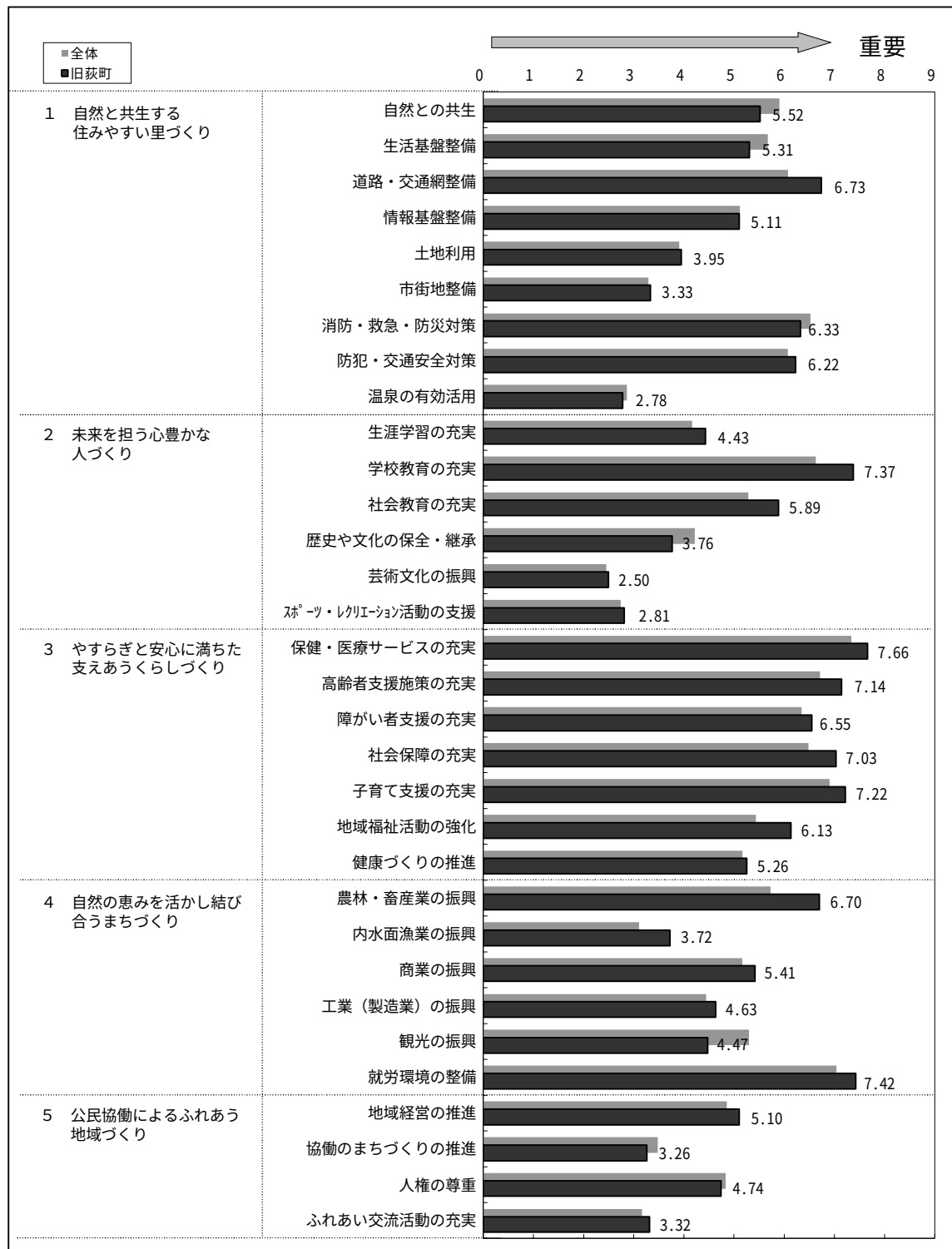
旧竹田市

（単位：評価点）



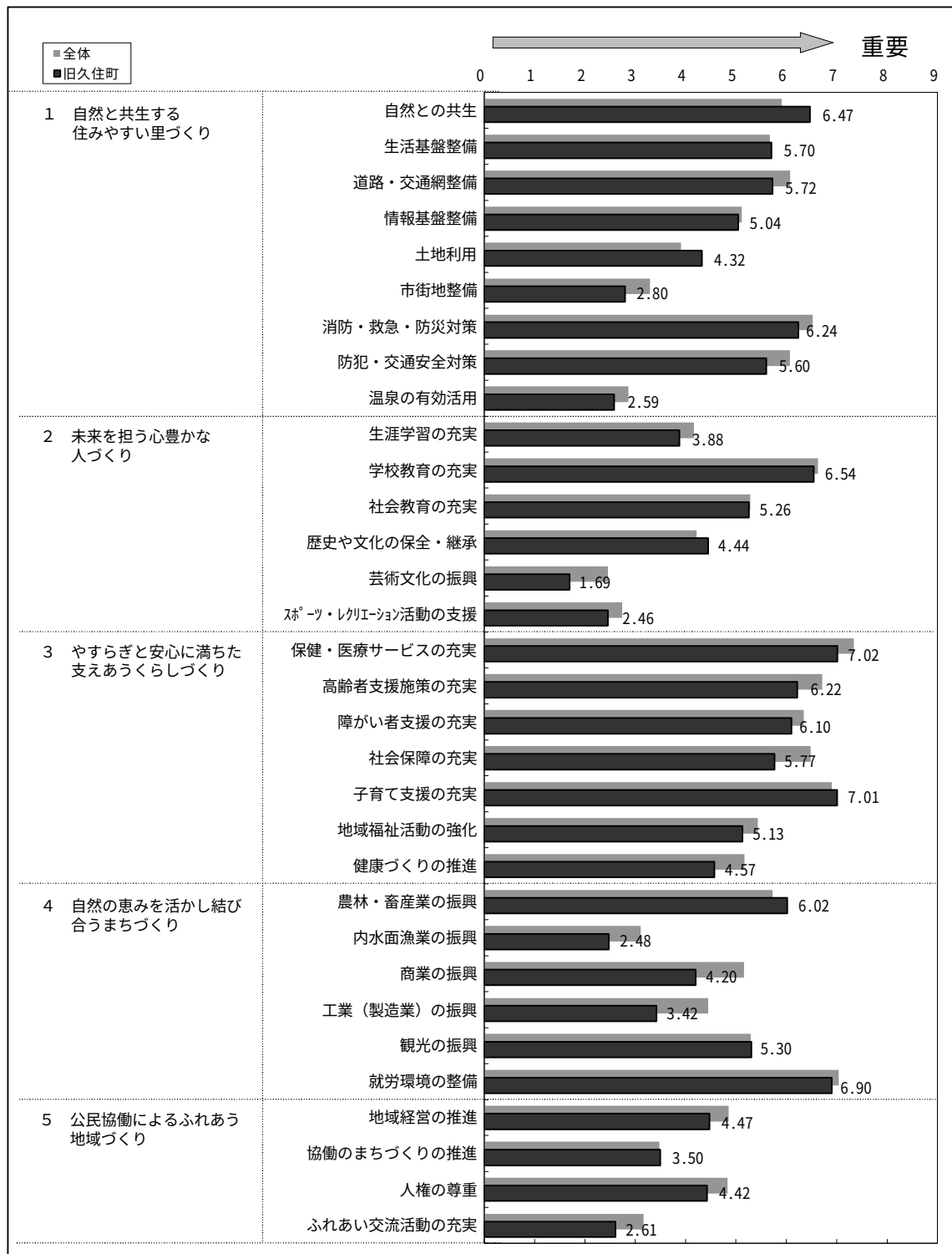
旧萩町

(単位：評価点)



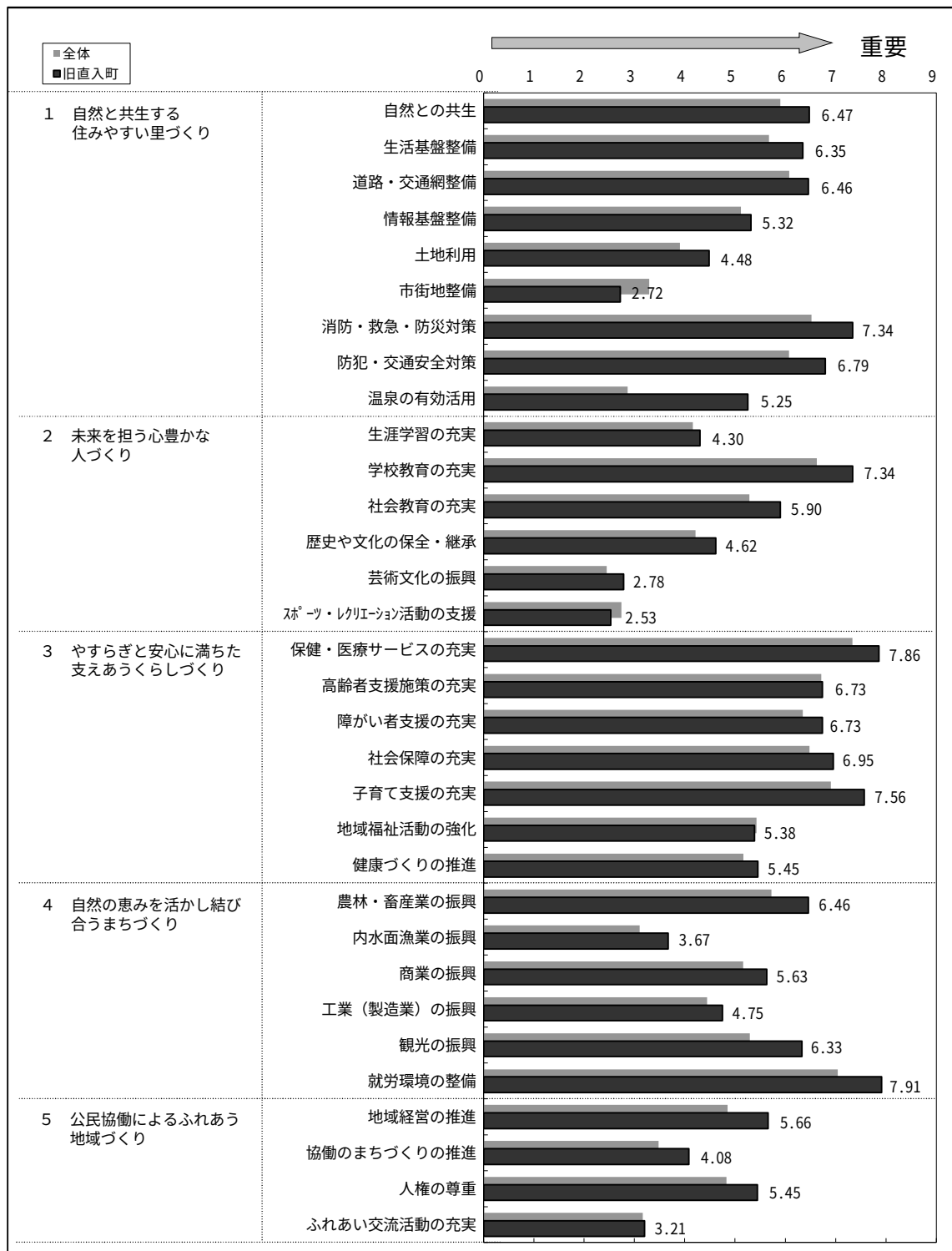
旧久住町

(単位：評価点)



旧直入町

(単位：評価点)



(3) 満足度と重要度の相関（優先度）

- 優先度が高い項目は「就労環境の整備」。続いて「道路・交通網整備」、「保健・医療サービスの充実」、「社会保障の充実」の順。

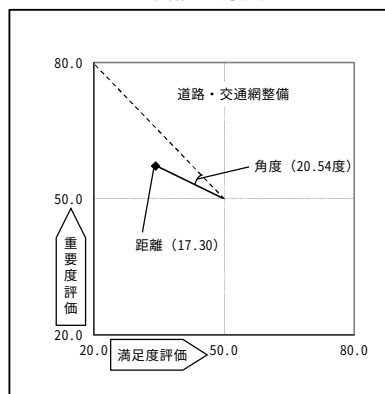
これまでみてきた満足度と重要度の分析結果を踏まえ、今後優先的に取り組むべき施策項目を抽出するための一つの試みとして、満足度評価と重要度評価を相関させた散布図を作成しました。このグラフでは左上隅の「満足度評価最低・重要度評価最高」に近づくほど優先度が高くなり、右下隅の「満足度評価最高・重要度評価最低」に近づくほど優先度が低くなります。この散布図による数量化〔下記参照〕で優先度（評価点：最高点 42.43 点、中間点 0 点、最低点 -42.43 点）を算出しました。

この結果をみると、優先度は、「就労環境の整備」（24.21 点）が目立って高く、次いで「道路・交通網整備」（13.35 点）が続き、それ以外では「学校教育の充実」（7.53 点）、「子育て支援の充実」（7.42 点）、「商業の振興」（6.85 点）、「工業（製造業）の振興」（5.65 点）、「高齢者支援施策の充実」（4.71 点）、「障がい者支援の充実」（3.75 点）などの順となっています。〔図表 11・12 参照〕

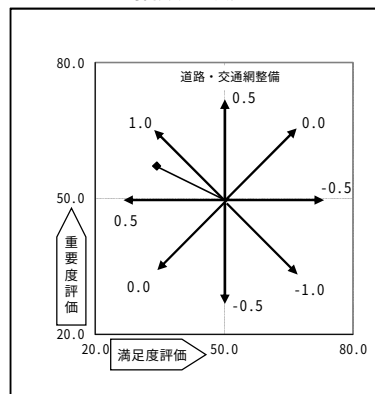
※優先度の算出方法

- ① 散布図を作成するため満足度偏差値・重要度偏差値を算出する。
例：「道路・交通網整備」→満足度偏差値 34.25…、重要度偏差値 57.17…
- ② ①で算出した偏差値から平均（中心）からの距離を算出する。
例：「道路・交通網整備」→ $17.30\cdots = \sqrt{(34.25-50)^2 + (57.17-50)^2}$
- ③ 平均（中心）から「満足度評価最低・重要度評価最高」への線と平均（中心）から各項目への線の角度を求める。
例：「道路・交通網整備」→20.54 度
- ④ ③で求められた角度より修正指数を算出する（指数は下記のとおり設定し、左上隅の「満足度評価最低・重要度評価最高」に近づくほど得点が高くなる。）。
例：「道路・交通網整備」→ $0.7718 = (90-20.54) \times (1 \div 90)$
- ⑤ ②で算出された平均（中心）からの距離と③で算出された修正指数から優先度を算出する。
例：「道路・交通網整備」→ $13.35 = 17.30\cdots \times 0.7718\cdots$

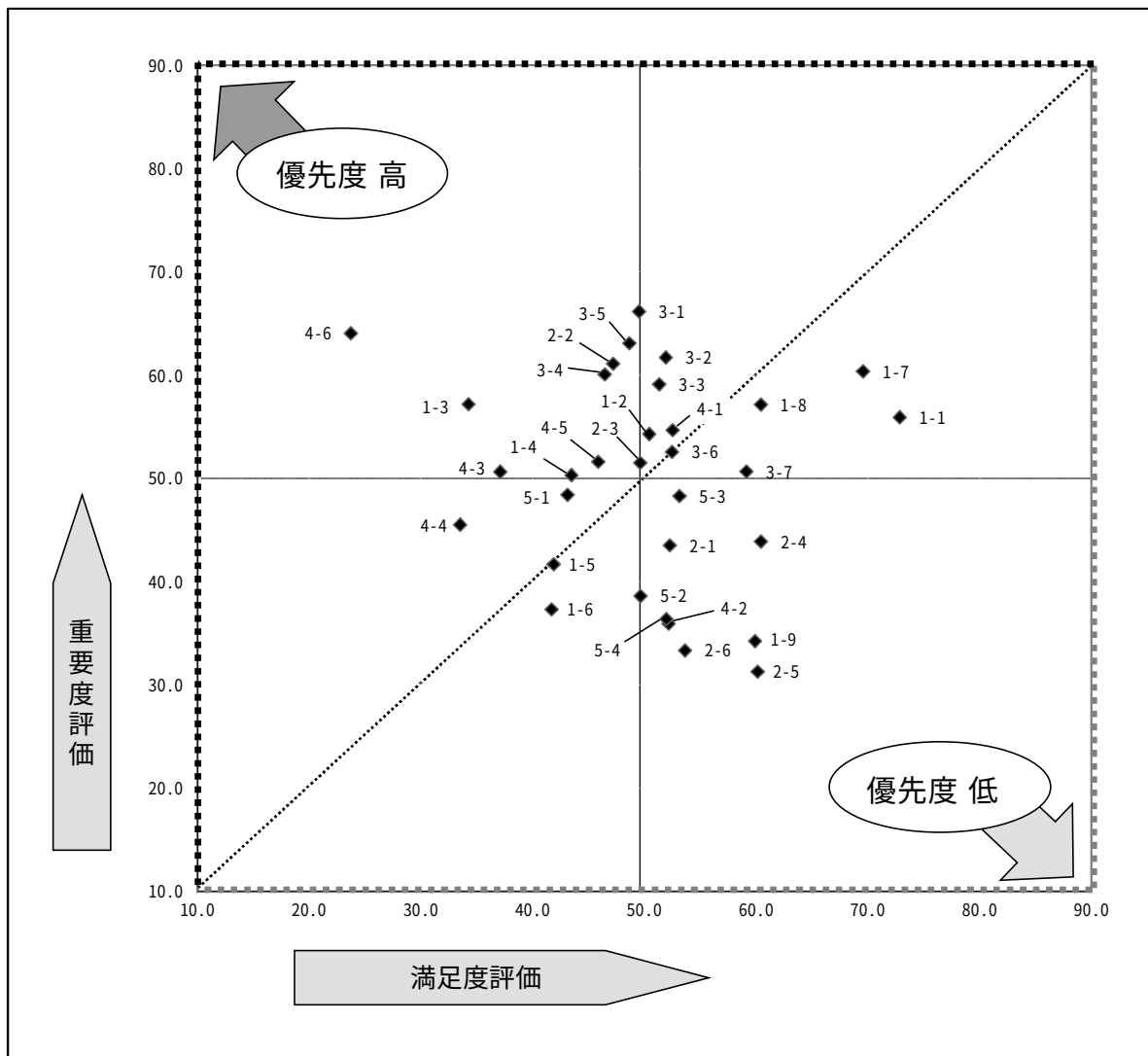
距離・角度



指数の設定



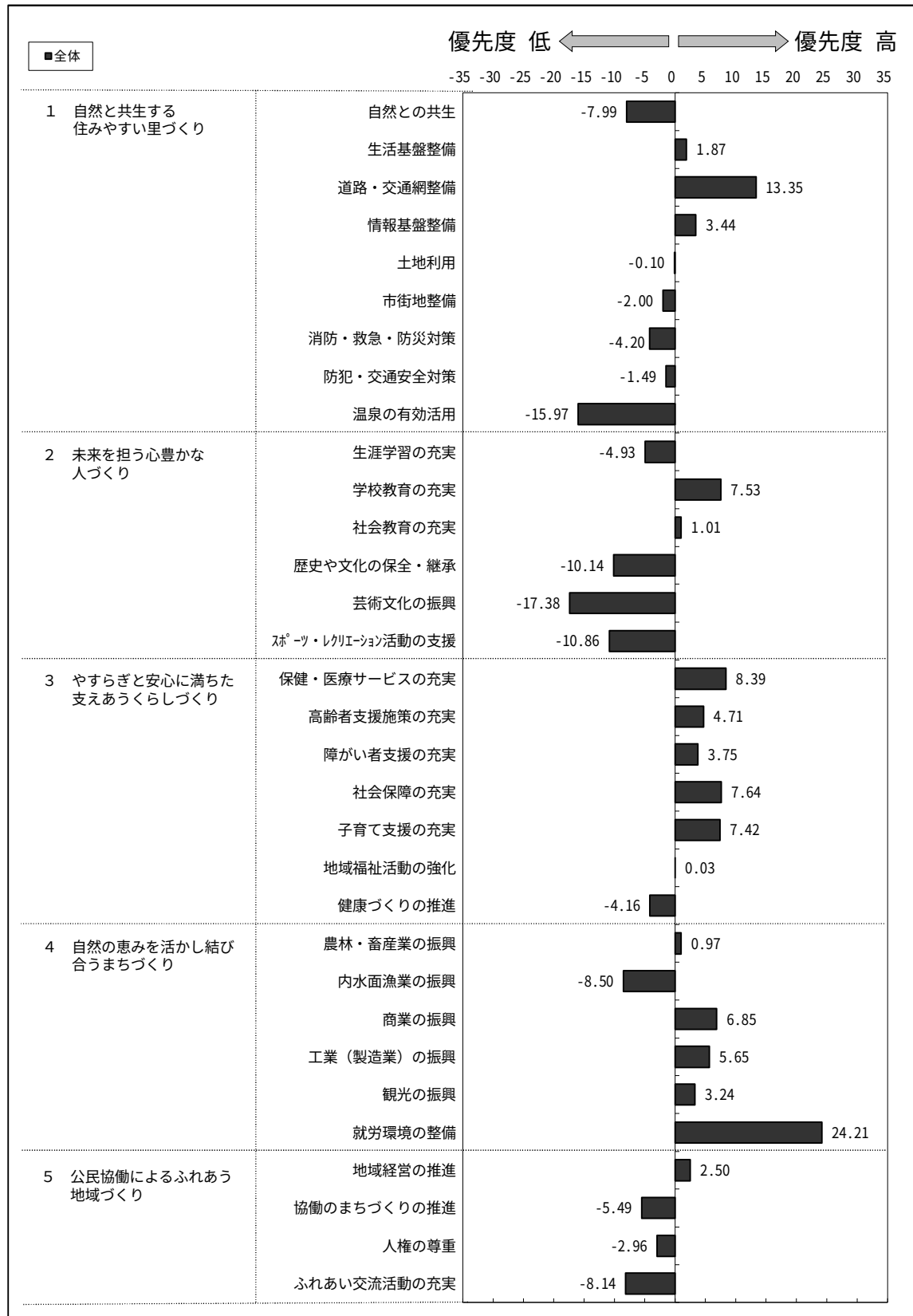
図表 11 満足度と重要度の相関（全体／優先度）



優先度高い		優先度低い	
4-6 就労環境の整備	3-3 障がい者支援の充実	2-5 芸術文化の振興	1-7 消防・救急・防災対策
1-3 道路・交通網整備	1-4 情報基盤整備	1-9 温泉の有効活用	3-7 健康づくりの推進
3-1 保健・医療サービスの充実	4-5 観光の振興	2-6 スポーツ・レクリエーション活動の支援	5-3 人権の尊重
3-4 社会保障の充実	5-1 地域経営の推進	2-4 歴史や文化の保全・継承	1-6 市街地整備
2-2 学校教育の充実	1-2 生活基盤整備	4-2 内水面漁業の振興	1-8 防犯・交通安全対策
3-5 子育て支援の充実	2-3 社会教育の充実	5-4 ふれあい交流活動の充実	1-5 土地利用
4-3 商業の振興	4-1 農林・畜産業の振興	1-1 自然との共生	
4-4 工業（製造業）の振興	3-6 地域福祉活動の強化	5-2 協働のまちづくりの推進	
3-2 高齢者支援施策の充実		2-1 生涯学習の充実	

図表 12 満足度と重要度の相関

(単位：評価点)



4 まちづくりの意識と取り組みについて

(1) 健康管理のための取り組み

問5 まちづくりに対するあなたの「意識」と「取り組み」について、それぞれの質問ごとに、あなたのお考えに一番近い番号を1つ選んで○印をつけてください。

1 日頃、食生活の改善や運動など、健康管理のための取り組みをしていますか。



● “している”が59.9%、“していない”が22.5%。

健康管理のための取り組みについては、「ある程度している」と答えた人が42.0%で最も多く、次いで「している」と答えた人が17.9%で、これらをあわせた“している”という人が59.9%と約6割となっています。これに対し、“していない”という人（「あまりしていない」(16.5%)と「していない」(6.0%)の合計）は22.5%となっています。なお、「どちらともいえない」は15.4%となっています。

[図表13参照]

図表 13 健康管理のための取り組み（全体・性別・年齢・世帯構成・居住地区）

		(%)	している	ある程度 している	どちらと もいえない	あまりし ていない	してい ない	無回答	n
性別	全体		17.9	42.0	15.4	16.5	6.0	2.2	814
	男性		18.4	39.5	15.6	17.8	7.7	1.1	365
	女性		16.7	45.3	15.3	15.3			424
年齢	10・20歳代		16.7	29.6	31.5	14.8	7.4	4.7 2.6	54
	30歳代		10.6	28.7	23.4	23.4	12.8	0.0	94
	40歳代		14.4	43.9	12.2	21.6	5.8	1.1	139
	50歳代		14.7	41.0	16.0	22.4		2.2	156
	60歳代		14.1	46.2	15.4	17.3	5.1	4.5 1.3	156
	70歳以上		29.0	48.5	9.5	5.5		1.9	200
世帯構成	ひとり暮らし		21.2	33.3	18.2	16.2	9.1	4.5 3.0	99
	夫婦のみ		23.7	46.4	13.7	10.4		2.0	211
	二世帯（親と子）同居		14.4	44.4	13.8	19.1	6.5	3.8 1.9	340
	三世帯（親と子と孫）同居		16.8	38.9	19.5	18.6		1.8	113
	その他		9.7	35.5	25.8	16.1	12.9	3.5 2.7	31
居住地区	旧竹田市		19.1	43.7	14.9	14.9	5.9	0.0	476
	旧荻町		12.5	37.5	19.2	20.2	7.7	1.5	104
	旧久住町		17.6	42.0	17.6	15.3	6.9	2.9	131
	旧直入町		16.9	38.6	12.0	25.3		0.8 3.6 3.6	83

(2) かかりつけ医の有無

2 かかりつけの医者はいますか。

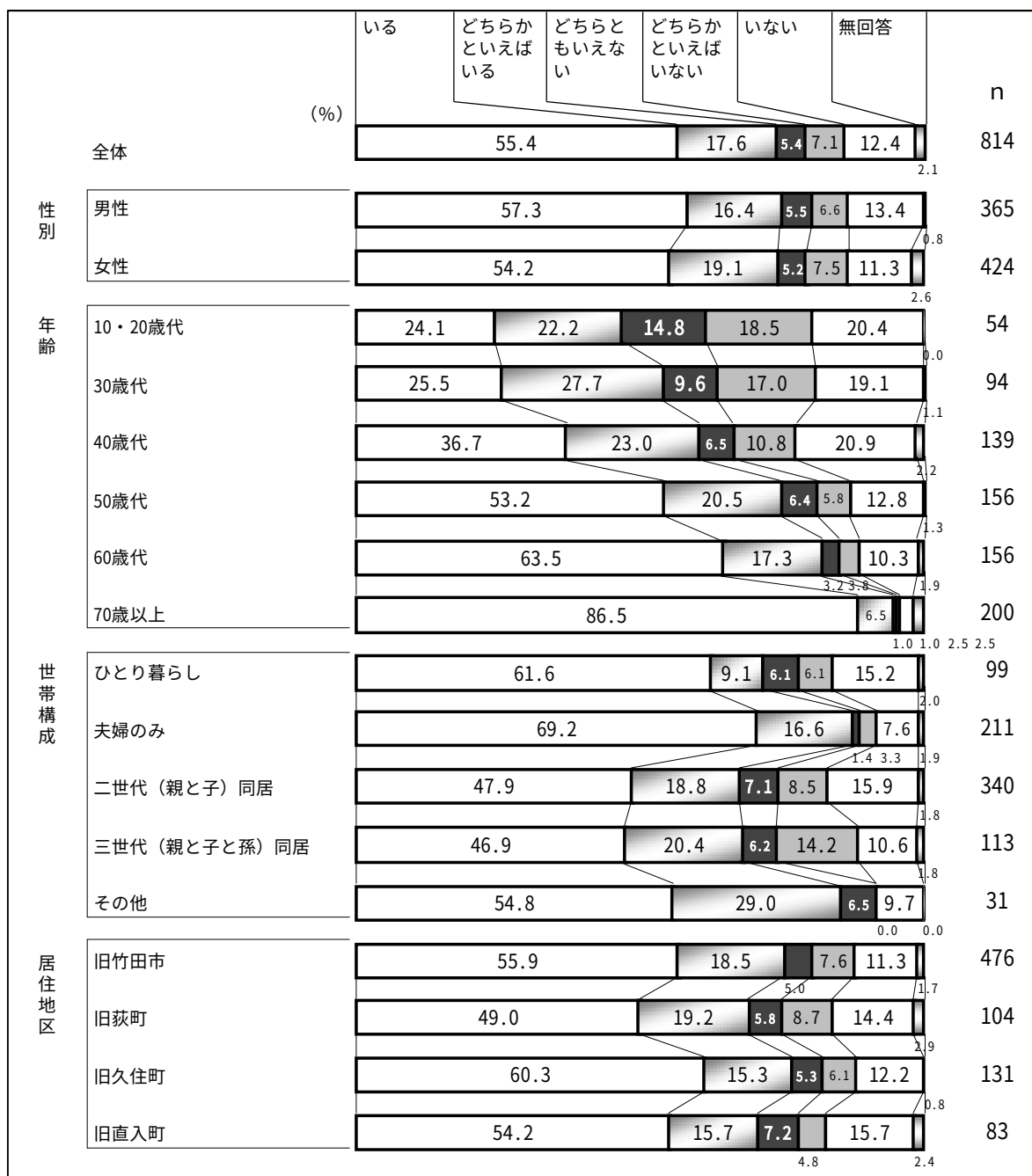


● “いる”が73.0%、“いない”が19.5%。

かかりつけ医の有無については、「いる」と答えた人が55.4%で最も多く、次いで「どちらかといえばいる」と答えた人が17.6%で、これらをあわせた“いる”という人が73.0%となっています。これに対し、“いない”という人（「いない」(12.4%)と「どちらかといえばいない」(7.1%)の合計）は19.5%となっています。なお、「どちらともいえない」は5.4%となっています。

[図表 14 参照]

図表 14 かかりつけ医の有無（全体・性別・年齢・世帯構成・居住地区）



(3) 環境に配慮した生活

3 環境美化や省資源・省エネルギー、アイドリングストップなど、環境に配慮した生活をしていますか。

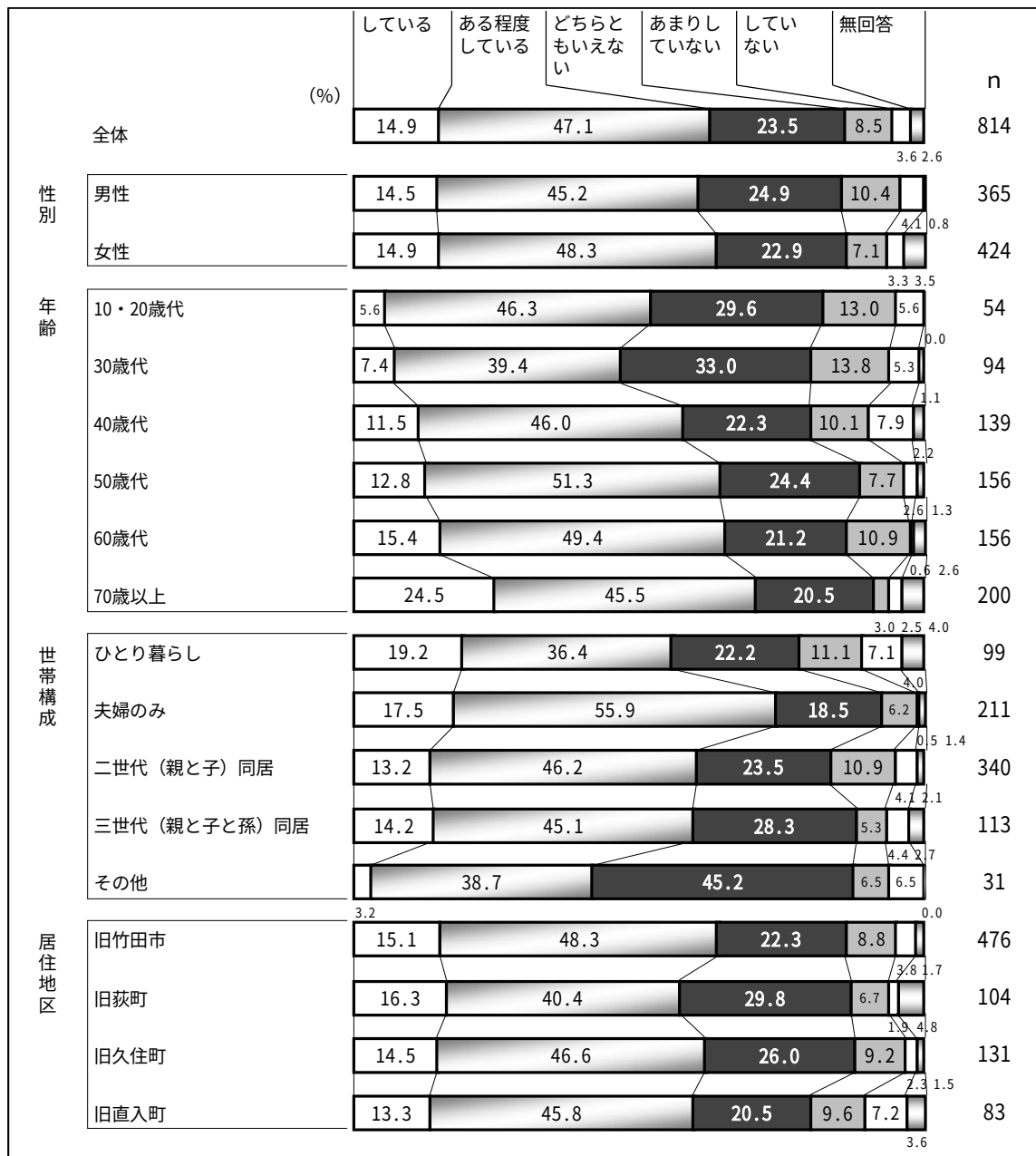


● “している”が62.0%、“していない”が12.1%。

環境に配慮した生活をしているかどうかについては、「ある程度している」と答えた人が47.1%で最も多く、これと「している」(14.9%)をあわせた“している”という人が62.0%と6割を超えています。これに対し、“していない”という人(「あまりしていない」(8.5%)と「していない」(3.6%)の合計)は12.1%となっています。なお、「どちらともいえない」は23.5%となっています。

[図表 15 参照]

図表 15 環境に配慮した生活（全体・性別・年齢・世帯構成・居住地区）



(4) 3 R運動

4 ごみの減量化のための3 R運動（リデュース：発生抑制、リユース：再使用、リサイクル：再生使用）をしていますか。

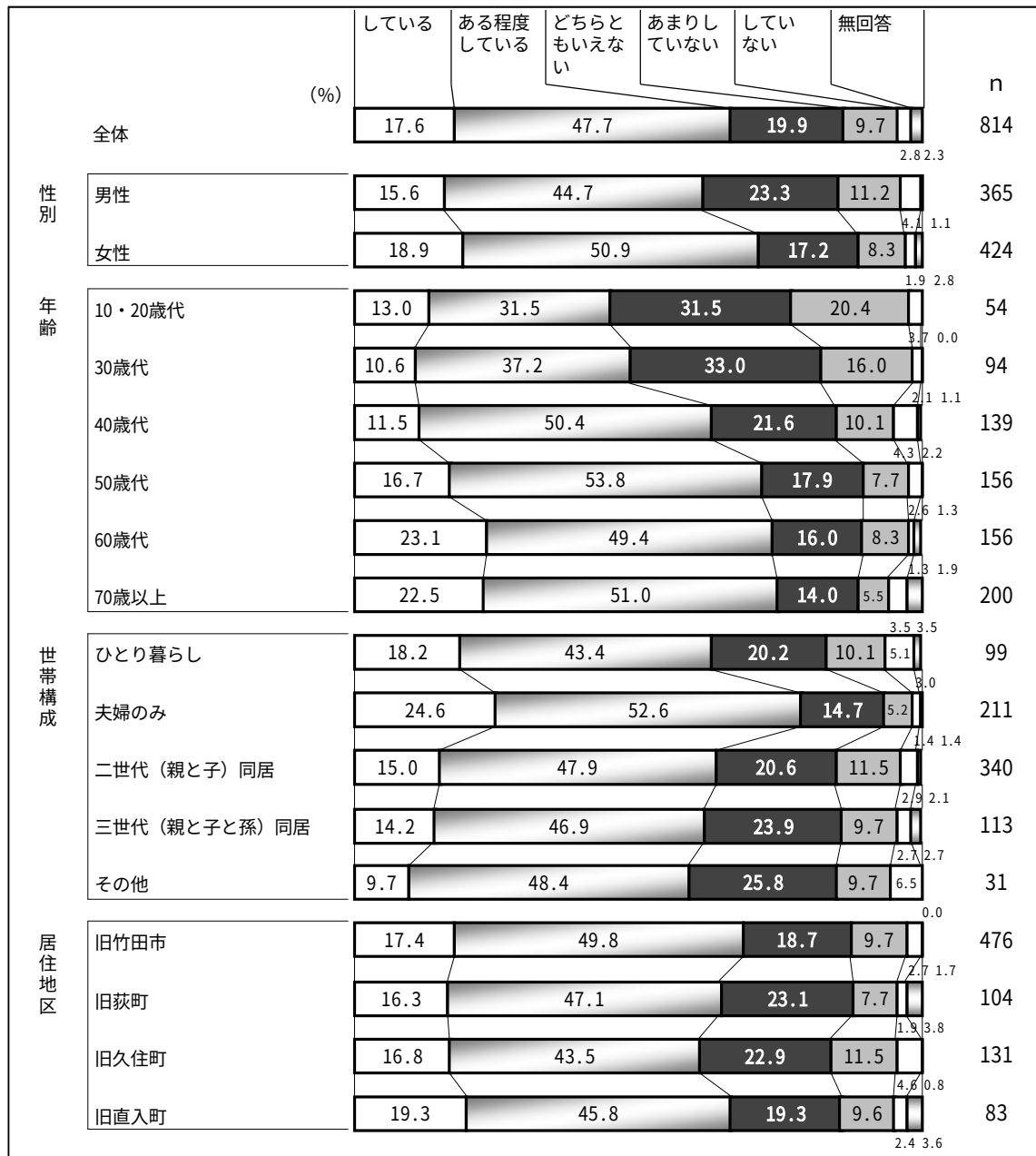


- “している”が65.3%、“していない”が12.5%。

3 R運動については、「ある程度している」と答えた人が47.7%で最も多く、これと「している」(17.6%)をあわせた“している”という人が65.3%となっています。これに対し、“していない”という人（「あまりしていない」(9.7%)と「していない」(2.8%)の合計）は12.5%となっています。なお、「どちらともいえない」は19.9%となっています。

[図表 16 参照]

図表 16 3 R運動（全体・性別・年齢・世帯構成・居住地区）



(5) 公共交通機関の利用

5 普段、できるだけ公共の交通機関を利用していますか。

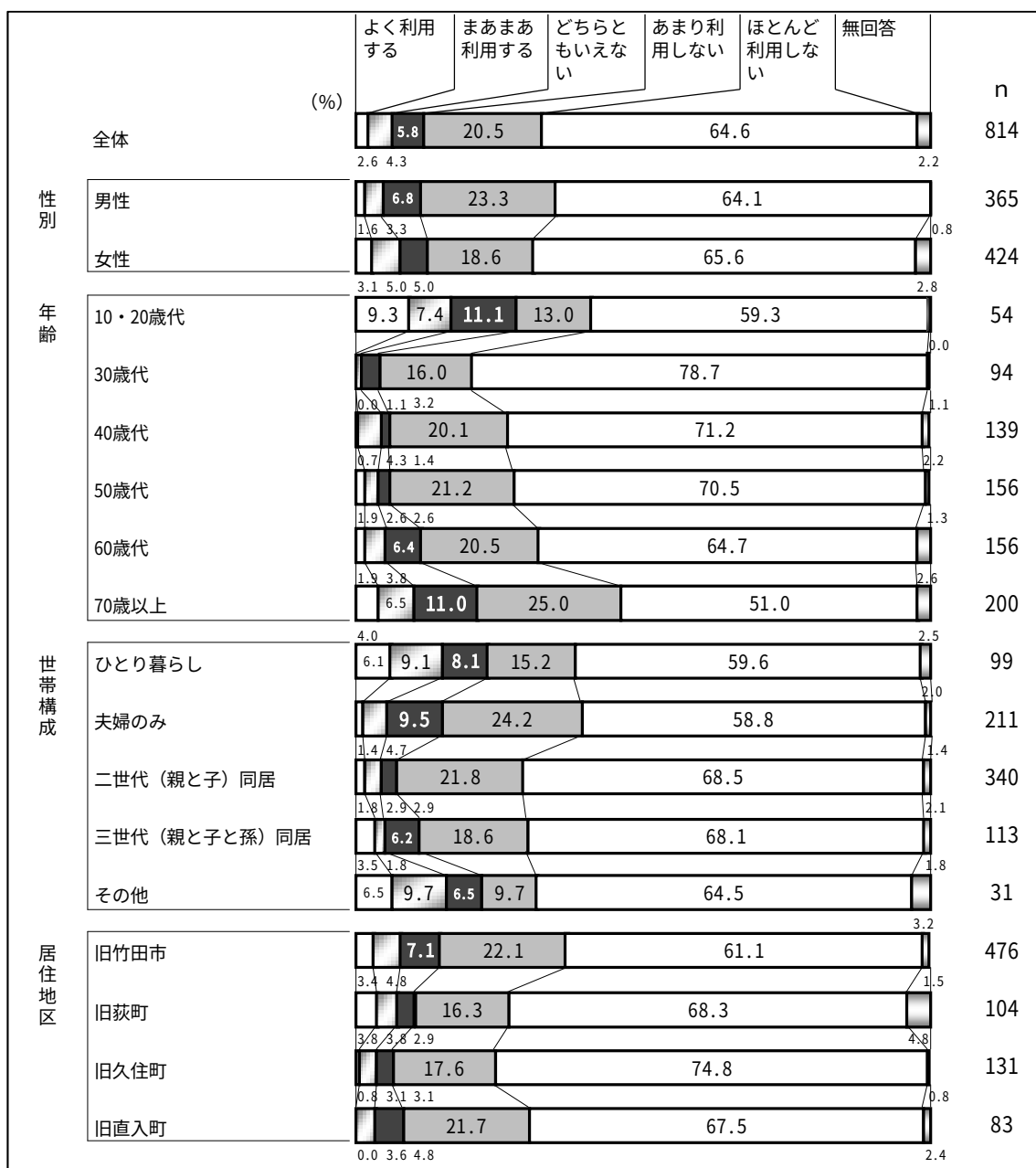


● “利用しない”が85.1%、“利用する”が6.9%。

公共交通機関の利用については、「ほとんど利用しない」と答えた人が64.6%で最も多く、次いで「あまり利用しない」と答えた人が20.5%で、これをあわせた“利用しない”という人が85.1%となっています。これに対し、“利用する”という人（「まあまあ利用する」(4.3%)と「よく利用する」(2.6%)の合計）は6.9%となっています。なお、「どちらともいえない」は5.8%となっています。

[図表 17 参照]

図表 17 公共交通機関の利用（全体・性別・年齢・世帯構成・居住地区）



(6) 災害時の避難場所

6 災害時の避難場所を知っていますか。

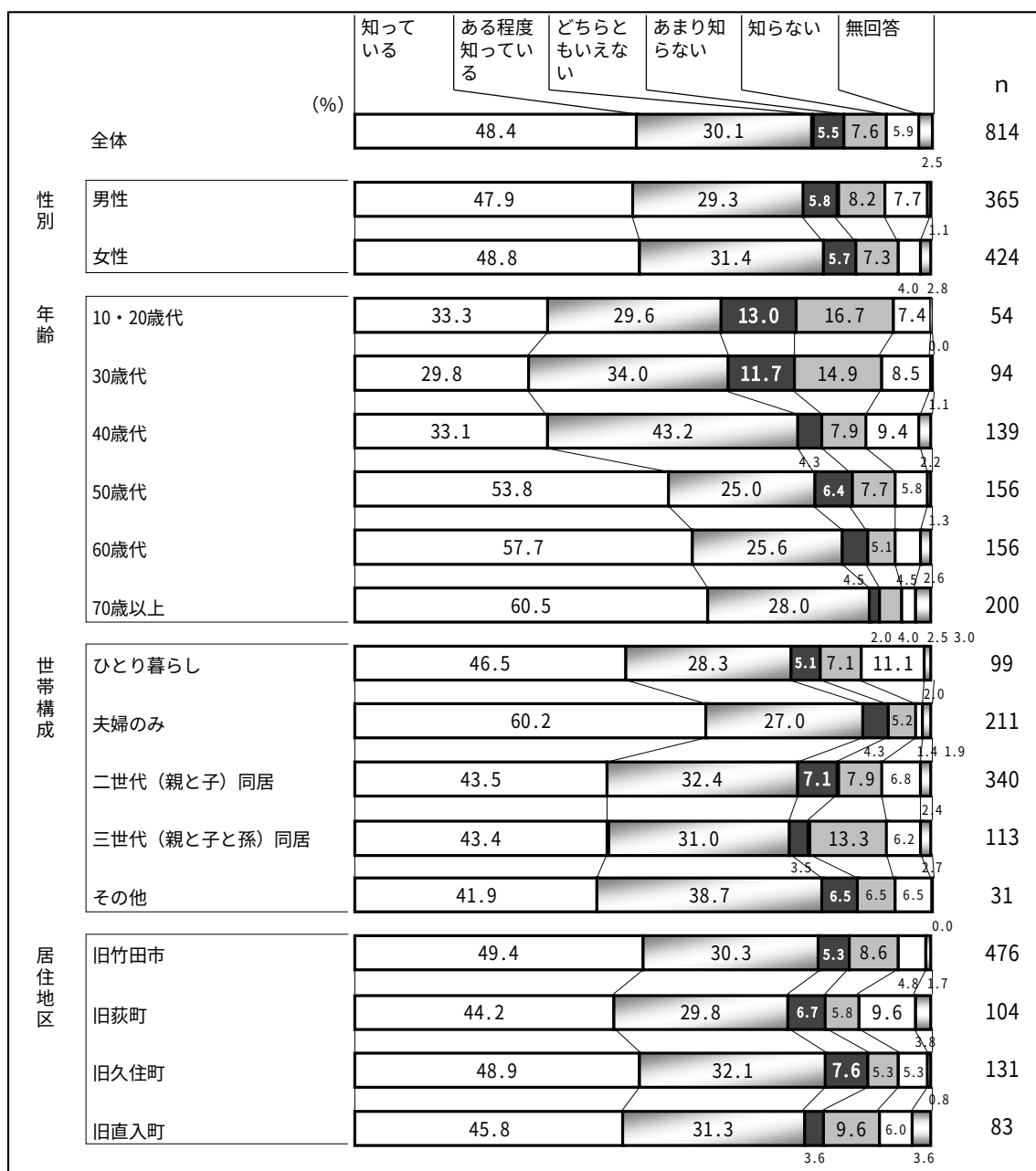


● “知っている”が78.5%、知らない”が13.5%。

災害時の避難場所を知っているかどうかについては、「知っている」と答えた人が48.4%で最も多く、次いで「ある程度知っている」と答えた人が30.1%で、これをあわせた“知っている”という人が78.5%と8割弱となっています。これに対し、“知らない”という人（「あまり知らない」(7.6%)と「知らない」(5.9%)の合計）は13.5%となっています。なお、「どちらともいえない」は5.5%となっています。

[図表 18 参照]

図表 18 災害時の避難場所（全体・性別・年齢・世帯構成・居住地区）



(7) 職場や地域での防災訓練への参加

7 職場や地域での防災訓練に参加していますか。

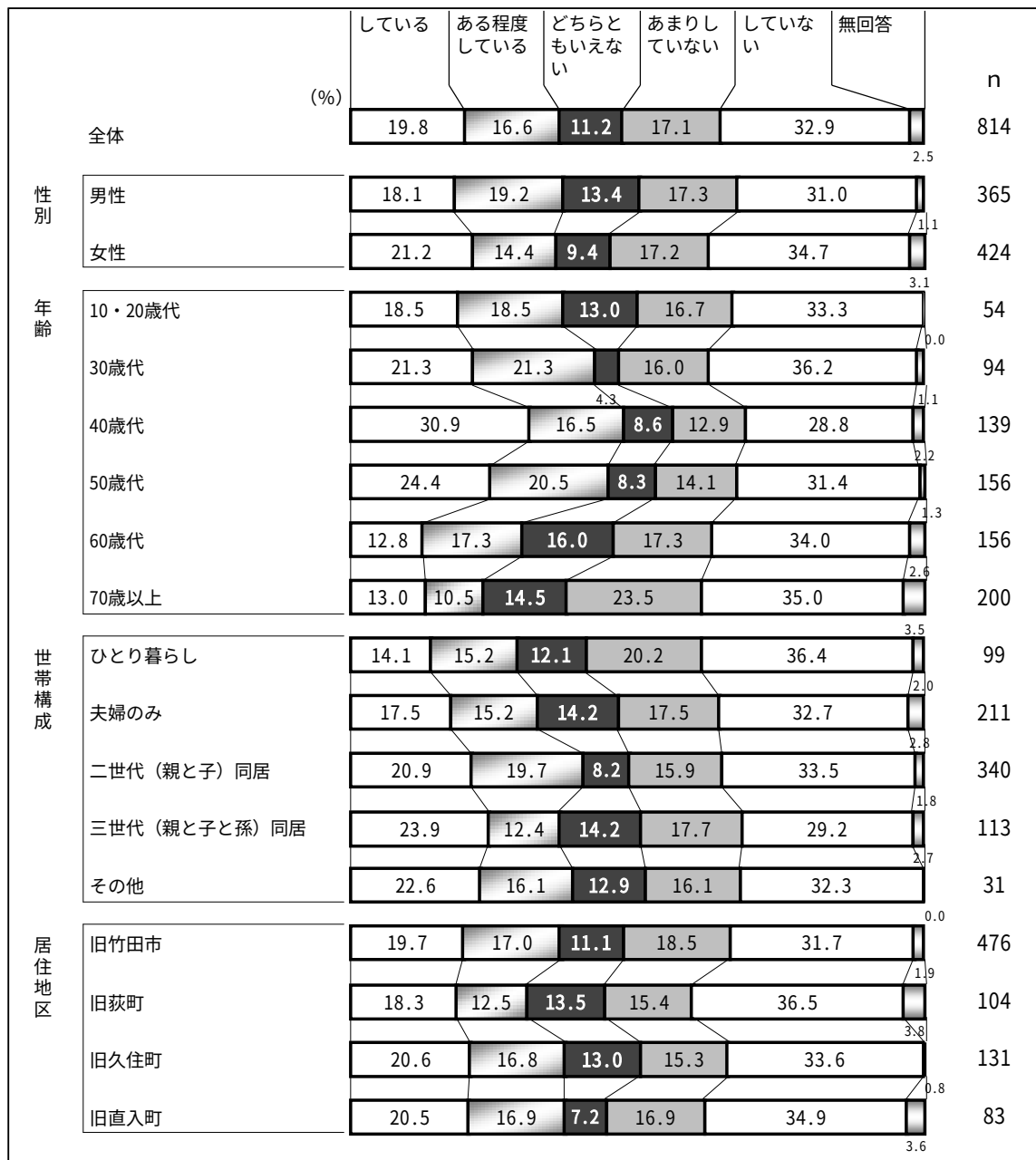


● “していない”が50.0%、“している”が36.4%。

職場や地域での防災訓練への参加状況は、「していない」と答えた人が32.9%で最も多く、これと「あまりしていない」(17.1%)をあわせた“していない”という人は50.0%となっています。これに対し、“している”という人(「している」(19.8%)と「ある程度している」(16.6%)の合計)は36.4%となっています。なお、「どちらともいえない」は11.2%となっています。

[図表 19 参照]

図表 19 職場や地域での防災訓練への参加
(全体・性別・年齢・世帯構成・居住地区)



(8) 市の講座や教室等の生涯学習活動への参加

8 市の講座や教室等の生涯学習活動に参加していますか。

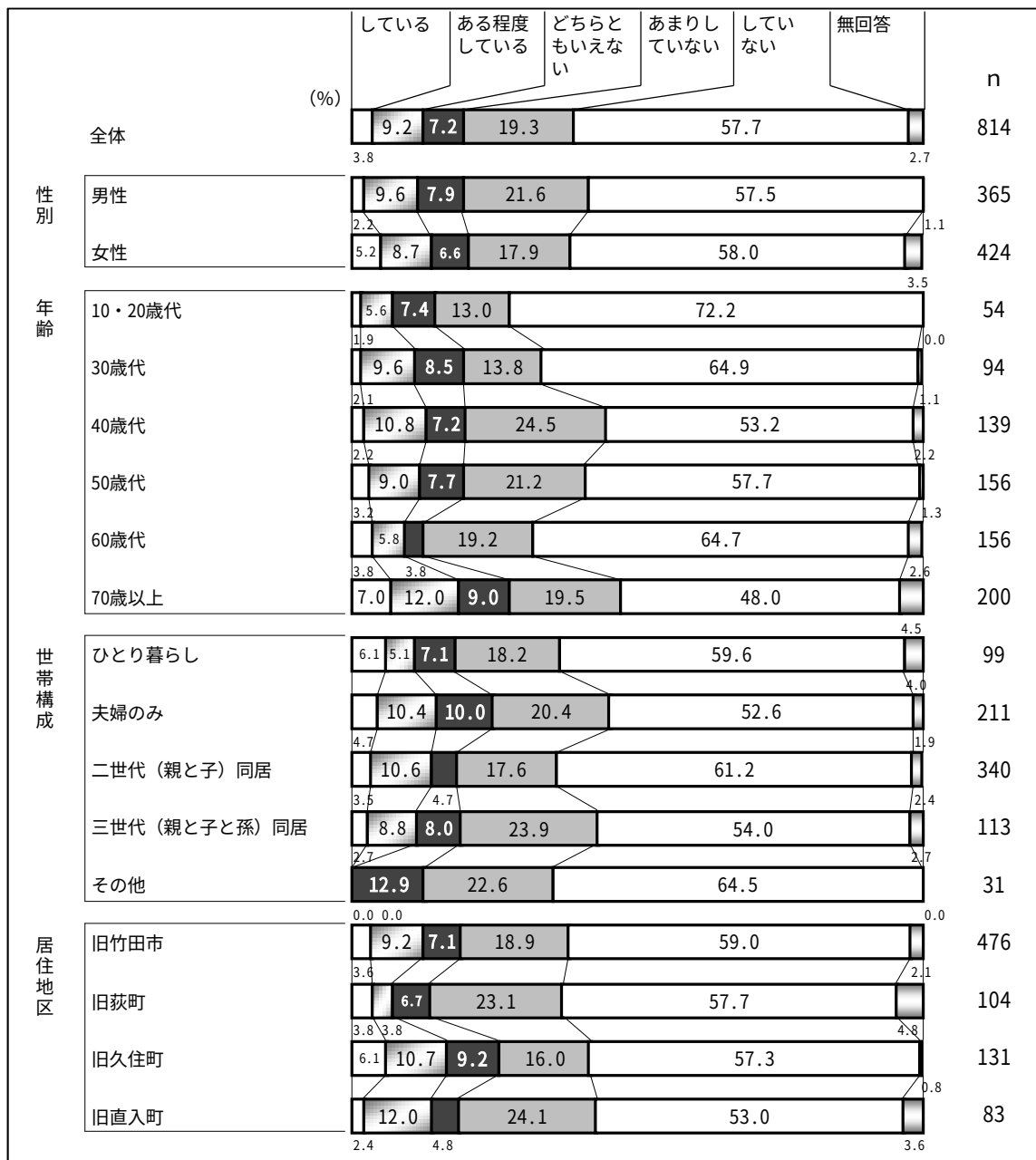


● “していない”が77.0%、“している”が10.0%。

生涯学習活動への参加状況は、「していない」と答えた人が57.7%で最も多く、次いで「あまりしていない」と答えた人が19.3%で続き、これらをあわせた“していない”という人が77.0%と8割弱となっています。これに対し、“している”という人（「ある程度している」(9.2%)と「している」(3.8%)の合計）は10.0%となっています。なお、「どちらともいえない」は7.2%となっています。

[図表 20 参照]

図表 20 市の講座や教室等の生涯学習活動への参加
(全体・性別・年齢・世帯構成・居住地区)



(9) 地域のいろいろな行事への参加

9 地域のいろいろな行事に参加していますか。

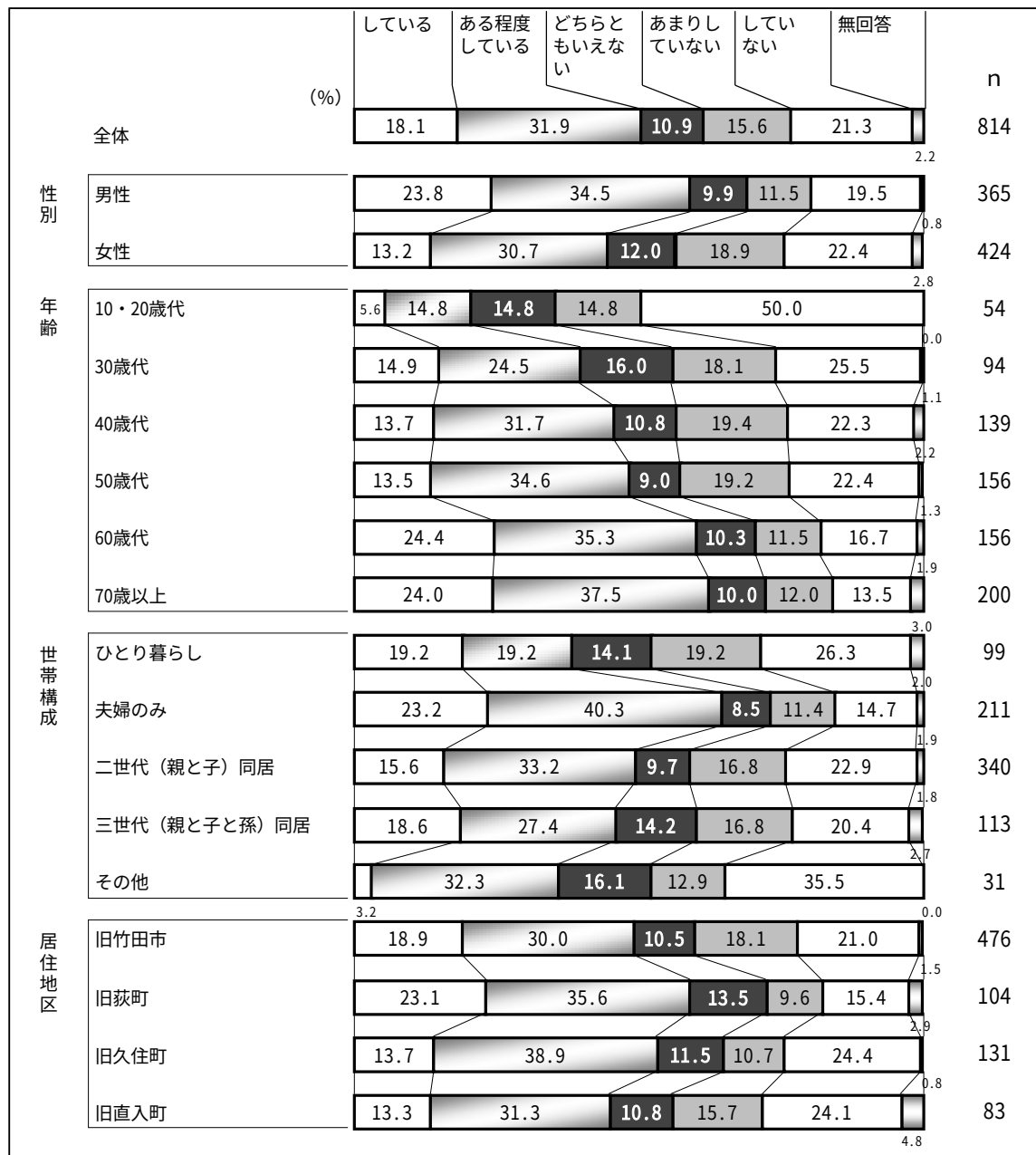


● “している”が50.0%、“していない”が36.9%。

地域の行事への参加状況は、「ある程度している」と答えた人が31.9%で最も多く、これと「している」(18.1%)をあわせた“している”という人が50.0%となっています。これに対し、“していない”という人(「していない」(21.3%)と「あまりしていない」(15.6%)の合計)は36.9%となっています。なお、「どちらともいえない」は10.9%となっています。

[図表 21 参照]

図表 21 地域のいろいろな行事への参加
(全体・性別・年齢・世帯構成・居住地区)



(10) 地域活動やボランティアなどへの参加意向

10 地域活動やボランティアなどで社会のために活動してみたいと思いますか。

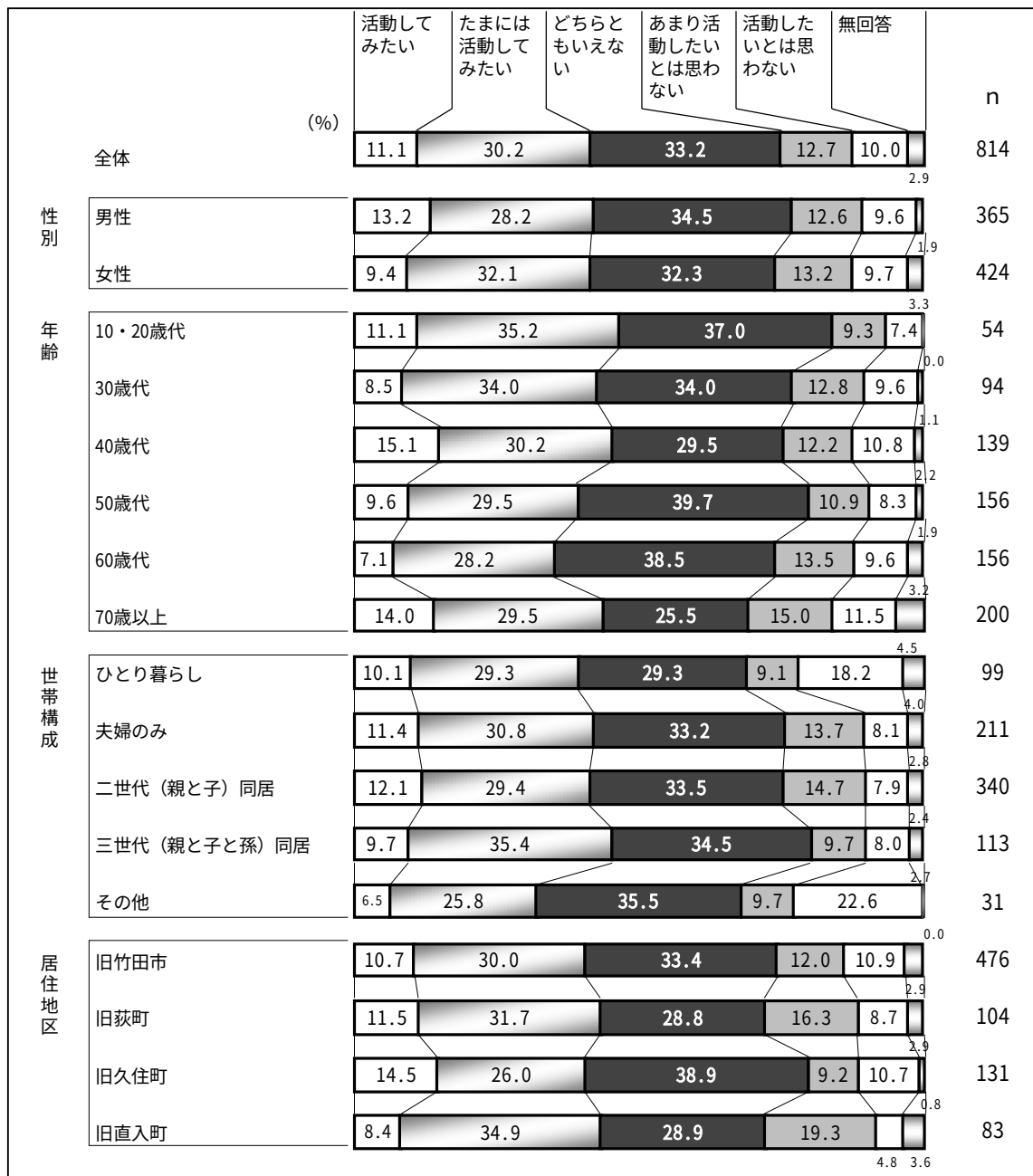


● “活動してみたい”が41.3%、“していない”が22.7%。

地域活動やボランティアなどへの参加意向は、「どちらともいえない」と答えた人が33.2%で最も多く、次いで「たまには活動してみたい」が30.2%で続き、これと「活動してみたい」（11.1%）をあわせた“活動してみたい”という人が41.3%と4割強となっています。これに対し、“活動したいとは思わない”という人（「あまり活動したいとは思わない」（12.7%）と「活動したいとは思わない」（10.0%）%の合計）は22.7%となっています。

[図表 22 参照]

図表 22 地域活動やボランティアなどへの参加意向
(全体・性別・年齢・世帯構成・居住地区)



(11) 市政に関する情報の入手先

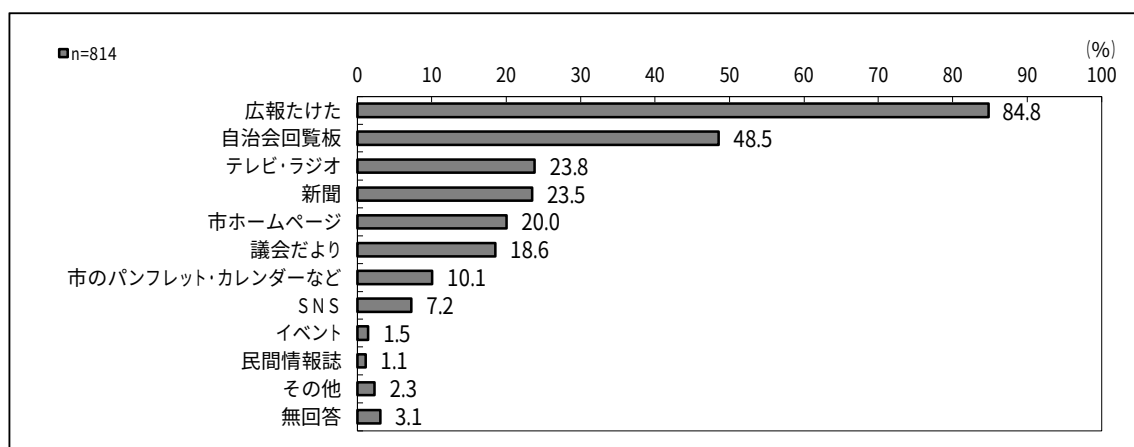
11 村政に関する情報を主にどの方法で知りますか。【複数回答】

- 「広報たけた」が他を引き離して第1位。次いで「自治会回覧板」、「テレビ・ラジオ」の順。

市政に関する情報の入手先についてたずねたところ、「広報たけた」(84.8%)が他を大きく引き離して第1位となっています。次いで、「自治会回覧板」(48.5%)が第2位、「テレビ・ラジオ」(23.8%)が第3位で続き、これ以外では、「新聞」(23.5%)、「市ホームページ」(20.0%)、「議会だより」(18.6%)、「市のパンフレット・カレンダーなど」(10.1%)、「SNS」(7.2%)、「イベント」(1.5%)などの順となっています。

属性別でみると、すべての属性で全体と同様に「村広報紙」が第1位、ほとんどの属性で「議会だより」と「村ホームページ」が第2位あるいは第3位にあげられ、大きな違いはみられませんでした。[図表23・24参照]

図表23 市政に関する情報の入手先（全体／複数回答）



図表 24 市政に関する情報の入手先
(全体・性別・年齢・世帯構成・居住地区－上位3位／複数回答)

(単位：％)

		第1位	第2位	第3位
全体		広報たけた 84.8	自治会回覧板 48.5	テレビ・ラジオ 23.8
性別	男性	広報たけた 83.3	自治会回覧板 48.2	新聞 24.9
	女性	広報たけた 87.5	自治会回覧板 50.2	テレビ・ラジオ 25.5
年齢	10・20歳代	広報たけた 61.1	自治会回覧板 35.2	テレビ・ラジオ／SNS 25.9
	30歳代	広報たけた 84.0	自治会回覧板 40.4	市ホームページ／テレビ・ラジオ 24.5
	40歳代	広報たけた 83.5	自治会回覧板 33.8	市ホームページ 30.9
	50歳代	広報たけた 89.7	自治会回覧板 50.0	市ホームページ 30.1
	60歳代	広報たけた 89.1	自治会回覧板 52.6	新聞 27.6
	70歳以上	広報たけた 87.0	自治会回覧板 63.5	新聞 31.5
世帯構成	ひとり暮らし	広報たけた 75.8	自治会回覧板 43.4	新聞 25.3
	夫婦のみ	広報たけた 93.8	自治会回覧板 59.7	新聞 28.0
	二世帯（親と子）同居	広報たけた 83.8	自治会回覧板 46.5	テレビ・ラジオ 24.7
	三世帯（親と子と孫）同居	広報たけた 84.1	自治会回覧板 43.4	新聞 28.3
	その他	広報たけた 74.2	自治会回覧板 45.2	テレビ・ラジオ 29.0
居住地区	旧竹田市	広報たけた 86.1	自治会回覧板 52.3	市ホームページ／テレビ・ラジオ 22.7
	旧荻町	広報たけた 86.5	自治会回覧板 54.8	新聞 23.1
	旧久住町	広報たけた 84.7	自治会回覧板 38.2	テレビ・ラジオ 29.8
	旧直入町	広報たけた 79.5	自治会回覧板 42.2	新聞 26.5

(12) 市と一緒にまちづくりを考えてみたいか

12 市と一緒にまちづくりを考えてみたいと思いますか。

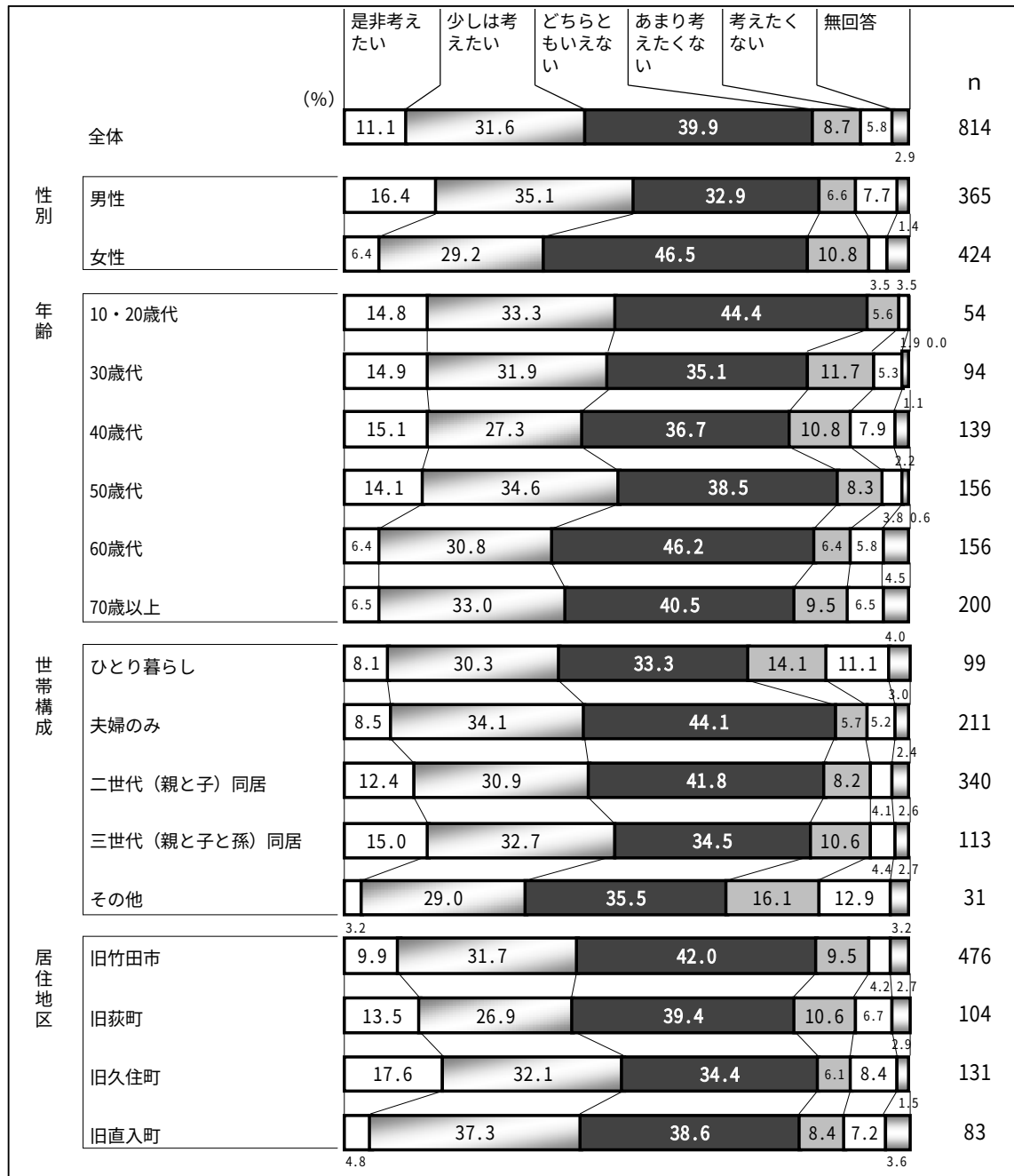


● “考えたい”が42.7%、“考えたくない”が14.5%。

市と一緒にまちづくりを考えてみたいと思うかどうかについては、「どちらともいえない」と答えた人が39.9%で最も多く、次いで「少しは考えたい」と答えた人が31.6%で続き、これと「是非考えたい」（11.1%）をあわせた“考えたい”という人が42.7%と4割強となっています。これに対し、“考えたくない”という人（「あまり考えたくない」（8.7%）と「考えたくない」（5.8%）%の合計）は14.5%となっています。

[図表 25 参照]

図表 25 市と一緒にまちづくりを考えてみたいか
(全体・性別・年齢・世帯構成・居住地区)



(13) 頼りになる知り合いが近所にいるか

13 頼りになる知り合いが近所にいますか。

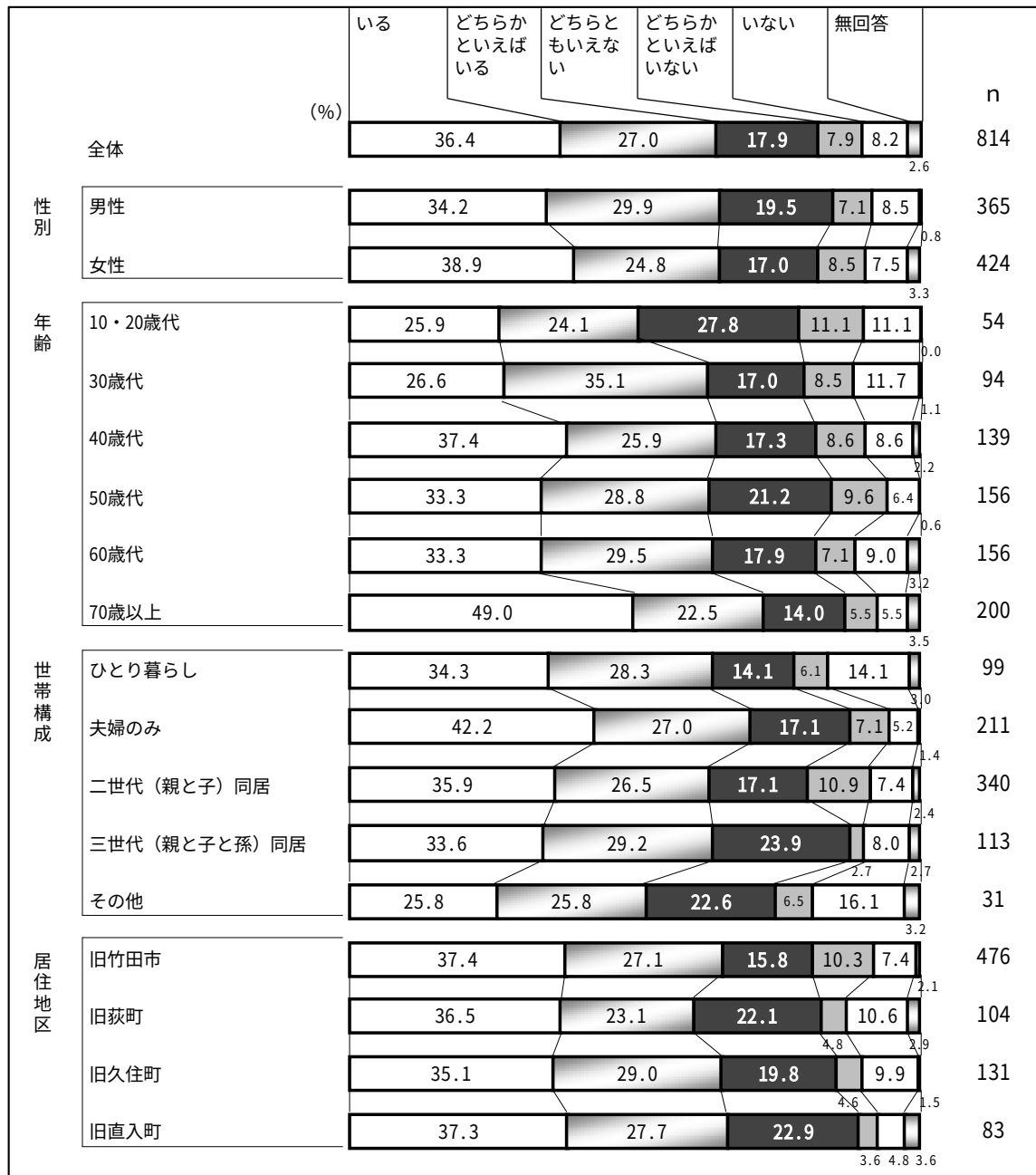


● “ いる ” が 63.4%、“ いない ” が 16.1%。

頼りになる知り合いが近所にいるかどうかについては、「いる」と答えた人が 36.4%で最も多く、次いで「どちらかといえばいる」が 27.0%で続き、これらをあわせた“ いる ”という人が 63.4%と 6 割強となっています。これに対し、“ いない ”という人（「いない」(8.2%)と「どちらかといえばいない」(7.9%)の合計）は 16.1%となっています。なお、「どちらともいえない」は 7.9%となっています。

[図表 26 参照]

図表 26 頼りになる知り合いが近所にいるか
(全体・性別・年齢・世帯構成・居住地区)



(14) 高齢者や障がい者にも暮らしやすい地域か

14 住んでいる地域の高齢者や障がいのある人にも暮らしやすいと思いますか。

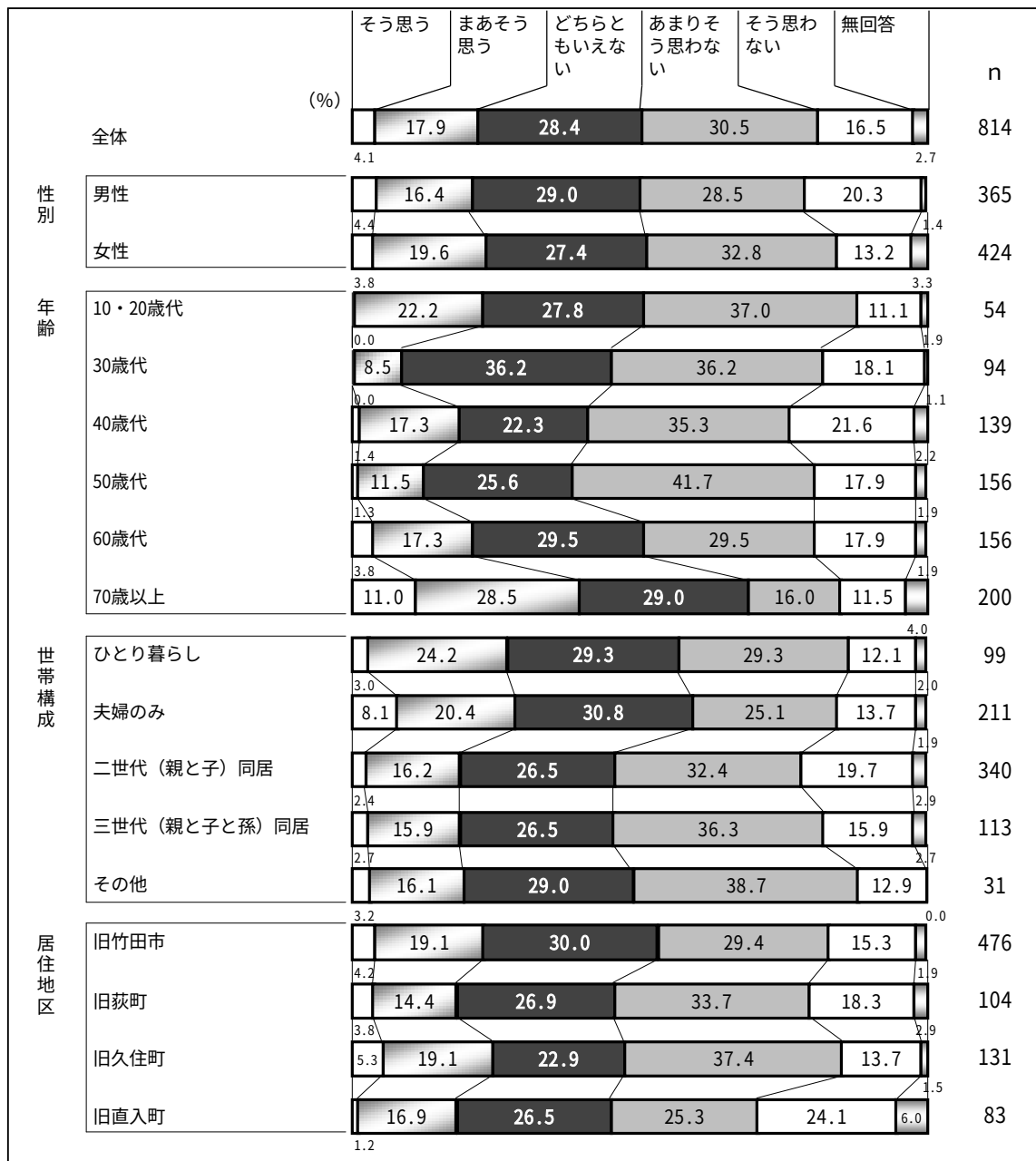


● “ そう思わない ” が 47.0%、 “ そう思う ” が 22.0%。

高齢者や障がい者の暮らしやすさについては、「あまりそう思わない」と答えた人が30.5%で最も多く、これと「そう思わない」(16.5%)をあわせた“ そう思わない ”という人が47.0%となっています。これに対し、“ そう思う ”という人(「まあそう思う」(17.9%)と「そう思う」(4.1%)の合計)は22.0%となっています。なお、「どちらともいえない」は28.4%となっています。

[図表 27 参照]

図表 27 高齢者や障がい者にも暮らしやすい地域か
(全体・性別・年齢・世帯構成・居住地区)



(15) 買い物や通院に便利な地域か

15 住んでいる地域は買い物や通院に便利だと思いますか。

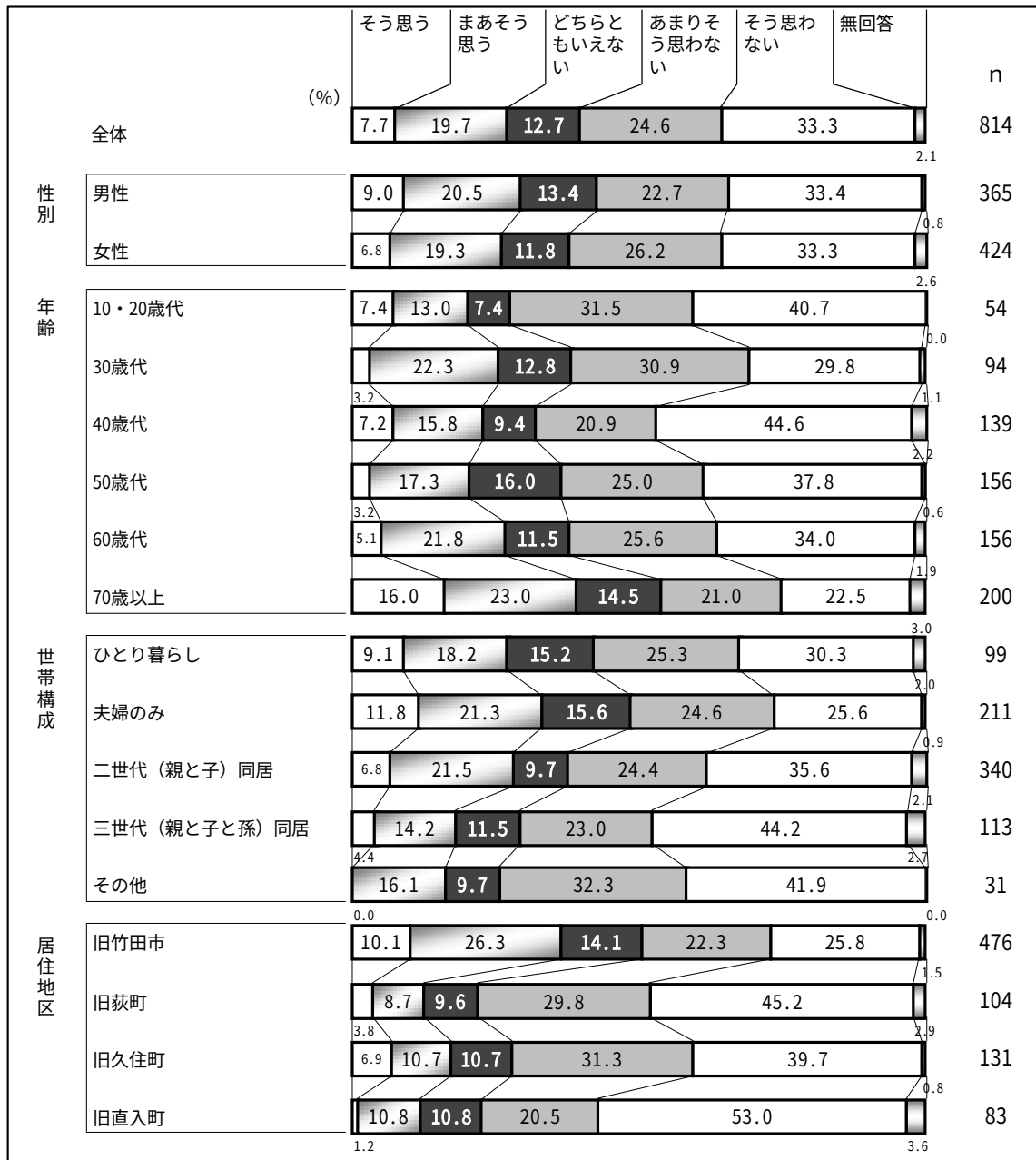


● “ そう思わない ” が 57.9%、 “ そう思う ” が 27.4%。

買い物や通院の便利さについては、「そう思わない」と答えた人が 33.3%で最も多く、次いで「あまりそう思わない」が 24.6%で続き、これらをあわせた“ そう思わない ” という人が 57.9%で6割弱となっています。これに対し、“ そう思う ” という人（「まあそう思う」(19.7%)と「そう思う」(7.7%)の合計）は 27.4%となっています。なお、「どちらともいえない」は 12.7%となっています。

[図表 28 参照]

図表 28 買い物や通院に便利な地域か（全体・性別・年齢・世帯構成・居住地区）



(16) 子育てに積極的な地域か

16 住んでいる地域は子育てに積極的だと思いますか。

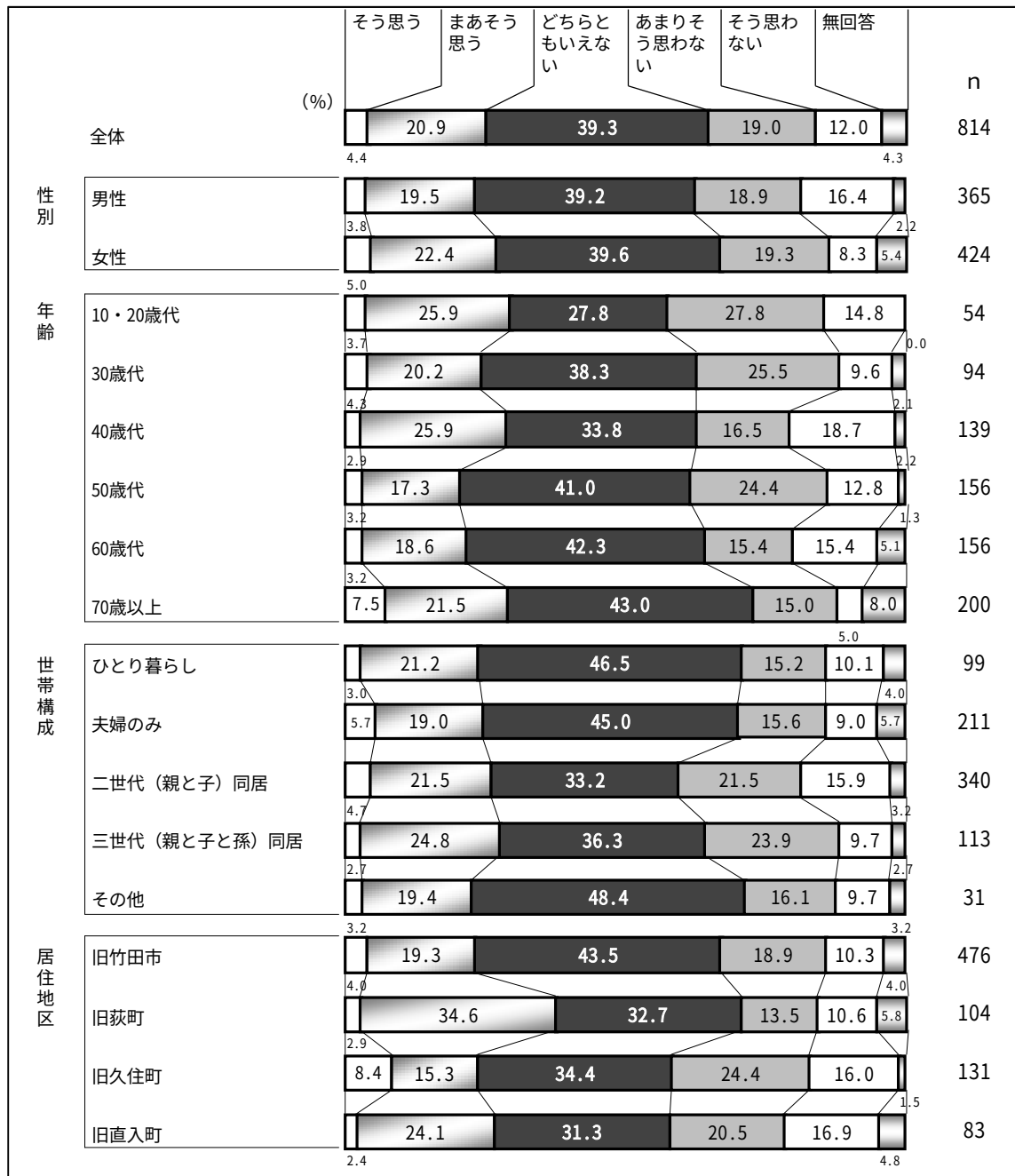


- “ そう思わない ” が 31.0%、 “ そう思う ” が 25.3%。

子育てに積極的な地域かどうかについては、「どちらともいえない」と答えた人が 39.3%で最も多いですが、次いで「まあそう思う」と答えた人が 20.9%で続き、これと「そう思う」（4.4%）をあわせた“ そう思う ”という人が 25.3%となっています。これに対し、“ そう思わない ”という人（「あまりそう思わない」（19.0%）と「そう思わない」（12.0%）の合計）は 31.0%となっています。

[図表 29 参照]

図表 29 子育てに積極的な地域か（全体・性別・年齢・世帯構成・居住地区）



(17) 地域の子どもはのびのびと育っているか

17 住んでいる地域の子どもはのびのびと育っていると思いますか。

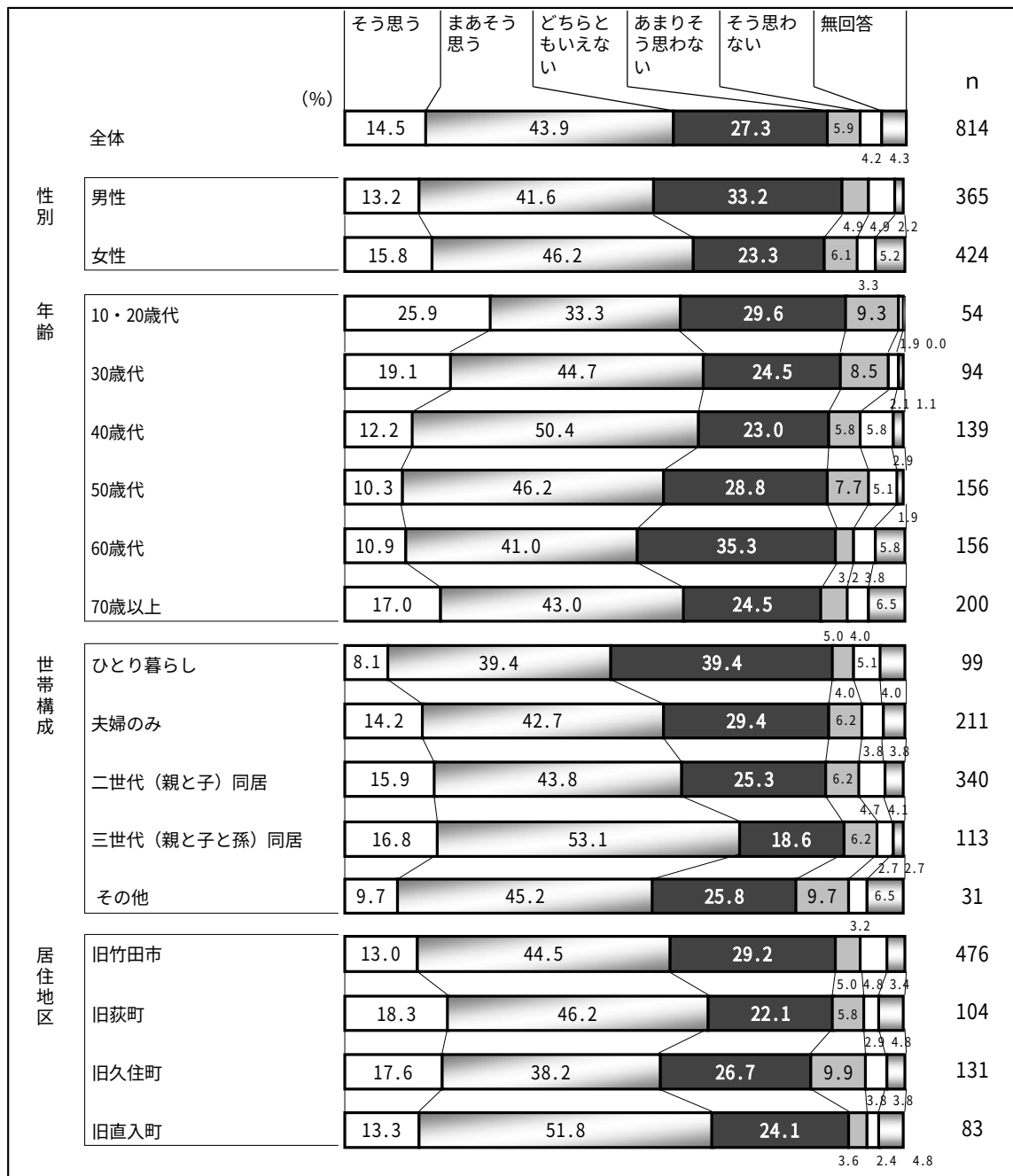


● “ そう思う ” が 58.4%、“ そう思わない ” が 10.1%。

地域の子どもはのびのびと育っていると思うかどうかについては、「まあそう思う」と答えた人が 43.9%で最も多く、これと「そう思う」（14.5%）をあわせた“ そう思う ” という人が 58.4%と6割弱となっています。これに対し、“ そう思わない ” という人（「あまりそう思わない」（5.9%）と「そう思わない」（4.2%）の合計）は 10.1%となっています。なお、「どちらともいえない」は 27.3%となっています。

[図表 30 参照]

図表 30 地域の子どもはのびのびと育っているか
(全体・性別・年齢・世帯構成・居住地区)



(18) 地域の公共交通は便利だと思うか

18 住んでいる地域の公共交通は便利だと思いますか。

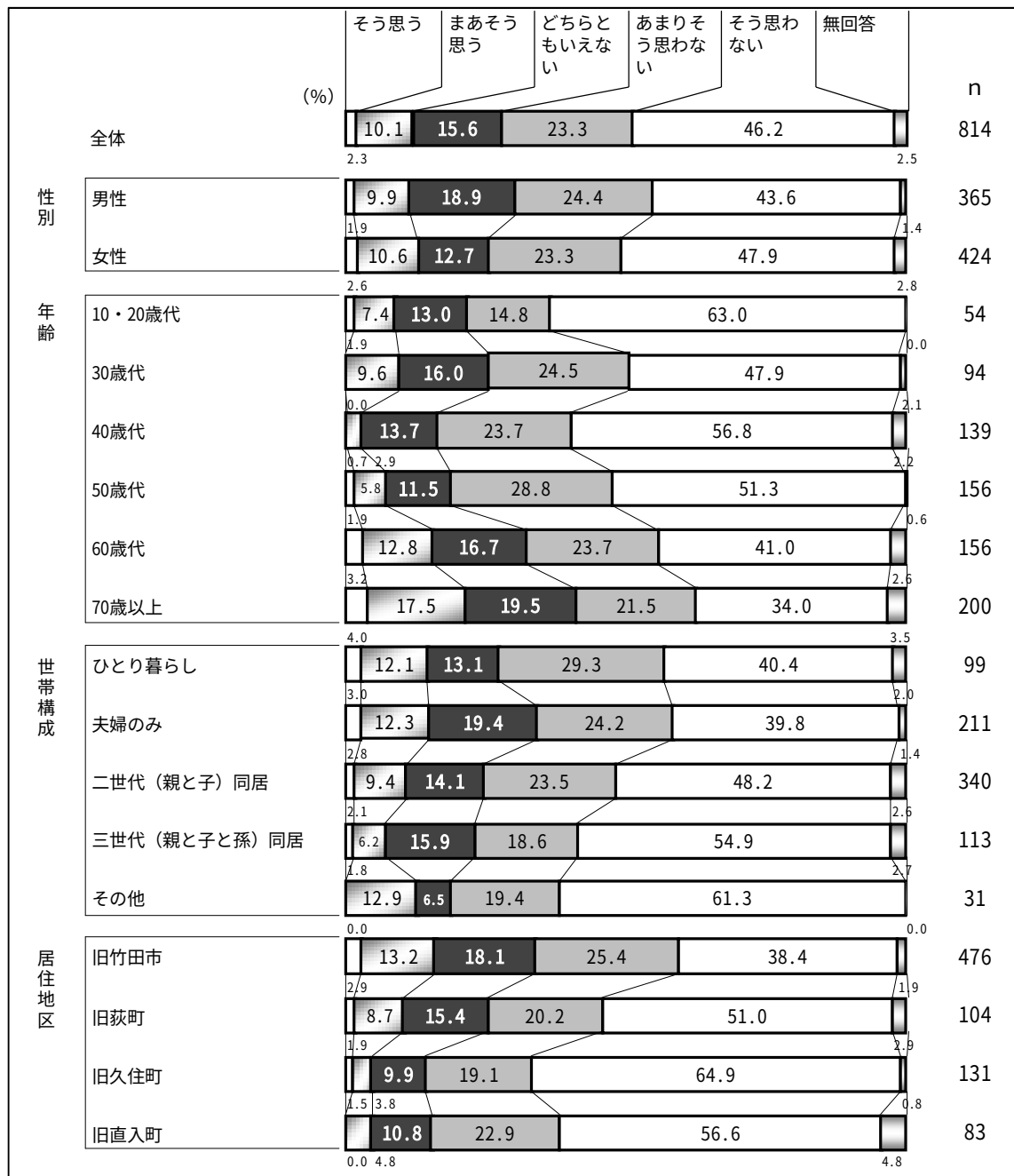


● “ そう思わない ” が 69.5%、 “ そう思う ” が 12.4%。

地域の公共交通は便利かどうかについては、「そう思わない」と答えた人が 46.2%で最も多く、次いで「あまりそう思わない」と答えた人が 23.3%で続き、これらをあわせた“ そう思わない ”という人が 69.5%と7割弱となっています。これに対し、“ そう思う ”という人（「まあそう思う」(10.1%) と「そう思う」(2.3%) の合計）は 12.4%となっています。なお、「どちらともいえない」は 15.6%となっています。

[図表 31 参照]

図表 31 地域の公共交通は便利だと思うか（全体・性別・年齢・世帯構成・居住地区）



(19) 地域はきれいだと思うか

19 住んでいる地域はきれいだと思いますか。

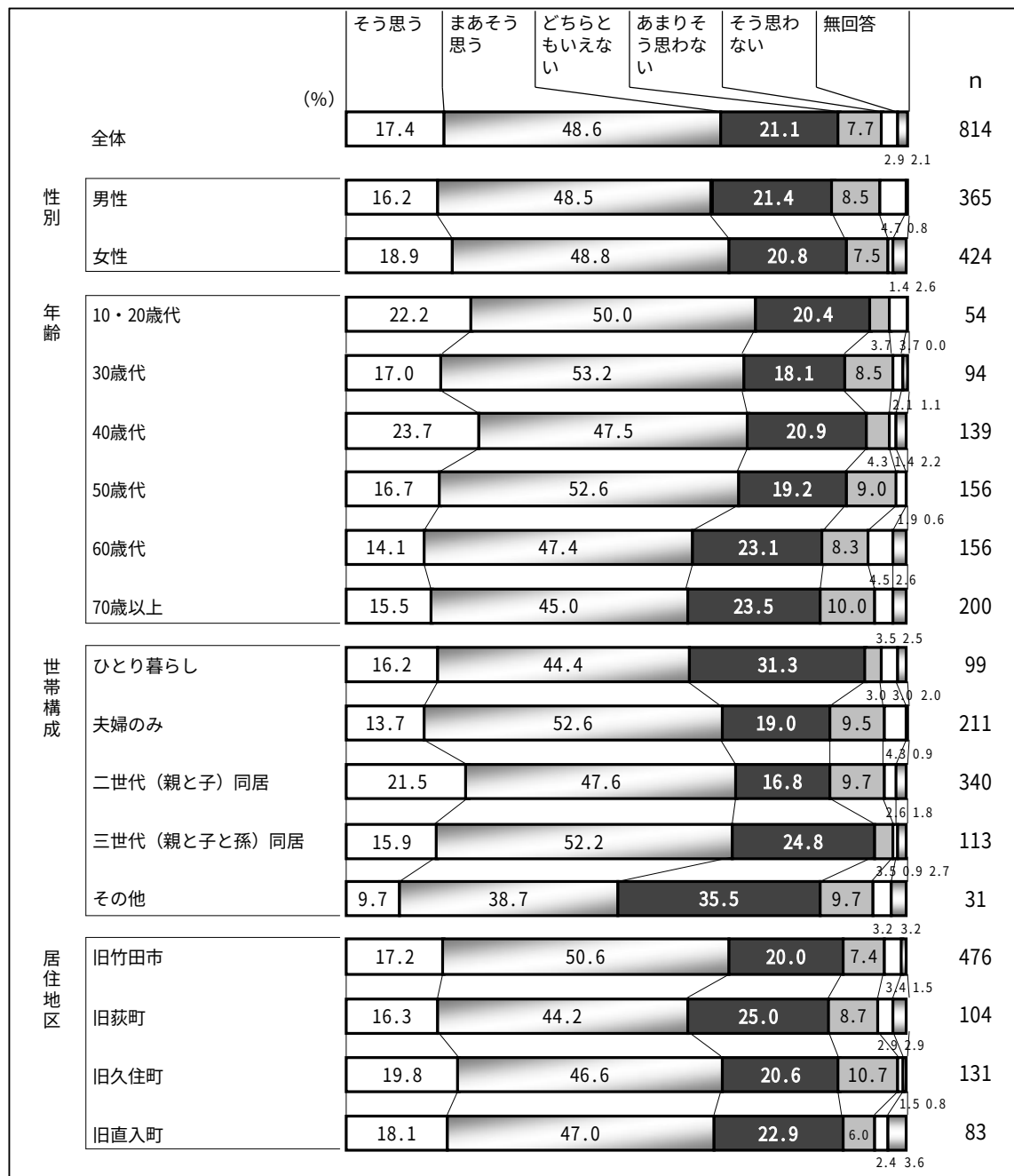


● “ そう思う ” が 66.0%、 “ そう思わない ” が 10.6%。

住んでいる地域はきれいだと思うかどうかについては、「まあそう思う」と答えた人が 48.6%で最も多く、これと「そう思う」(17.4%)をあわせた“ そう思う ”という人が 66.0%と7割弱となっています。これに対し、“ そう思わない ”という人(「あまりそう思わない」(7.7%)と「そう思わない」(2.9%)の合計)は 10.6%となっています。なお、「どちらともいえない」は 21.1%となっています。

[図表 32 参照]

図表 32 地域はきれいだと思うか（全体・性別・年齢・世帯構成・居住地区）



(20) 地域に活気があるか

20 住んでいる地域に活気がありますか。

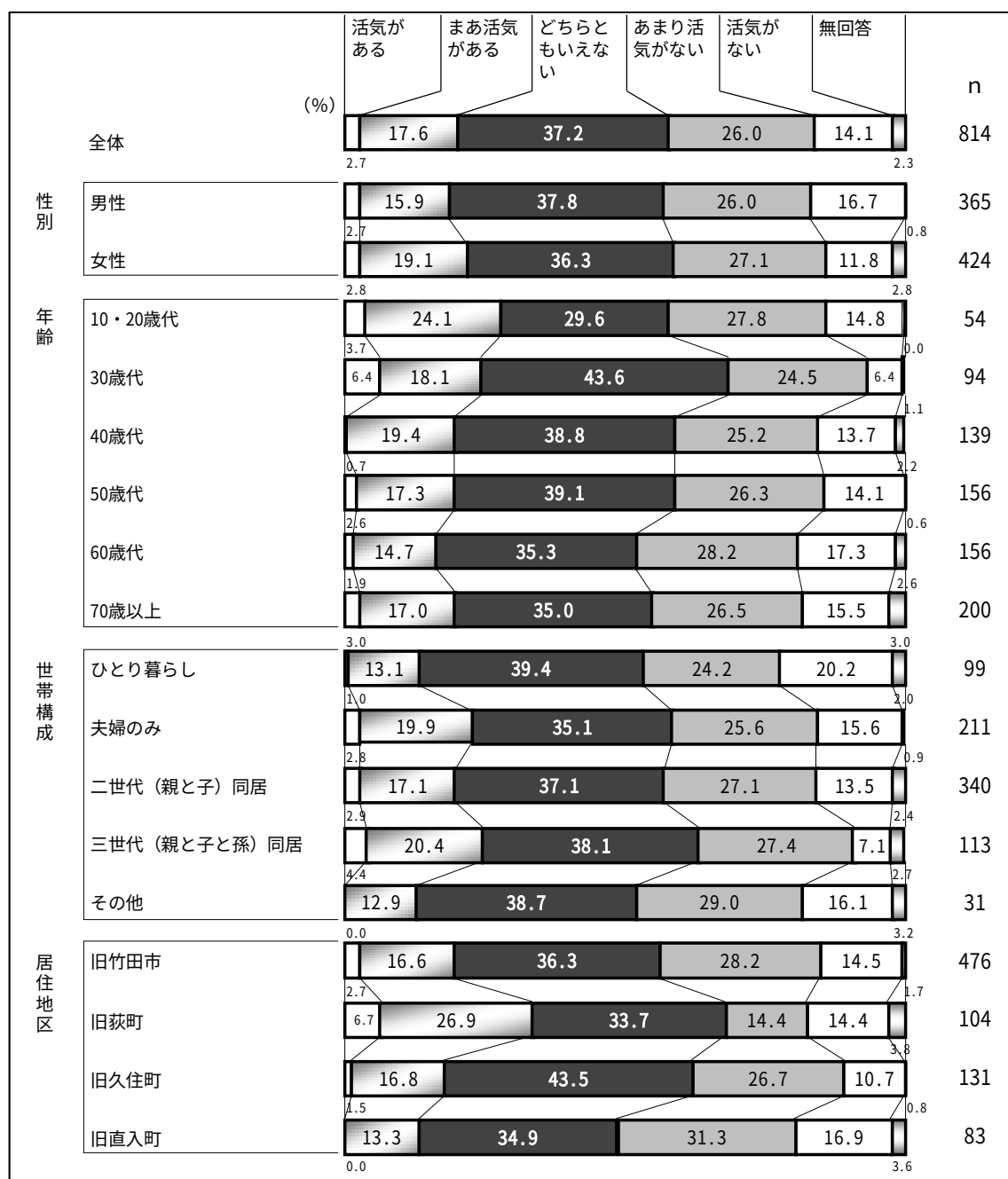


● “活気がない”が26.0%、“ない”が20.3%。

自地域に活気があるかどうかについては、「どちらともいえない」と答えた人が37.2%で最も多いですが、次いで「あまり活気がない」と答えた人が26.0%で続き、これと「活気がない」(14.1%)をあわせた“活気がない”という人が40.1%となっています。これに対し、“活気がある”という人(「まあ活気がある」(17.6%)と「活気がある」(2.7%)の合計)は20.3%となっています。

[図表 33 参照]

図表 33 地域に活気があるか（全体・性別・年齢・世帯構成・居住地区）



(21) 自慢したい地域の風景や名所があるか

21 自慢したい地域の風景や名所がありますか。

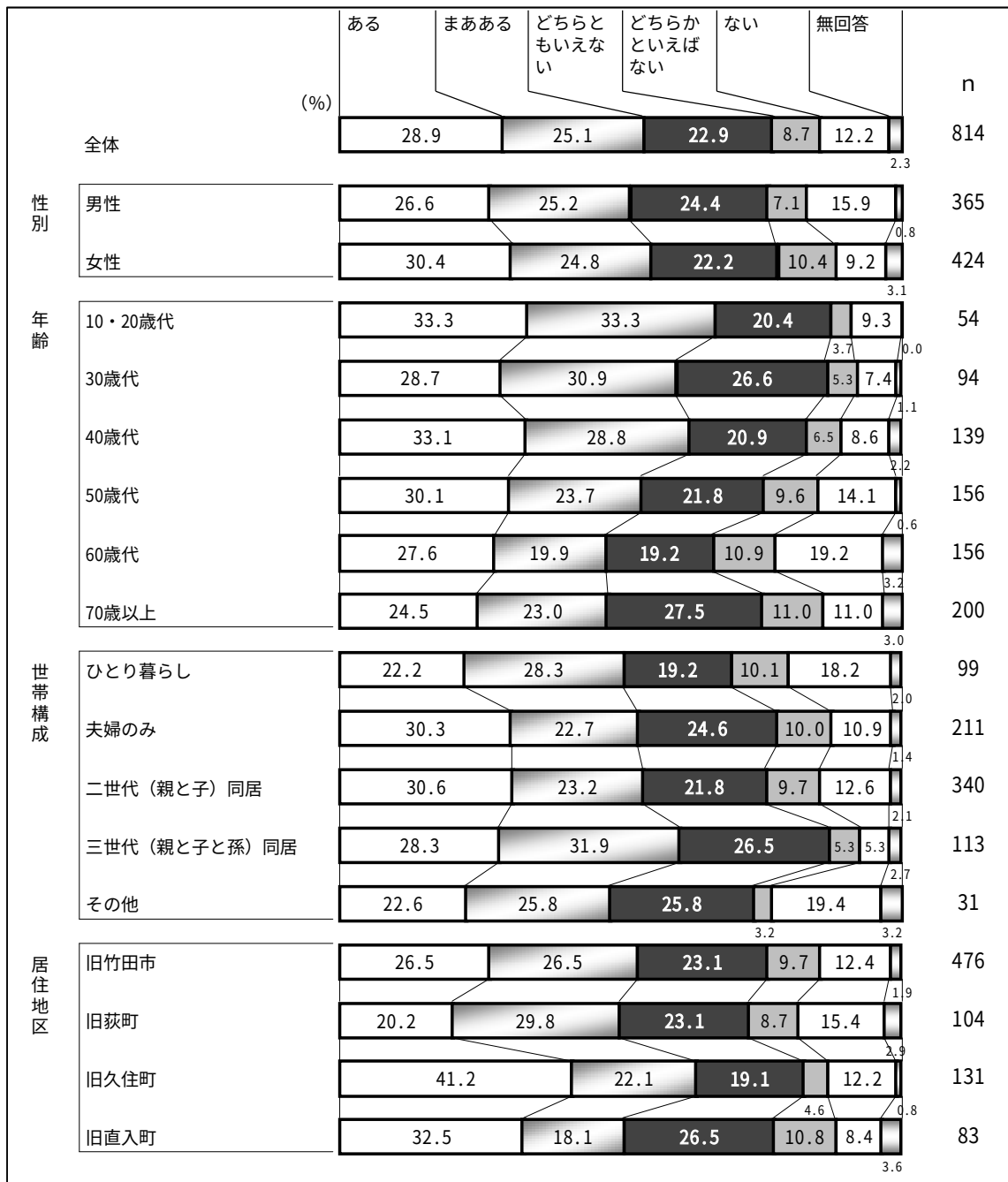


● “ある”が54.0%、“ない”が20.9%。

自慢したい地域の風景や名所の有無については、「ある」と答えた人が28.9%で最も多く、次いで「まあある」と答えた人が25.1%で続き、これらをあわせた“ある”という人が54.0%と5割を超えています。これに対し、“ない”という人（「ない」（12.2%）と「どちらかといえばない」（8.7%）の合計）は20.9%となっています。なお、「どちらともいえない」は22.9%となっています。

[図表 34 参照]

図表 34 自慢したい地域の風景や名所があるか
(全体・性別・年齢・世帯構成・居住地区)



(22) 地元や県内でとれた農畜産物を買っているか

22 地元や県内でとれた農畜産物を買っていますか。

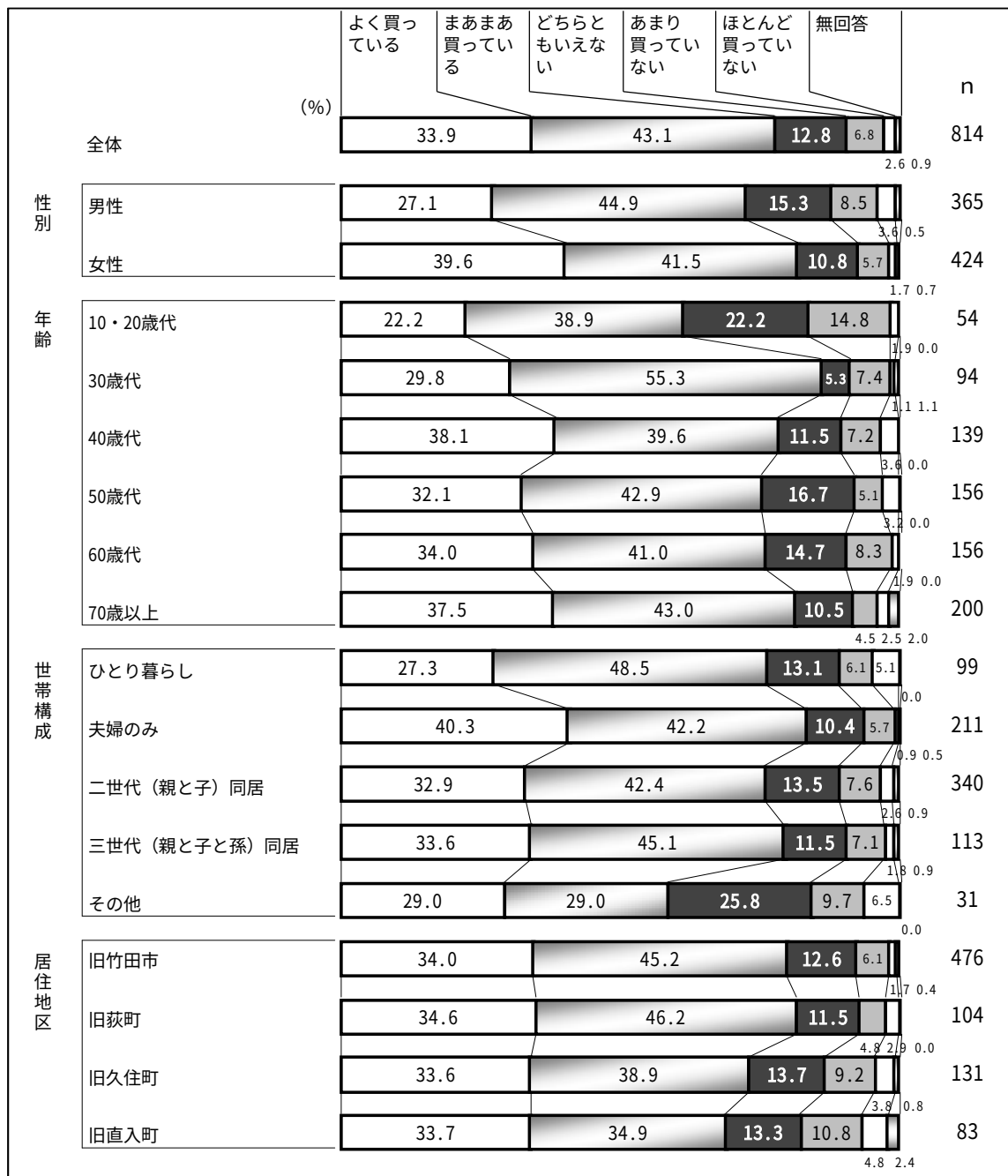


● “買っている”が77.0%、“買っていない”が9.4%。

地元でとれた農畜産物を買っているかどうかについては、「まあまあ買っている」と答えた人が43.1%で最も多く、次いで「よく買っている」と答えた人が33.9%で続き、これらをあわせた“買っている”という人が77.0%となっています。これに対し、“買っていない”という人（「あまり買っていない」(6.8%)と「ほとんど買っていない」(2.6%)の合計）は9.4%となっています。なお、「どちらともいえない」は12.8%となっています。

[図表 35 参照]

図表 35 地元や県内でとれた農畜産物を買っているか
(全体・性別・年齢・世帯構成・居住地区)



(23) 災害に対して地域は安全だと思うか

23 災害に対して住んでいる地域は安全だと思いますか。



- “安全だと思う”が52.4%、“安全とは思わない”が21.6%。

災害に対して地域は安全かどうかについては、「まあ安全だと思う」と答えた人が38.0%で最も多く、これと「安全だと思う」(14.4%)をあわせた“安全だと思う”という人が52.4%となっています。これに対し、“安全とは思わない”という人(「あまり安全とは思わない」(14.6%)と「安全とは思わない」(7.0%)の合計)は21.6%となっています。なお、「どちらともいえない」は24.9%となっています。

[図表 36 参照]

図表 36 災害に対して地域は安全だと思うか
(全体・性別・年齢・世帯構成・居住地区)

		安全だと思う	まあ安全だと思う	どちらともいえない	あまり安全とは思わない	安全とは思わない	無回答	n
	(%)							
性別	全体	14.4	38.0	24.9	14.6	7.0	1.1	814
	男性	17.0	38.1	23.8	13.7	6.6	0.8	365
	女性	12.7	38.0	25.9	15.6	6.8	0.9	424
年齢	10・20歳代	11.1	27.8	25.9	24.1	11.1	0.0	54
	30歳代	5.3	40.4	27.7	16.0	9.6	1.1	94
	40歳代	12.9	36.0	32.4	12.2	6.5	0.0	139
	50歳代	10.9	34.6	28.8	17.3	7.7	0.6	156
	60歳代	16.7	42.9	20.5	12.2	7.7	0.0	156
	70歳以上	22.0	40.5	18.0	13.0		0.0	200
世帯構成	ひとり暮らし	9.1	44.4	25.3	16.2	5.1	4.0 2.5	99
	夫婦のみ	19.4	43.6	16.6	13.7	6.2	0.0	211
	二世帯（親と子）同居	14.4	33.2	28.2	14.4	8.2	0.5	340
	三世帯（親と子と孫）同居	9.7	41.6	25.7	15.9	6.2	1.5	113
	その他	9.7	29.0	35.5	16.1	9.7	0.9	31
居住地区	旧竹田市	13.9	35.7	24.6	16.8	8.6	0.0	476
	旧荻町	19.2	51.0	19.2	6.7		0.4	104
	旧久住町	16.8	38.2	30.5	10.7		3.8 0.0	131
	旧直入町	9.6	37.3	24.1	18.1	7.2	2.3 1.5	83

(24) 女性の活躍を多面的に支援する地域か

24 女性の活躍を多面的に支援する地域だと思いますか。

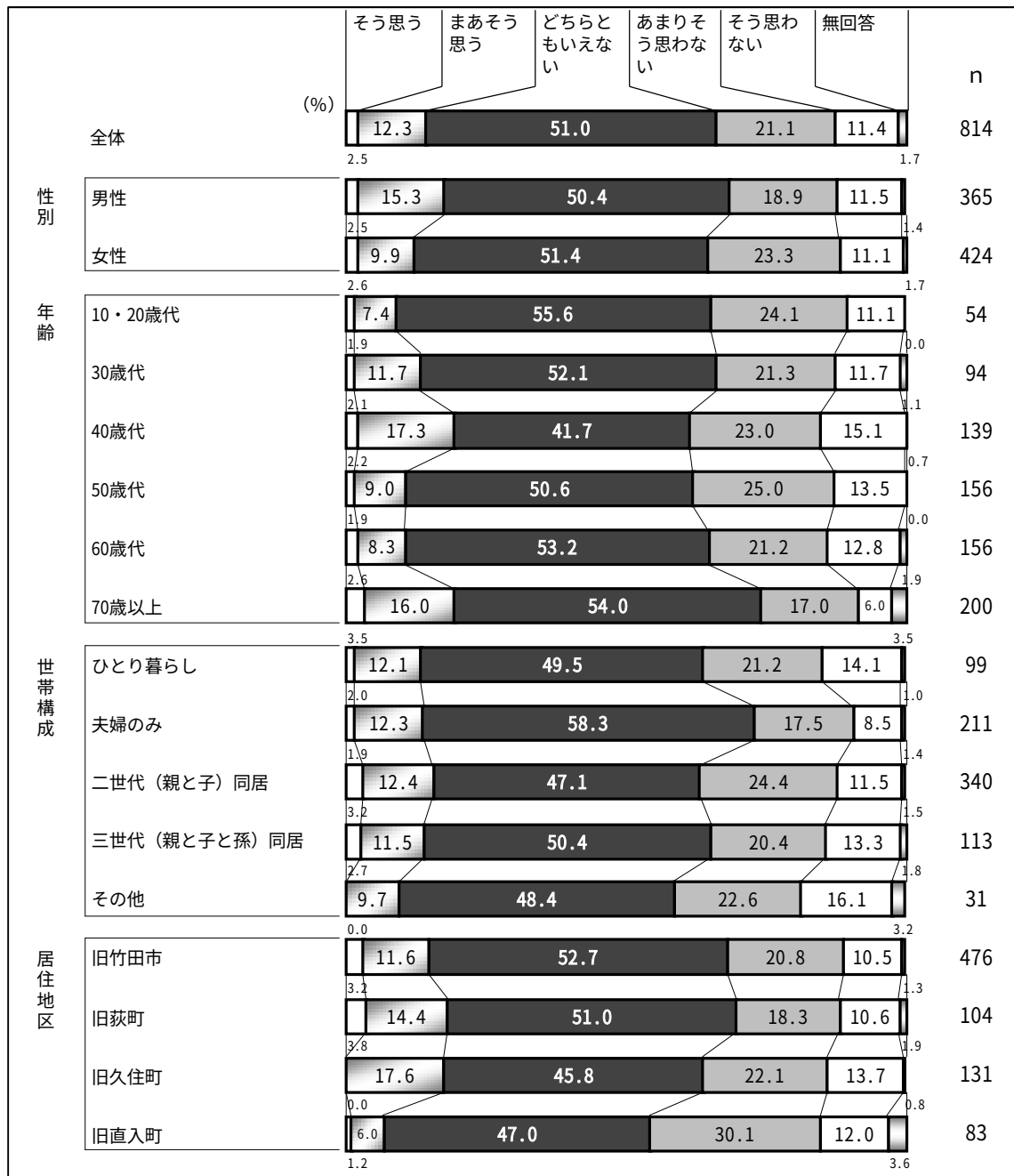


- “ そう思わない ” が 32.5%、 “ そう思う ” が 14.8%。

女性の活躍を支援する地域だと思うかどうかについては、「どちらともいえない」と答えた人が 51.0%で最も多いですが、次いで「あまりそう思わない」と答えた人が 21.1%で続き、これと「そう思わない」（11.4%）をあわせた“ そう思わない ”という人が 32.5%となっています。これに対し、“ そう思う ”という人（「まあそう思う」（12.3%）と「そう思う」（2.5%）の合計）は 14.8%となっています。

[図表 37 参照]

図表 37 女性の活躍を多面的に支援する地域か
(全体・性別・年齢・世帯構成・居住地区)



(25) 若者が希望を持てる地域だと思うか

25 若者が希望を持てる地域だと思いますか。

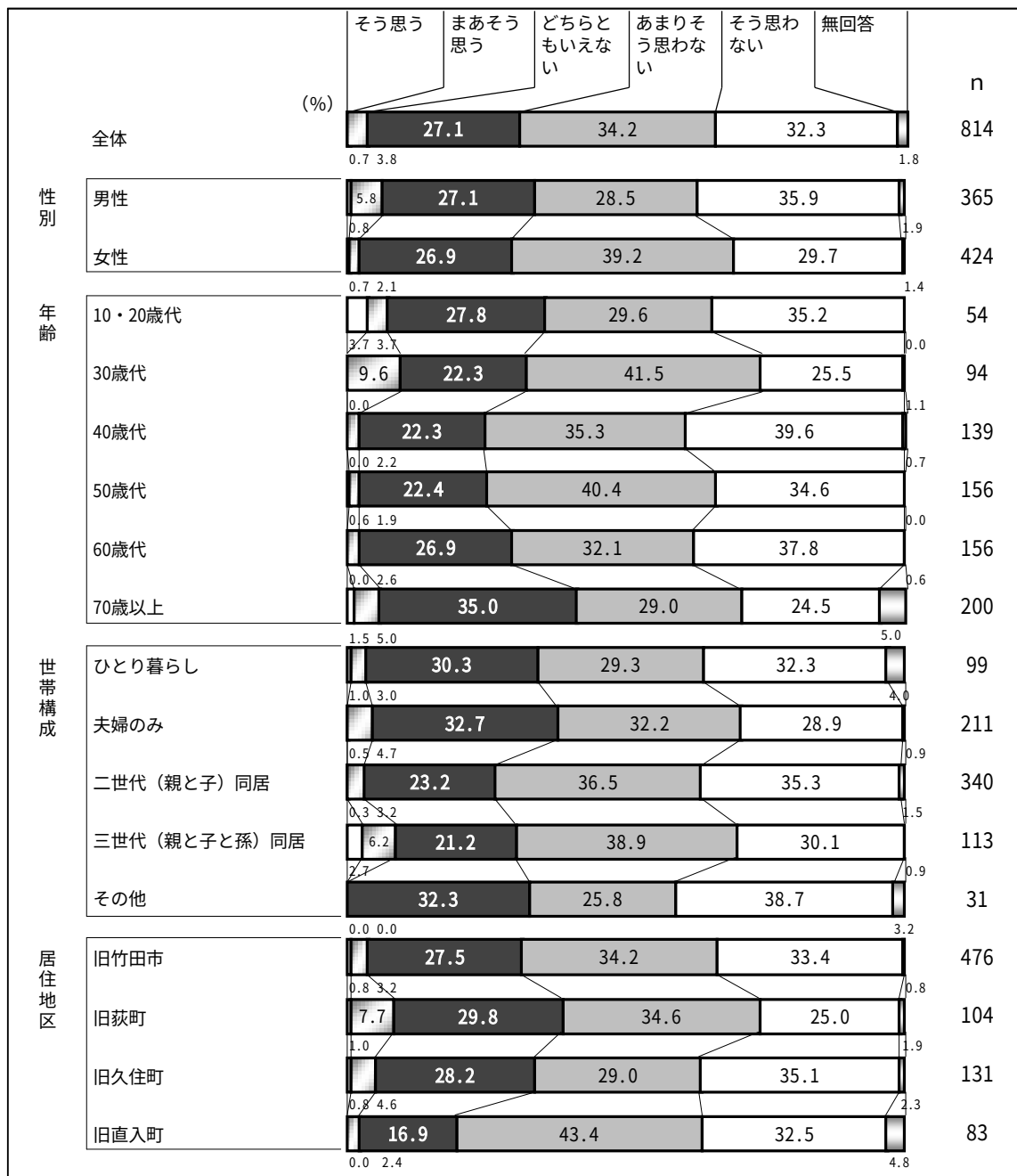


● “ そう思わない ” が 66.5%、 “ そう思う ” が 4.5%。

若者が希望を持てる地域だと思うかどうかについては、「あまりそう思わない」と答えた人が 34.2%で最も多く、次いで「そう思わない」が 32.3%で続き、これらをあわせた “ そう思わない ” という人が 66.5%となっています。これに対し、“ そう思う ” という人（「まあそう思う」（3.8%）と「そう思う」（0.7%）の合計）は 4.5%となっています。なお、「どちらともいえない」は 27.1%となっています。

[図表 38 参照]

図表 38 若者が希望を持てる地域だと思うか
(全体・性別・年齢・世帯構成・居住地区)



5 今後のまちづくりについて

(1) 市民と行政のあるべき関係

問6 あなたは、今後のまちづくりを進めていくときに、市民と行政の関係はどうあるべきだと思いますか。

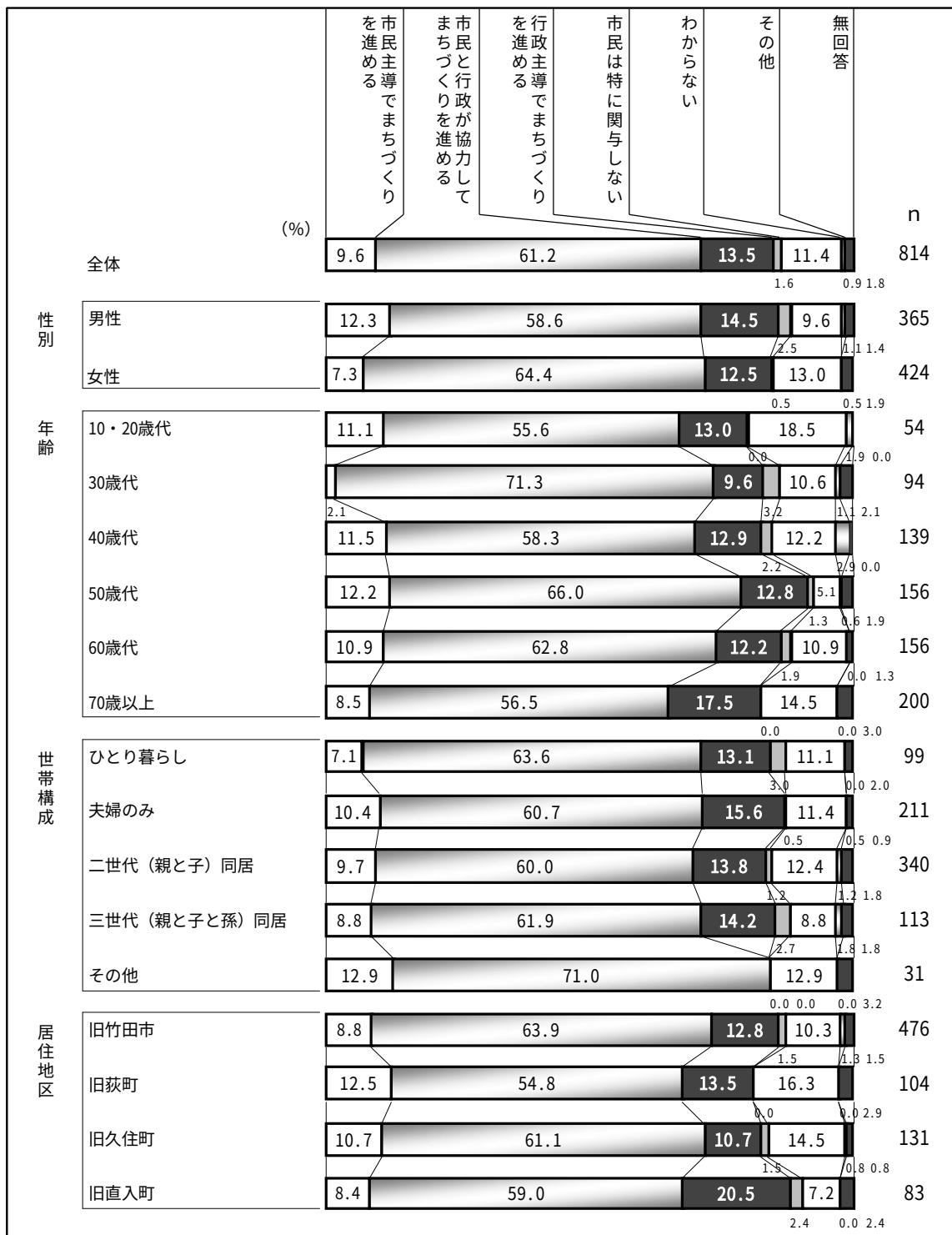


- 「市民と行政が協力してまちづくりを進める」が第1位。

市民と行政のあるべき関係については、「市民と行政が協力してまちづくりを進める」(61.2%)が他を大きく引き離して第1位となっています。それ以外では、「行政主導でまちづくりを進める」(13.5%)、「市民主導でまちづくりを進める」(9.6%)、「市民は特に関与しない」(1.6%)となっています。なお、「わからない」は11.4%となっています。

[図表 39 参照]

図表 39 市民と行政のあるべき関係（全体・性別・年齢・世帯構成・居住地区）



(2) 特に重点を置くべき取り組み

問7 これからの竹田市全体の施策の中で、特に重点を置くべきだと思う取り組みは何ですか。

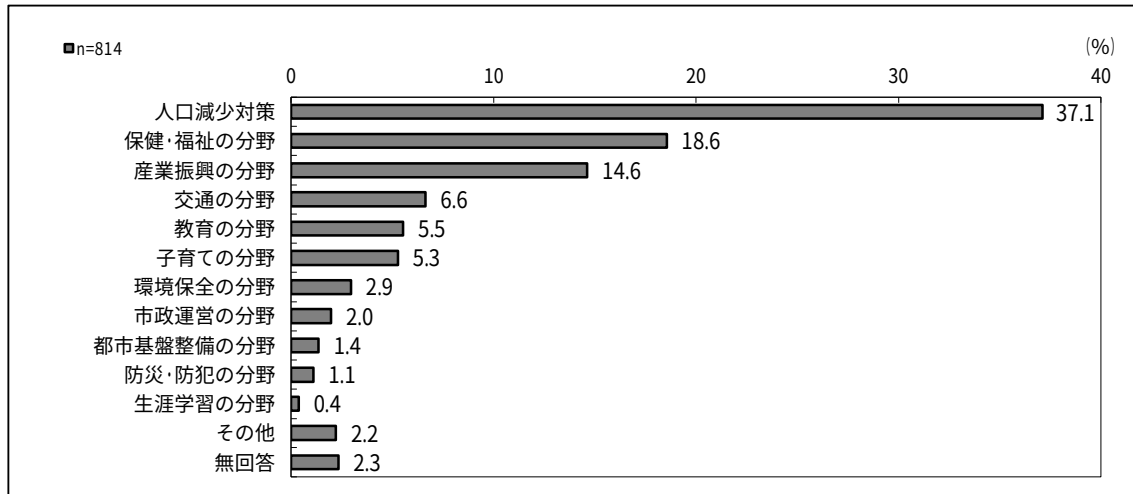


- 「人口減少対策」が他を引き離して第1位。

これからの竹田市全体の施策の中で、特に重点を置くべき取り組みについては、「人口減少対策」(37.1%)が他を引き離して第1位となっています。次いで、「保健・福祉の分野」(18.6%)が第2位、「産業振興の分野」(14.6%)が第3位で続き、これ以外では、「交通の分野」(6.6%)、「教育の分野」(5.5%)、子育ての分野」(5.3%)、「環境保全の分野」(2.9%)、「市政運営の分野」(2.0%)などの順となっています。

属性別でみると、すべての属性で全体と同様に「美しい自然環境や景観が誇れる村」が第1位、ほとんどの属性で「保健・医療・福祉の充実した村」と「安全・安心な住環境の整備を優先する村」が第2位あるいは第3位にあげられ、大きな違いはみられませんでした。[図表40・41参照]

図表40 特に重点を置くべき取り組み（全体）



図表 41 特に重点を置くべき取り組み
(全体・性別・年齢・世帯構成・居住地区－上位3位)

(単位：％)

		第1位	第2位	第3位
全体		人口減少対策 37.1	保健・福祉の分野 18.6	産業振興の分野 14.6
性別	男性	人口減少対策 41.1	保健・福祉の分野 16.2	産業振興の分野 15.3
	女性	人口減少対策 34.7	保健・福祉の分野 21.2	産業振興の分野 14.2
年齢	10・20歳代	人口減少対策 31.5	交通の分野 14.8	保健・福祉の分野／子育ての分野 11.1
	30歳代	人口減少対策 31.9	教育の分野 17.0	産業振興の分野 13.8
	40歳代	人口減少対策 30.2	保健・福祉の分野 23.7	産業振興の分野 15.8
	50歳代	人口減少対策 31.4	保健・福祉の分野／産業振興の分野 18.6	
	60歳代	人口減少対策 42.9	保健・福祉の分野 19.9	産業振興の分野 17.3
	70歳以上	人口減少対策 47.0	保健・福祉の分野 21.0	産業振興の分野 10.0
世帯構成	ひとり暮らし	人口減少対策 32.3	保健・福祉の分野 29.3	産業振興の分野 13.1
	夫婦のみ	人口減少対策 45.0	保健・福祉の分野 18.0	産業振興の分野 13.3
	二世帯（親と子）同居	人口減少対策 34.7	保健・福祉の分野 17.6	産業振興の分野 15.3
	三世帯（親と子と孫）同居	人口減少対策 33.6	産業振興の分野 17.7	保健・福祉の分野 14.2
	その他	人口減少対策 35.5	保健・福祉の分野 19.4	産業振興の分野 9.7
居住地区	旧竹田市	人口減少対策 38.9	保健・福祉の分野 18.1	産業振興の分野 15.5
	旧荻町	人口減少対策 34.6	保健・福祉の分野 21.2	産業振興の分野 12.5
	旧久住町	人口減少対策 35.9	保健・福祉の分野 16.8	産業振興の分野 13.7
	旧直入町	人口減少対策 34.9	保健・福祉の分野 22.9	産業振興の分野 13.3

(3) 子育てしやすいまちになるため力を入れるべきこと

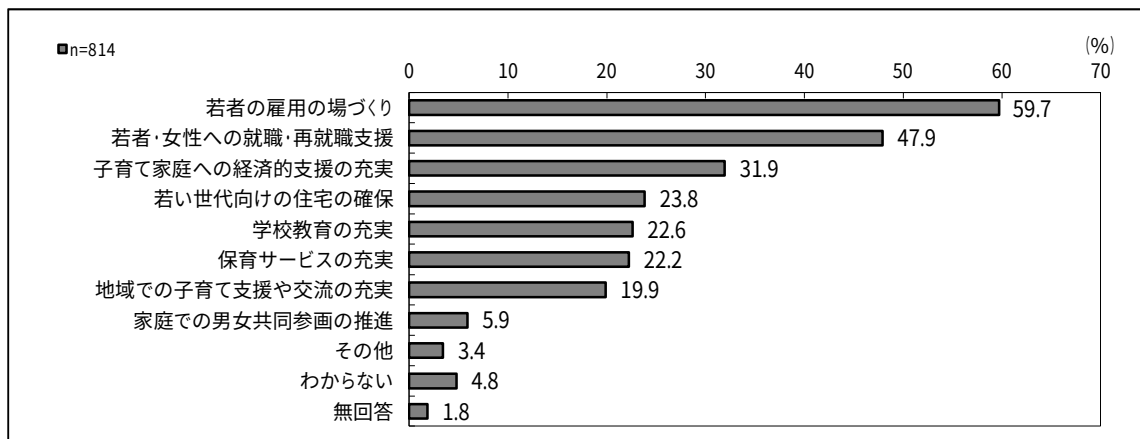
問8 これからの竹田市全体の施策の中で、特に重点を置くべきだと思う取り組みは何ですか。【複数回答】

- 「若者の雇用の場づくり」が第1位。次いで「若者・女性への就職・再就職支援」、「子育て家庭への経済的支援の充実」の順。

子育てしやすい村になるために力を入れるべきことについてたずねたところ、「若者の雇用の場づくり」(59.7%)が第1位、「若者・女性への就職・再就職支援」(47.9%)が第2位、「子育て家庭への経済的支援の充実」(31.9%)が第3位、これ以外では、「若い世代向けの住宅の確保」(23.8%)、「学校教育の充実」(22.6%)、「保育サービスの充実」(22.2%)、「地域での子育て支援や交流の充実」(19.9%)、「家庭での男女共同参画の推進」(5.9%)などの順となっています。

属性別でみると、ほとんどの属性で全体と同様に「若者の雇用の場づくり」が第1位、「若者・女性への就職・再就職支援」と「子育て家庭への経済的支援の充実」が第2位あるいは第3位にあげられています。年齢別の30歳代では「子育て家庭への経済的支援の充実」が第1位、世帯構成別の三世帯同居では「若者・女性への就職・再就職支援」が第1位にあげられています。[図表42・43参照]

図表42 子育てしやすいまちになるため力を入れるべきこと（全体／複数回答）



図表 43 子育てしやすいまちになるため力を入れるべきこと
(全体・性別・年齢・世帯構成・居住地区－上位3位／複数回答)

(単位：％)

		第1位	第2位	第3位
全体		若者の雇用の場づくり 59.7	若者・女性への就職・再就職支援 47.9	子育て家庭への経済的支援の充実 31.9
性別	男性	若者の雇用の場づくり 64.1	若者・女性への就職・再就職支援 52.1	子育て家庭への経済的支援の充実 32.1
	女性	若者の雇用の場づくり 56.6	若者・女性への就職・再就職支援 45.5	子育て家庭への経済的支援の充実 32.3
年齢	10・20歳代	若者の雇用の場づくり 50.0	子育て家庭への経済的支援の充実 48.1	若者・女性への就職・再就職支援 44.4
	30歳代	若者・女性への就職・再就職支援 54.3	子育て家庭への経済的支援の充実 51.1	若者の雇用の場づくり 47.9
	40歳代	若者の雇用の場づくり 56.8	若者・女性への就職・再就職支援 42.4	子育て家庭への経済的支援の充実／若い世代向けの住宅の確保 31.7
	50歳代	若者の雇用の場づくり 62.2	若者・女性への就職・再就職支援 48.1	子育て家庭への経済的支援の充実 29.5
	60歳代	若者の雇用の場づくり 67.9	若者・女性への就職・再就職支援 48.1	子育て家庭への経済的支援の充実 27.6
	70歳以上	若者の雇用の場づくり 62.0	若者・女性への就職・再就職支援 50.0	地域での子育て支援や交流の充実 25.0
世帯構成	ひとり暮らし	若者の雇用の場づくり 64.6	若者・女性への就職・再就職支援 47.5	若い世代向けの住宅の確保 28.3
	夫婦のみ	若者の雇用の場づくり 66.4	若者・女性への就職・再就職支援 51.7	子育て家庭への経済的支援の充実 29.4
	二世帯（親と子）同居	若者の雇用の場づくり 57.1	若者・女性への就職・再就職支援 49.7	子育て家庭への経済的支援の充実 35.0
	三世帯（親と子と孫）同居	若者の雇用の場づくり 56.6	若者・女性への就職・再就職支援 38.9	子育て家庭への経済的支援の充実 37.2
	その他	若者の雇用の場づくり 45.2	若者・女性への就職・再就職支援 38.7	学校教育の充実 29.0
居住地区	旧竹田市	若者の雇用の場づくり 60.9	若者・女性への就職・再就職支援 49.6	子育て家庭への経済的支援の充実 33.4
	旧荻町	若者の雇用の場づくり 58.7	若者・女性への就職・再就職支援 47.1	子育て家庭への経済的支援の充実 34.6
	旧久住町	若者の雇用の場づくり 51.9	若者・女性への就職・再就職支援 47.3	子育て家庭への経済的支援の充実 32.1
	旧直入町	若者の雇用の場づくり 67.5	若者・女性への就職・再就職支援 42.2	若い世代向けの住宅の確保 41.0

(4) 今後どのようなまちにしたいか

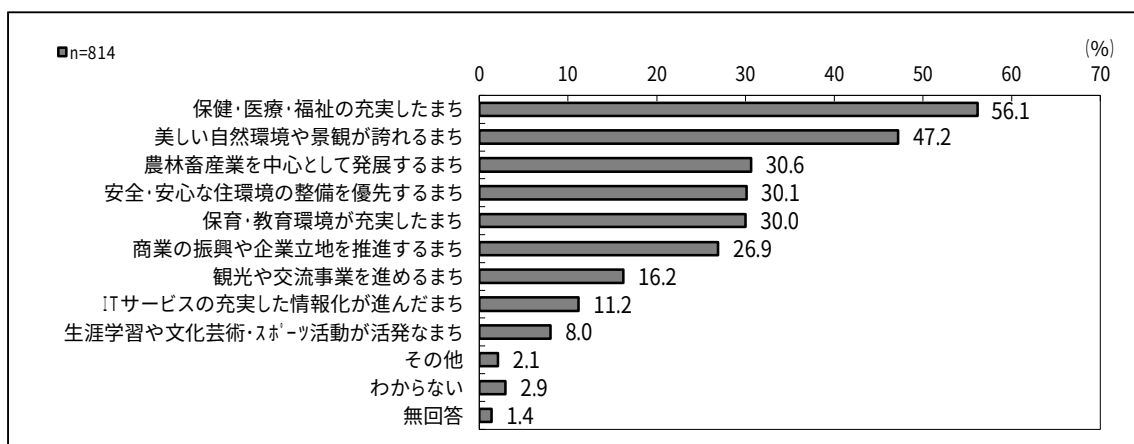
問9 あなたは、今後のまちづくりにおいて、竹田市をどのようなまちにしたいと考えますか。【複数回答】

- 「保健・医療・福祉の充実したまち」、「美しい自然環境や景観が誇れるまち」、「農林畜産業を中心として発展するまち」の順。

今後どのようなまちにしたいかたずねたところ、「保健・医療・福祉の充実したまち」(56.1%) が第1位、「美しい自然環境や景観が誇れるまち」(47.2%) が第2位、「農林畜産業を中心として発展するまち」(30.6%) が第3位となっています。これ以外では、「安全・安心な住環境の整備を優先するまち」(30.1%)、「保育・教育環境が充実したまち」(30.0%)、「商業の振興や企業立地を推進するまち」(26.9%)、「観光や交流事業を進めるまち」(16.2%)、「ITサービスの充実した情報化が進んだまち」(11.2%)、「生涯学習や文化芸術・スポーツ活動が活発なまち」(8.0%)などの順となっています。

属性別でも、ほとんどの層で全体と同様に「村有地の有効活用」、「村の助成金、補助金の見直し」、「公共工事のコスト削減・適正化」のいずれかが1位、2位、3位となっています。[図表44・45 参照]

図表44 今後どのようなまちにしたいか（全体／複数回答）



図表 45 今後どのようなまちにしたいか
(全体・性別・年齢・世帯構成・居住地区－上位3位／複数回答)

(単位：％)

		第1位	第2位	第3位
全体		保健・医療・福祉の充実したまち 56.1	美しい自然環境や景観が誇れるまち 47.2	農林畜産業を中心として発展するまち 30.6
性別	男性	保健・医療・福祉の充実したまち 48.8	美しい自然環境や景観が誇れるまち 45.2	農林畜産業を中心として発展するまち 37.0
	女性	保健・医療・福祉の充実したまち 63.2	美しい自然環境や景観が誇れるまち 48.6	安全・安心な住環境の整備を優先するまち 32.3
年齢	10・20歳代	保健・医療・福祉の充実したまち 53.7	保育・教育環境が充実したまち 48.1	美しい自然環境や景観が誇れるまち 46.3
	30歳代	保健・医療・福祉の充実したまち 54.3	保育・教育環境が充実したまち 53.2	美しい自然環境や景観が誇れるまち 47.9
	40歳代	保健・医療・福祉の充実したまち 52.5	美しい自然環境や景観が誇れるまち 44.6	保育・教育環境が充実したまち 36.0
	50歳代	保健・医療・福祉の充実したまち 61.5	美しい自然環境や景観が誇れるまち 48.1	安全・安心な住環境の整備を優先するまち 33.3
	60歳代	保健・医療・福祉の充実したまち 55.1	美しい自然環境や景観が誇れるまち 49.4	農林畜産業を中心として発展するまち 37.2
	70歳以上	保健・医療・福祉の充実したまち 58.5	美しい自然環境や景観が誇れるまち 46.5	農林畜産業を中心として発展するまち 37.0
世帯構成	ひとり暮らし	保健・医療・福祉の充実したまち 54.5	美しい自然環境や景観が誇れるまち 48.5	農林畜産業を中心として発展するまち 32.3
	夫婦のみ	保健・医療・福祉の充実したまち 55.5	美しい自然環境や景観が誇れるまち 48.3	安全・安心な住環境の整備を優先するまち 34.6
	二世帯（親と子）同居	保健・医療・福祉の充実したまち 57.4	美しい自然環境や景観が誇れるまち 47.1	保育・教育環境が充実したまち 32.6
	三世帯（親と子と孫）同居	保健・医療・福祉の充実したまち 55.8	美しい自然環境や景観が誇れるまち 46.9	農林畜産業を中心として発展するまち 34.5
	その他	保健・医療・福祉の充実したまち 61.3	美しい自然環境や景観が誇れるまち 32.3	保育・教育環境が充実したまち 25.8
居住地区	旧竹田市	保健・医療・福祉の充実したまち 58.6	美しい自然環境や景観が誇れるまち 45.6	安全・安心な住環境の整備を優先するまち 33.4
	旧荻町	農林畜産業を中心として発展するまち 51.9	保健・医療・福祉の充実したまち 49.0	美しい自然環境や景観が誇れるまち 32.7
	旧久住町	美しい自然環境や景観が誇れるまち 64.1	保健・医療・福祉の充実したまち 53.4	農林畜産業を中心として発展するまち 34.4
	旧直入町	保健・医療・福祉の充実したまち 59.0	美しい自然環境や景観が誇れるまち 49.4	農林畜産業を中心として発展するまち 34.9

(5) 市民参画・協働のまちづくりのため必要な取り組み

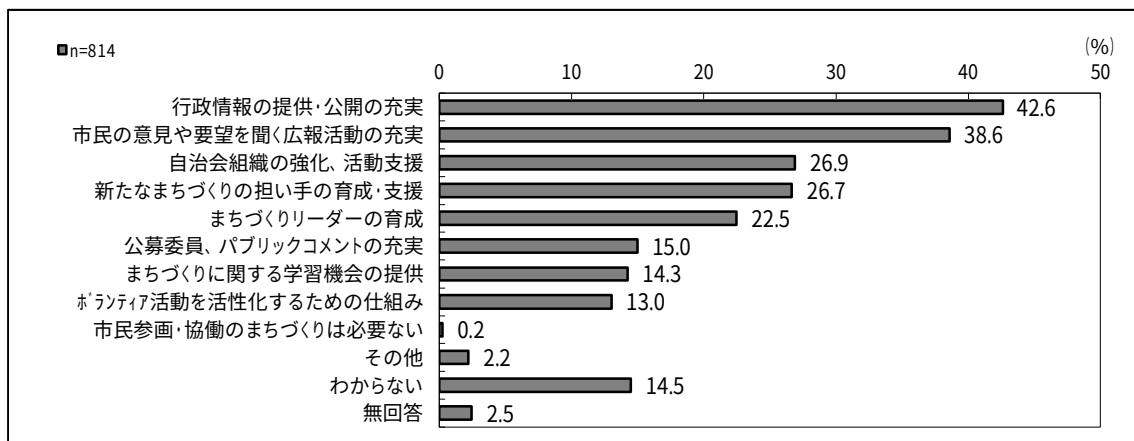
問 10 市民と行政が協力して課題解決や地域づくりを行う「市民参画・協働のまちづくり」を進めるため、今後行政においてどのような取り組みが必要だと思いますか。
【複数回答】

- 「行政情報の提供・公開の充実」、「市民の意見や要望を聞く広聴活動の充実」、「自治会組織の強化、活動支援」の順。

市民参画・協働のまちづくりのため必要な取り組みについては、「行政情報の提供・公開の充実」(42.6%)が第1位、「市民の意見や要望を聞く広聴活動の充実」(38.6%)が第2位、「自治会組織の強化、活動支援」(26.9%)が第3位となっています。これ以外では、「新たなまちづくりの担い手の育成・支援」(26.7%)、「まちづくりリーダーの育成」(22.5%)、「公募委員、パブリックコメントの充実」(15.0%)、「まちづくりに関する学習機会の提供」(14.3%)、「ボランティア活動を活性化するための仕組み」(13.0%)などの順となっています。

属性別でも、ほとんどの層で全体と同様に「村有地の有効活用」、「村の助成金、補助金の見直し」、「公共工事のコスト削減・適正化」のいずれかが1位、2位、3位となっています。[図表 46・47 参照]

図表 46 市民参画・協働のまちづくりのため必要な取り組み（全体／複数回答）



図表 47 市民参画・協働のまちづくりのため必要な取り組み
(全体・性別・年齢・世帯構成・居住地区－上位3位／複数回答)

(単位：％)

		第1位	第2位	第3位
全体		行政情報の提供・公開の充実 42.6	市民の意見や要望を聞く広聴活動の充実 38.6	自治会組織の強化、活動支援 26.9
性別	男性	行政情報の提供・公開の充実 43.6	市民の意見や要望を聞く広聴活動の充実 40.0	自治会組織の強化、活動支援 34.0
	女性	行政情報の提供・公開の充実 42.2	市民の意見や要望を聞く広聴活動の充実 37.7	新たなまちづくりの担い手の育成・支援 25.7
年齢	10・20歳代	市民の意見や要望を聞く広聴活動の充実 38.9	行政情報の提供・公開の充実 33.3	新たなまちづくりの担い手の育成・支援 27.8
	30歳代	行政情報の提供・公開の充実 42.6	市民の意見や要望を聞く広聴活動の充実 41.5	新たなまちづくりの担い手の育成・支援 22.3
	40歳代	市民の意見や要望を聞く広聴活動の充実 43.9	行政情報の提供・公開の充実 40.3	新たなまちづくりの担い手の育成・支援 27.3
	50歳代	行政情報の提供・公開の充実 44.9	市民の意見や要望を聞く広聴活動の充実 40.4	新たなまちづくりの担い手の育成・支援 27.6
	60歳代	行政情報の提供・公開の充実 44.2	市民の意見や要望を聞く広聴活動の充実 36.5	自治会組織の強化、活動支援 30.1
	70歳以上	行政情報の提供・公開の充実 45.0	自治会組織の強化、活動支援 35.5	市民の意見や要望を聞く広聴活動の充実 34.0
世帯構成	ひとり暮らし	市民の意見や要望を聞く広聴活動の充実 40.4	新たなまちづくりの担い手の育成・支援 33.3	行政情報の提供・公開の充実 32.3
	夫婦のみ	行政情報の提供・公開の充実 46.9	市民の意見や要望を聞く広聴活動の充実 34.1	自治会組織の強化、活動支援 29.4
	二世帯（親と子）同居	行政情報の提供・公開の充実 45.0	市民の意見や要望を聞く広聴活動の充実 38.2	自治会組織の強化、活動支援 25.6
	三世帯（親と子と孫）同居	市民の意見や要望を聞く広聴活動の充実 41.6	行政情報の提供・公開の充実 39.8	新たなまちづくりの担い手の育成・支援 30.1
	その他	市民の意見や要望を聞く広聴活動の充実 58.1	行政情報の提供・公開の充実 35.5	新たなまちづくりの担い手の育成・支援 29.0
居住地区	旧竹田市	行政情報の提供・公開の充実 44.1	市民の意見や要望を聞く広聴活動の充実 38.2	新たなまちづくりの担い手の育成・支援 26.7
	旧荻町	市民の意見や要望を聞く広聴活動の充実 47.1	自治会組織の強化、活動支援 38.5	行政情報の提供・公開の充実 35.6
	旧久住町	行政情報の提供・公開の充実 43.5	市民の意見や要望を聞く広聴活動の充実 42.0	新たなまちづくりの担い手の育成・支援 29.0
	旧直入町	行政情報の提供・公開の充実 43.4	新たなまちづくりの担い手の育成・支援 32.5	自治会組織の強化、活動支援 28.9

(6) これからの行政サービスのあり方

問 11 地方自治体を取り巻く財政状況は依然として厳しく、これからのまちづくりは、限られた財源をより効果的に配分・活用していくことが求められています。竹田市においても経費の削減や収入の確保に努めていますが、このような時代を迎え、これからの行政サービスのあり方について、どのようにお考えですか。

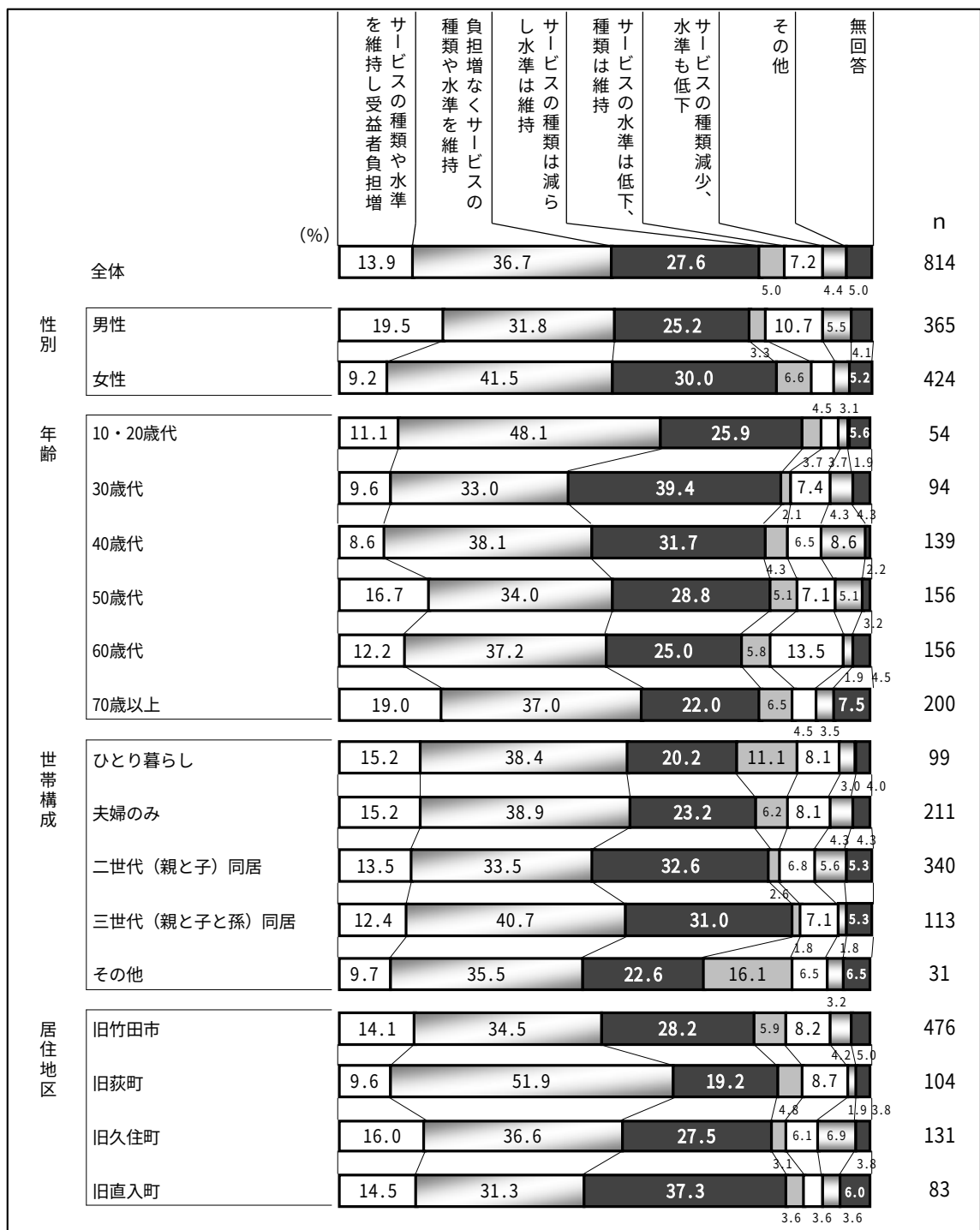


- 「負担増なくサービスの種類や水準を維持」、「サービスの種類は減らし水準は維持」、「サービスの種類や水準を維持し受益者負担増」の順。

これからの行政サービスのあり方については、「負担増なくサービスの種類や水準を維持」(36.7%)が第1位、「サービスの種類は減らし水準は維持」(27.6%)が第2位、「サービスの種類や水準を維持し受益者負担増」(13.9%)が第3位となっています。それ以外では、「サービスの種類減少、水準も低下」(7.2%)、「サービスの水準は低下、種類は維持」(5.0%)となっています。

属性別でも、ほとんどの層で全体と同様に「村有地の有効活用」、「村の助成金、補助金の見直し」、「公共工事のコスト削減・適正化」のいずれかが1位、2位、3位となっています。[図表 48 参照]

図表 48 これからの行政サービスのあり方（全体・性別・年齢・世帯構成・居住地区）



(7) 今後の行財政改革で優先的に行うべき項目

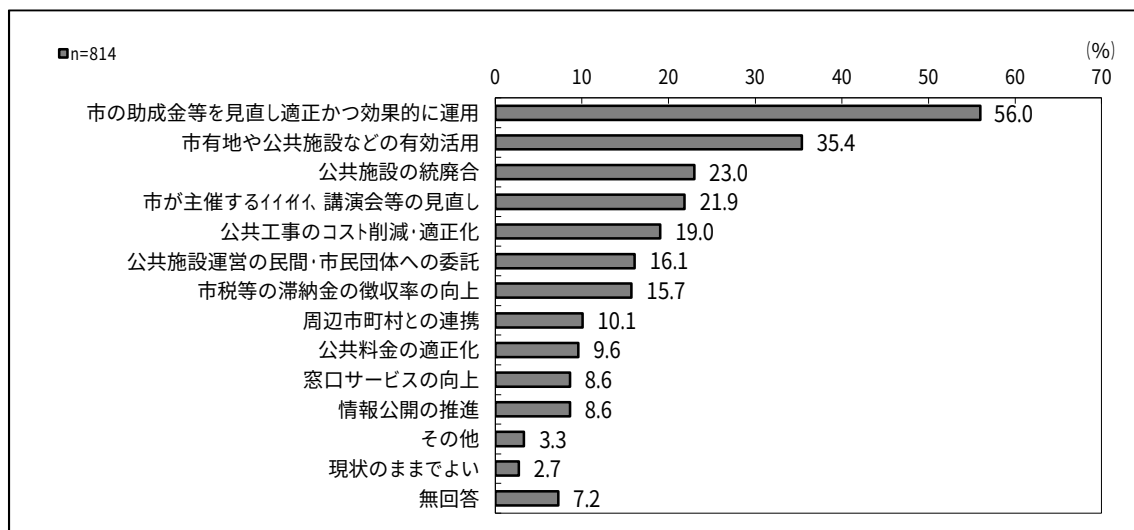
問 12 あなたは、竹田市の今後の行財政改革で優先的に行うべき項目は何だと思いますか。
【複数回答】

- 「市の助成金等を見直し適正かつ効果的に運用」、「市有地や公共施設などの有効活用」、「公共施設の統廃合」の順。

今後の行財政改革で重点をおくべき項目については、「市の助成金等を見直し適正かつ効果的に運用」(56.0%) が他を引き離して第1位、「市有地や公共施設などの有効活用」(35.4%) が第2位、「公共施設の統廃合」(23.0%) が第3位となっています。これ以外では、「市が主催するイベント、講演会等の見直し」(21.9%)、「公共工事のコスト削減・適正化」(19.0%)、「公共施設運営の民間・市民団体への委託」(16.1%)、「市税等の滞納金の徴収率の向上」(15.7%)、「周辺市町村との連携」(10.1%)、「公共料金の適正化」(9.6%)、「窓口サービスの向上」・「情報公開の推進」(同点 8.6%)などの順となっています。

属性別でも、ほとんどの層で全体と同様に「村有地の有効活用」、「村の助成金、補助金の見直し」、「公共工事のコスト削減・適正化」のいずれかが1位、2位、3位となっています。[図表 49・50 参照]

図表 49 今後の行財政改革で優先的に行うべき項目（全体／複数回答）



図表 50 今後の行財政改革で優先的に行うべき項目
(全体・性別・年齢・世帯構成・居住地区－上位3位／複数回答)

(単位：％)

		第1位	第2位	第3位
全体		市の助成金等を見直し適正かつ効果的に運用 56.0	市有地や公共施設などの有効活用 35.4	公共施設の統廃合 23.0
性別	男性	市の助成金等を見直し適正かつ効果的に運用 57.5	市有地や公共施設などの有効活用 34.0	公共施設の統廃合 23.6
	女性	市の助成金等を見直し適正かつ効果的に運用 55.4	市有地や公共施設などの有効活用 36.8	市が主催するイベント、講演会等の見直し 22.6
年齢	10・20歳代	市の助成金等を見直し適正かつ効果的に運用 64.8	市有地や公共施設などの有効活用 35.2	市が主催するイベント、講演会等の見直し 24.1
	30歳代	市の助成金等を見直し適正かつ効果的に運用 62.8	市有地や公共施設などの有効活用 42.6	公共工事のコスト削減・適正化 26.6
	40歳代	市の助成金等を見直し適正かつ効果的に運用 51.1	市有地や公共施設などの有効活用 36.7	公共施設の統廃合 28.1
	50歳代	市の助成金等を見直し適正かつ効果的に運用 50.0	市有地や公共施設などの有効活用 42.3	公共施設の統廃合 27.6
	60歳代	市の助成金等を見直し適正かつ効果的に運用 59.0	市有地や公共施設などの有効活用 32.7	市が主催するイベント、講演会等の見直し 26.9
	70歳以上	市の助成金等を見直し適正かつ効果的に運用 57.5	市有地や公共施設などの有効活用 29.5	公共施設の統廃合 21.0
世帯構成	ひとり暮らし	市の助成金等を見直し適正かつ効果的に運用 57.6	市有地や公共施設などの有効活用 34.3	公共施設の統廃合 27.3
	夫婦のみ	市の助成金等を見直し適正かつ効果的に運用 53.1	市有地や公共施設などの有効活用 34.1	市が主催するイベント、講演会等の見直し 23.2
	二世帯（親と子）同居	市の助成金等を見直し適正かつ効果的に運用 55.6	市有地や公共施設などの有効活用 33.8	公共施設の統廃合 25.9
	三世帯（親と子と孫）同居	市の助成金等を見直し適正かつ効果的に運用 64.6	市有地や公共施設などの有効活用 42.5	市が主催するイベント、講演会等の見直し 17.7
	その他	市の助成金等を見直し適正かつ効果的に運用 45.2	市有地や公共施設などの有効活用 41.9	市が主催するイベント、講演会等の見直し 29.0
居住地区	旧竹田市	市の助成金等を見直し適正かつ効果的に運用 55.5	市有地や公共施設などの有効活用 35.3	公共施設の統廃合 26.3
	旧荻町	市の助成金等を見直し適正かつ効果的に運用 51.9	市有地や公共施設などの有効活用 37.5	市税等の滞納金の徴収率の向上 20.2
	旧久住町	市の助成金等を見直し適正かつ効果的に運用 65.6	市有地や公共施設などの有効活用 32.1	市が主催するイベント、講演会等の見直し 26.0
	旧直入町	市の助成金等を見直し適正かつ効果的に運用 53.0	市有地や公共施設などの有効活用 39.8	市が主催するイベント、講演会等の見直し 27.7

6 インターネットや情報入手方法について

(1) 所有している携帯電話の端末の種類

問 13 あなたが所有している携帯電話の端末はどの種類ですか。



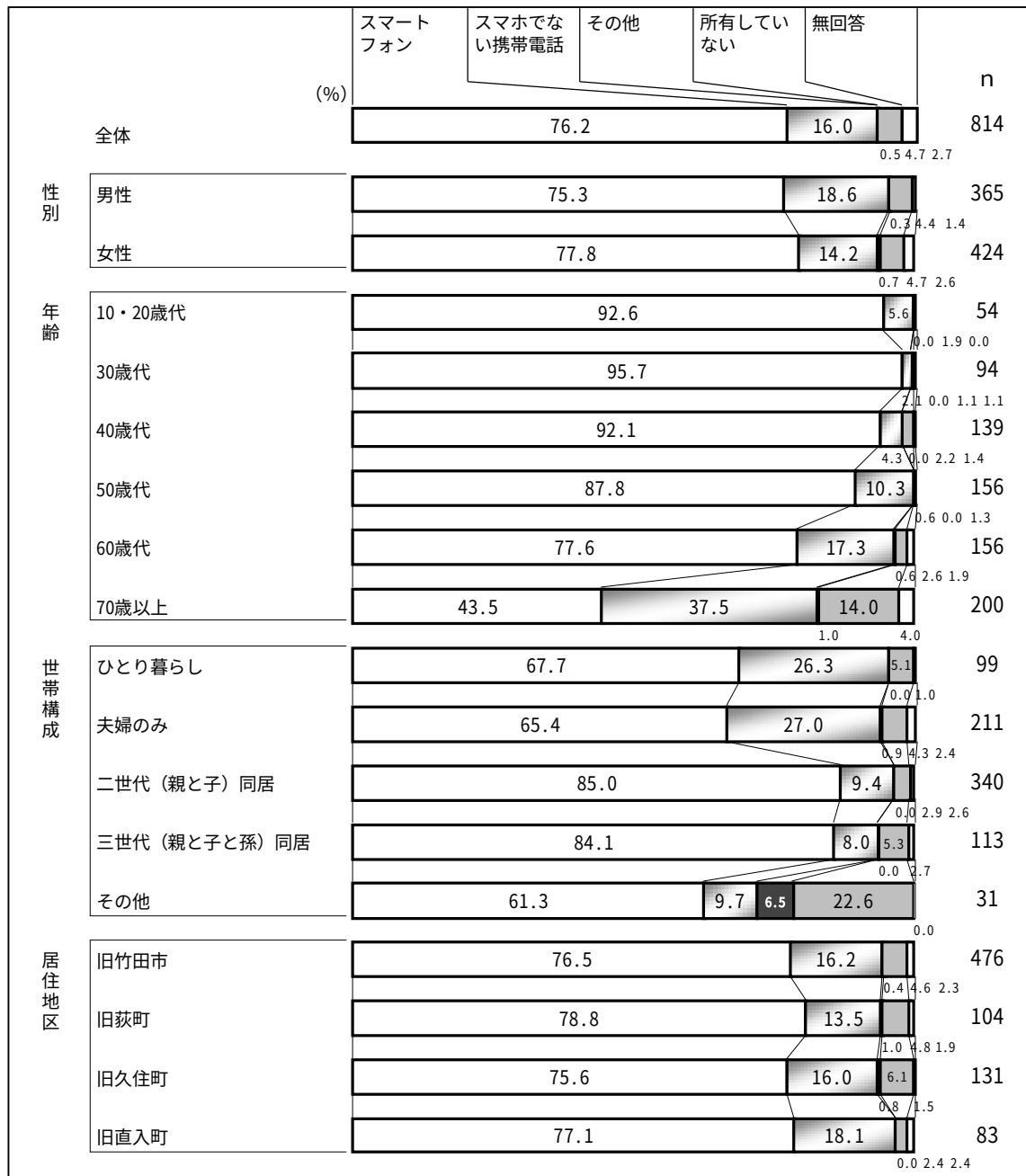
- 「スマートフォン」が圧倒的多数を占める。

所有している携帯電話の端末の種類は、「スマートフォン」(76.2%)、「スマホでない携帯電話」(16.0%)となっています。なお、「所有していない」は 4.7%となっています。

属性別でも、全ての層で「スマートフォン」が第1位となっています。

[図表 51 参照]

図表 51 所有している携帯電話の端末の種類
(全体・性別・年齢・世帯構成・居住地区)



(2) インターネットを利用する場合の端末

問 14 あなたはインターネットを利用する場合は、どの端末を利用していますか。
【複数回答】



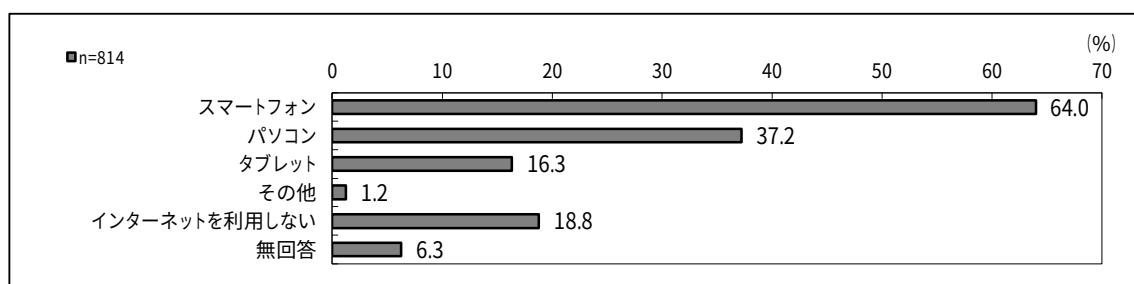
- 「スマホ」、「パソコン」、「タブレット」の順。

インターネットを利用する場合の端末については、「スマートフォン」(64.0%)、「パソコン」(37.2%)、「タブレット」(16.3%)の順となっています。なお、「インターネットを利用しない」は18.8%となっています。

属性別でも、すべての層で全体と同様の結果となっています。

[図表 52・53 参照]

図表 52 インターネットを利用する場合の端末（全体／複数回答）



図表 53 インターネットを利用する場合の端末
(全体・性別・年齢・世帯構成・居住地区－上位3位／複数回答)

(単位：％)

		第1位	第2位	第3位
全体		スマートフォン 64.0	パソコン 37.2	タブレット 16.3
性別	男性	スマートフォン 62.7	パソコン 41.6	タブレット 17.8
	女性	スマートフォン 65.3	パソコン 33.5	タブレット 15.1
年齢	10・20歳代	スマートフォン 94.4	パソコン 40.7	タブレット 24.1
	30歳代	スマートフォン 93.6	パソコン 35.1	タブレット 20.2
	40歳代	スマートフォン 84.9	パソコン 43.2	タブレット 25.2
	50歳代	スマートフォン 76.3	パソコン 57.1	タブレット 21.8
	60歳代	スマートフォン 56.4	パソコン 35.3	タブレット 15.4
	70歳以上	スマートフォン 25.5	パソコン 20.0	タブレット 3.5
世帯構成	ひとり暮らし	スマートフォン 45.5	パソコン 25.3	タブレット 11.1
	夫婦のみ	スマートフォン 50.2	パソコン 40.3	タブレット 18.0
	二世帯（親と子）同居	スマートフォン 74.7	パソコン 40.3	タブレット 16.2
	三世帯（親と子と孫）同居	スマートフォン 80.5	パソコン 39.8	タブレット 23.0
	その他	スマートフォン 48.4	パソコン 19.4	タブレット 3.2
居住地区	旧竹田市	スマートフォン 65.1	パソコン 37.6	タブレット 17.0
	旧荻町	スマートフォン 68.3	パソコン 34.6	タブレット 19.2
	旧久住町	スマートフォン 57.3	パソコン 38.2	タブレット 12.2
	旧直入町	スマートフォン 66.3	パソコン 34.9	タブレット 15.7

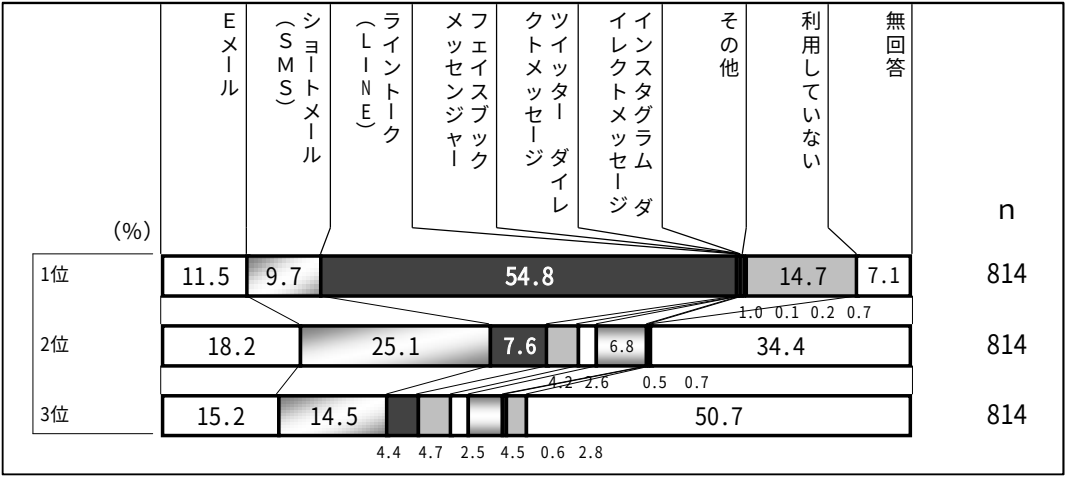
(3) 利用頻度の高い連絡手段

問 15 あなたが、プライベートにおいて利用している、音声通話を除く連絡手段のうち、利用頻度の高い上位3つを以下より選んでください。



プライベートにおいて利用している、音声通話を除く連絡手段のうち、利用頻度の高い上位3つをみると、下記のとおりとなっています。[図表 54 参照]

図表 54 利用頻度の高い連絡手段（全体）

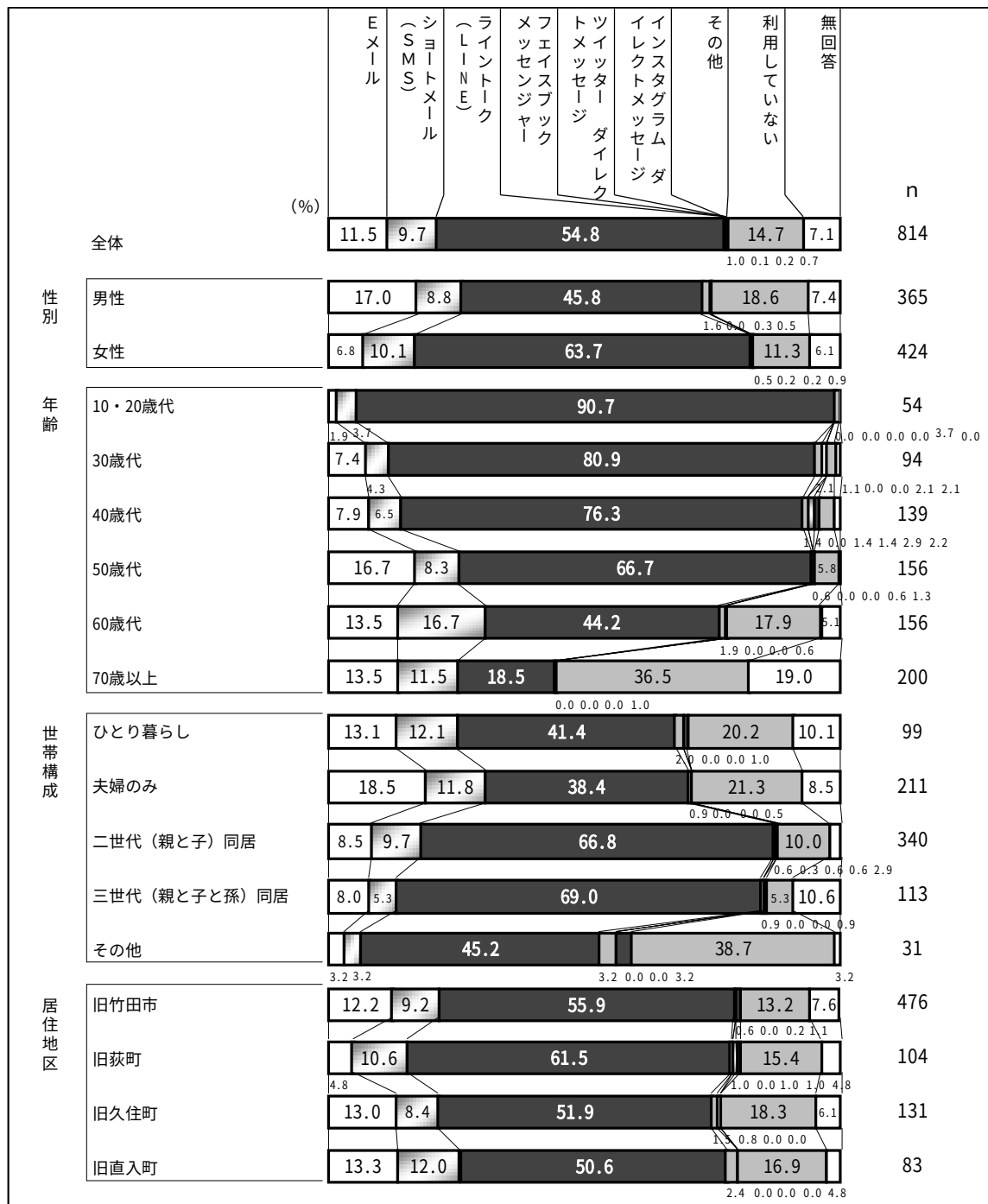


① 1位

利用頻度の高い連絡手段1位は、「ライントーク（LINE）」（54.8%）、「Eメール」（11.5%）、「ショートメール（SMS）」（9.7%）の順となっています。

[図表 55 参照]

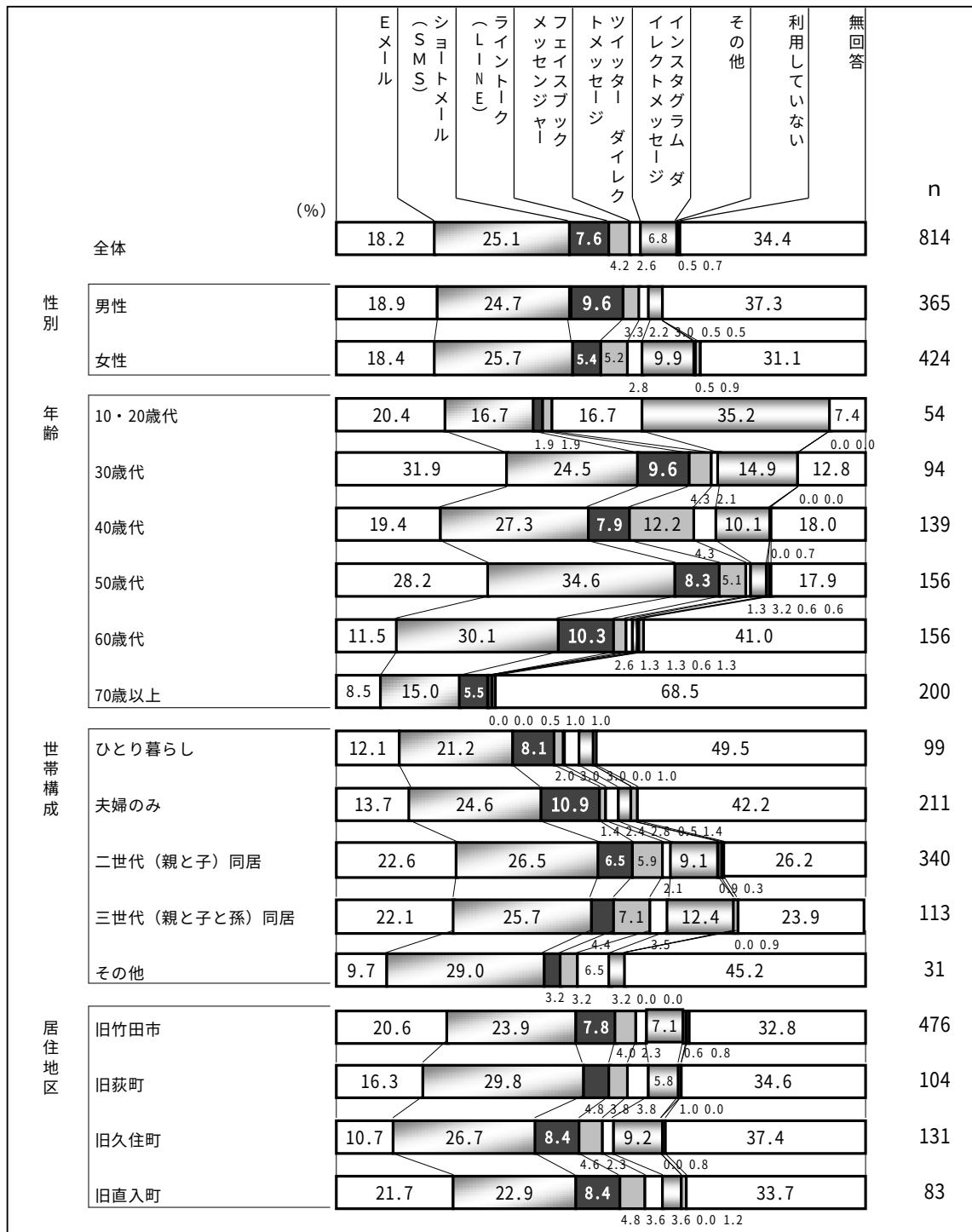
図表 55 利用頻度の高い連絡手段1位（全体・性別・年齢・世帯構成・居住地区）



② 2位

利用頻度の高い連絡手段2位は、「ショートメール(SMS)」(25.1%)、「Eメール」(18.2%)、「ライントーク(LINE)」(7.6%)の順となっています。[図表56参照]

図表56 利用頻度の高い連絡手段2位(全体・性別・年齢・世帯構成・居住地区)

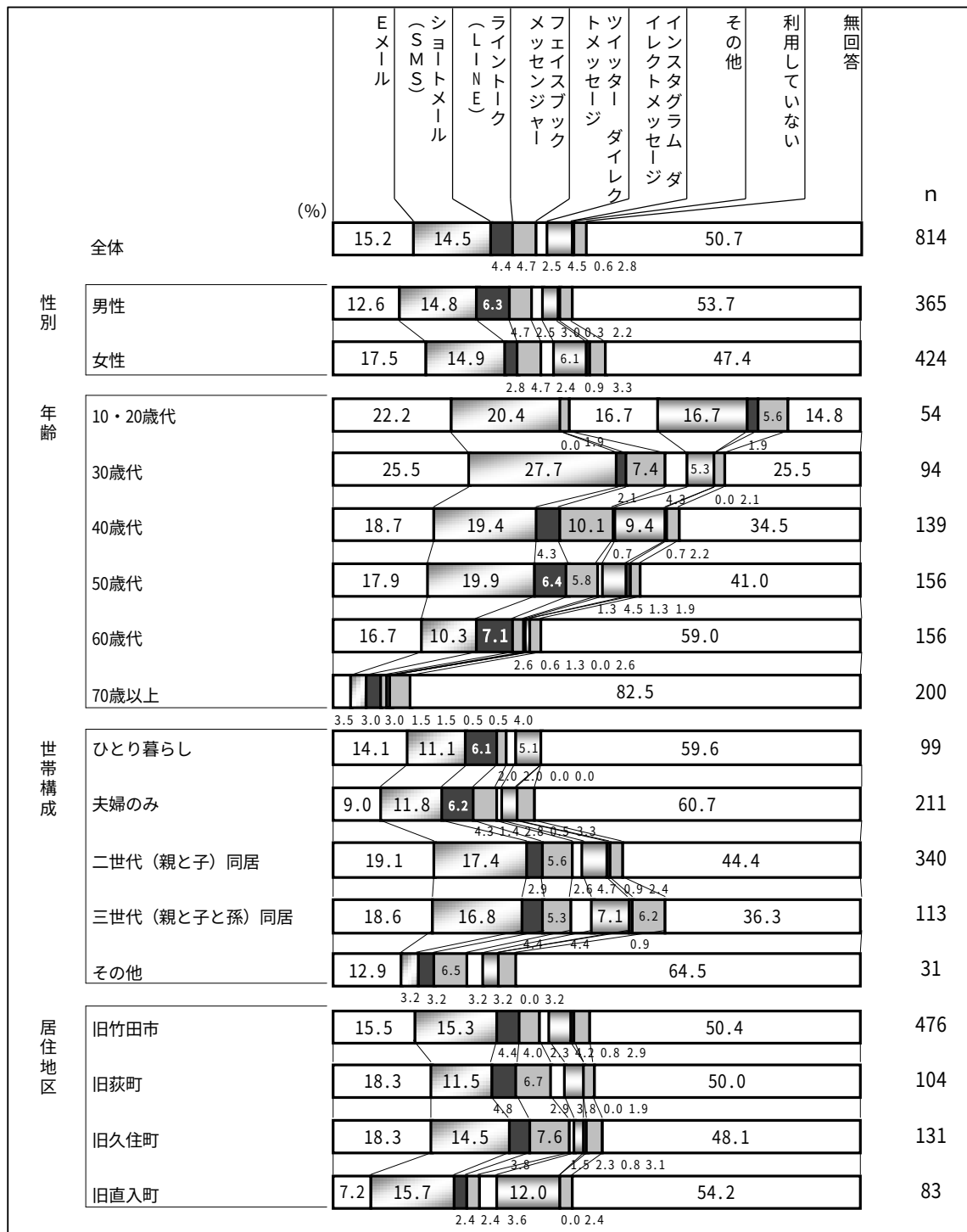


③ 3位

利用頻度の高い連絡手段3位は、「Eメール」(15.2%)、「ショートメール(SMS)」(14.5%)、「フェイスブック メッセンジャー」(4.7%)の順となっています。

[図表 57 参照]

図表 57 利用頻度の高い連絡手段3位 (全体・性別・年齢・世帯構成・居住地区)



(4) 行政情報を入手している広報媒体

問 16 あなたは行政からのお知らせなどの情報を、どの広報媒体から入手していますか。
【複数回答】



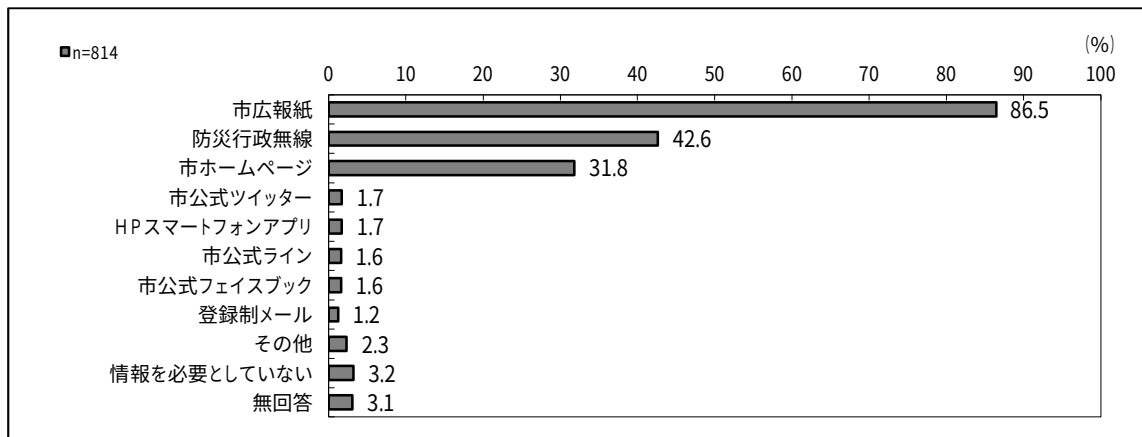
- 「市広報紙」が他を引き離して第1位。

行政のお知らせなどの入手方法については、「市広報紙」(86.5%)が他を引き離して第1位となっており、次いで、「防災行政無線」(42.6%)が第2位、「市ホームページ」(31.8%)が第3位となっています。

属性別でも、すべての層で全体と同様に「市広報紙」が第1位となっています。

[図表 58・59 参照]

図表 58 行政情報を入手している広報媒体（全体／複数回答）



図表 59 行政情報を入手している広報媒体
(全体・性別・年齢・世帯構成・居住地区－上位3位／複数回答)

(単位：％)

		第1位	第2位	第3位
全体		市広報紙 86.5	防災行政無線 42.6	市ホームページ 31.8
性別	男性	市広報紙 83.6	防災行政無線 40.5	市ホームページ 31.5
	女性	市広報紙 90.3	防災行政無線 45.3	市ホームページ 32.8
年齢	10・20歳代	市広報紙 64.8	市ホームページ 38.9	防災行政無線 22.2
	30歳代	市広報紙 83.0	市ホームページ 43.6	防災行政無線 24.5
	40歳代	市広報紙 86.3	市ホームページ 42.4	防災行政無線 30.9
	50歳代	市広報紙 91.0	防災行政無線 41.0	市ホームページ 40.4
	60歳代	市広報紙 89.7	防災行政無線 53.8	市ホームページ 25.6
	70歳以上	市広報紙 90.5	防災行政無線 58.5	市ホームページ 16.0
世帯構成	ひとり暮らし	市広報紙 79.8	防災行政無線 48.5	市ホームページ 19.2
	夫婦のみ	市広報紙 94.8	防災行政無線 55.0	市ホームページ 32.7
	二世帯（親と子）同居	市広報紙 85.9	防災行政無線 37.1	市ホームページ 35.6
	三世帯（親と子と孫）同居	市広報紙 86.7	市ホームページ 36.3	防災行政無線 32.7
	その他	市広報紙 74.2	防災行政無線 48.4	市ホームページ 12.9
居住地区	旧竹田市	市広報紙 87.8	防災行政無線 38.4	市ホームページ 35.3
	旧荻町	市広報紙 82.7	防災行政無線 48.1	市ホームページ 32.7
	旧久住町	市広報紙 87.0	防災行政無線 48.9	市ホームページ 26.0
	旧直入町	市広報紙 88.0	防災行政無線 51.8	市ホームページ 22.9

(5) 市ホームページをどのような時に利用するか

問 16-1 問 16 で「2. 市ホームページ」に○を付けられた方におたずねします。あなたは、市ホームページをどのような時に利用しますか。
(問 16 で「2. 市ホームページ」と回答した人のみ)【複数回答】

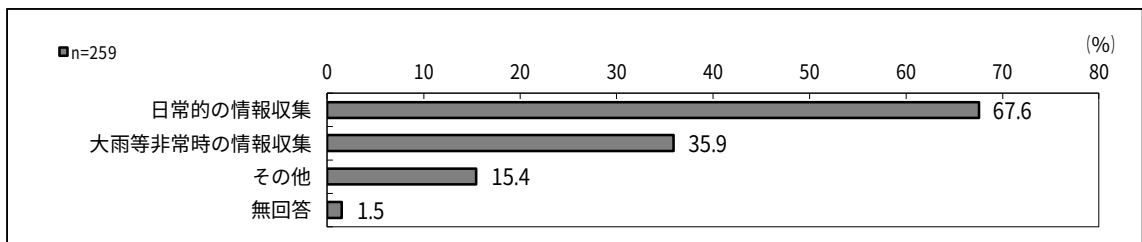


- 「日常的の情報収集」、「大雨等非常時の情報収集」の順。

問 16 で「2. 市ホームページ」と答えた人 259 人（全体の 31.8%）に、市ホームページをどのような時に利用するかたずねたところ、「日常的の情報収集」（広報紙の代わり）（67.6%）、「大雨等非常時の情報収集」（35.9%）となっています。

属性別でも、ほとんどの層で全体と同様に「日常的の情報収集」が第 1 位となっていますが、年齢別の 30 歳代では「大雨等非常時の情報収集」が第 1 位、職業別の農林畜産業では「日常的の情報収集」と「大雨等非常時の情報収集」が同率第 1 位となっています。[図表 60・61 参照]

図表 60 市ホームページをどのような時に利用するか（全体／複数回答）



図表 61 市ホームページをどのような時に利用するか
(全体・性別・年齢・世帯構成・居住地区－上位3位／複数回答)

(単位：％)

		第1位	第2位	第3位
全体		日常的の情報収集 67.6	大雨等非常時の情報収集 35.9	その他 15.4
性別	男性	日常的の情報収集 70.4	大雨等非常時の情報収集 34.8	その他 13.9
	女性	日常的の情報収集 64.7	大雨等非常時の情報収集 37.4	その他 16.5
年齢	10・20歳代	日常的の情報収集 71.4	大雨等非常時の情報収集 42.9	その他 14.3
	30歳代	日常的の情報収集 70.7	大雨等非常時の情報収集 24.4	その他 22.0
	40歳代	日常的の情報収集 59.3	大雨等非常時の情報収集 44.1	その他 18.6
	50歳代	日常的の情報収集 73.0	大雨等非常時の情報収集 28.6	その他 17.5
	60歳代	日常的の情報収集 82.5	大雨等非常時の情報収集 35.0	その他 5.0
	70歳以上	大雨等非常時の情報収集 50.0	日常的の情報収集 46.9	その他 12.5
世帯構成	ひとり暮らし	日常的の情報収集 68.4	大雨等非常時の情報収集 36.8	その他 10.5
	夫婦のみ	日常的の情報収集 69.6	大雨等非常時の情報収集 33.3	その他 11.6
	二世帯（親と子）同居	日常的の情報収集 66.9	大雨等非常時の情報収集 34.7	その他 20.7
	三世帯（親と子と孫）同居	日常的の情報収集 63.4	大雨等非常時の情報収集 46.3	その他 12.2
	その他	日常的の情報収集 75.0	大雨等非常時の情報収集 50.0	
居住地区	旧竹田市	日常的の情報収集 72.0	大雨等非常時の情報収集 36.3	その他 13.7
	旧荻町	日常的の情報収集 50.0	大雨等非常時の情報収集 29.4	その他 32.4
	旧久住町	日常的の情報収集 64.7	大雨等非常時の情報収集 35.3	その他 8.8
	旧直入町	日常的の情報収集 68.4	大雨等非常時の情報収集 52.6	その他 10.5

(6) 防災行政の音声告知放送端末（受信機）について

問 17 現在、防災行政の告知放送内容を市ホームページにも掲載しており、市公式ライン及びツイッターでも通知する予定にしておりますが、各家庭に配付している防災行政の音声告知放送端末（受信機）についてどのように思われますか。

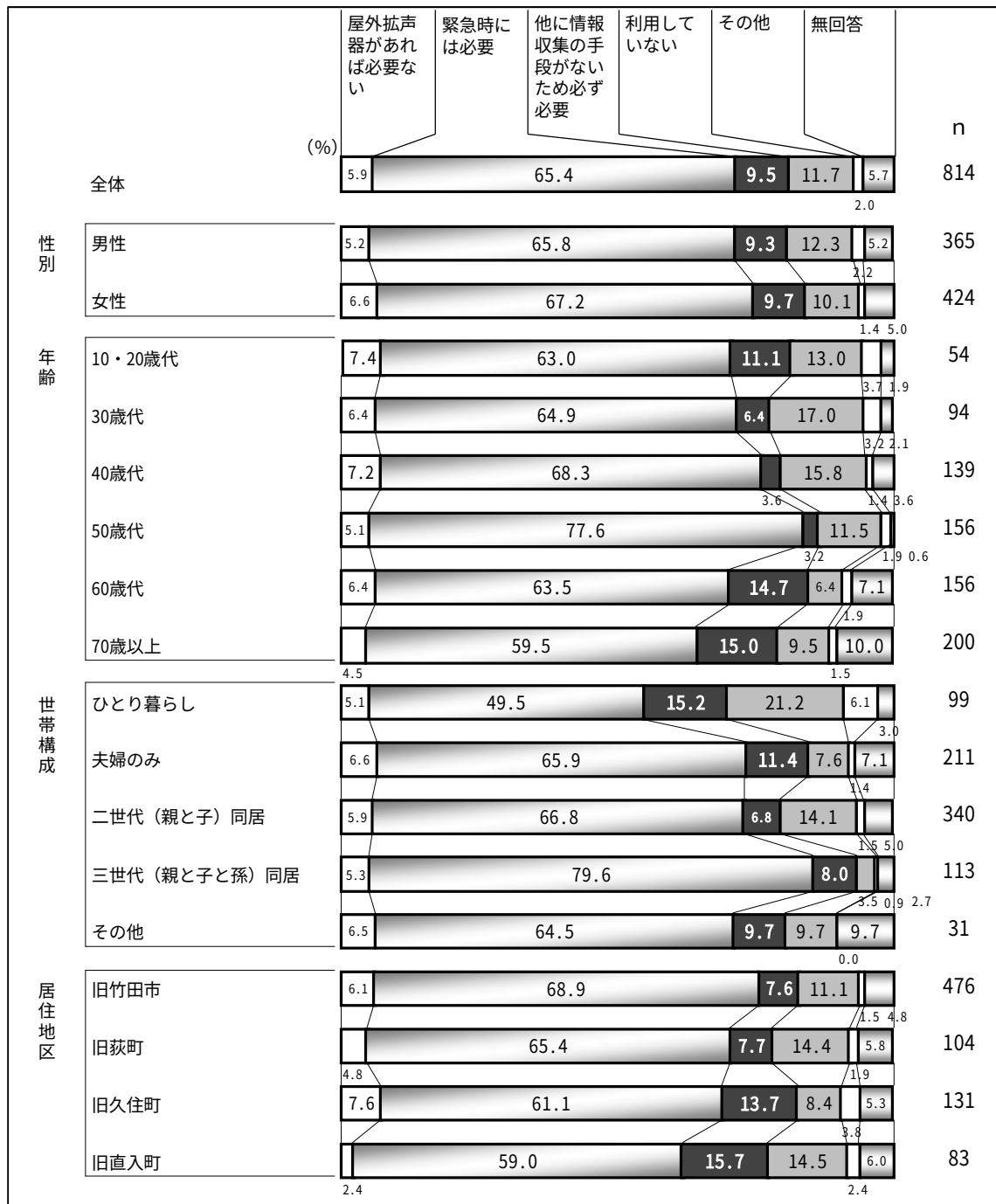


- 「緊急時には必要」が最も多い。

各家庭に配付している防災行政の音声告知放送端末（受信機）についてどう思うかたずねたところ、「緊急時には必要」（65.4%）、「利用していない」（11.7%）、「他に情報収集の手段がないため必ず必要」・「屋外拡声器があれば必要ない」（同率 5.9%）となっています。

[図表 62 参照]

図表 62 防災行政の音声告知放送端末（受信機）について
（全体・性別・年齢・世帯構成・居住地区）



まちづくりアンケートご協力をお願い

竹田市のまちづくりに向けて、ご意見をお寄せください

日頃より市政に御理解と御協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

現在、竹田市では、新たなまちづくりの指針となる「竹田市総合計画」の策定を進めています。総合計画は、これからの10年間にわたり、市民の皆さまと共にまちづくりを進めていくための大切な計画であるため、市民の皆様からご意見やご提言をいただき、将来のまちづくりの参考資料として活用することを目的に、アンケート調査を実施することといたしました。

アンケートをお願いする方は、市内にお住まいの18歳以上の皆様の中から、無作為に2,000人の方を選ばせていただきました。

ご回答は無記名方式で、内容はすべて統計的に処理を行い、本調査の目的以外に利用することはありませんので、ご多忙のところ恐縮ではございますが、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

令和3年12月

竹田市長 土居 昌 弘

ご記入にあたってのお願い

- 回答は、できるだけ**封筒の宛名のご本人**がお答えください。事情により、宛名の方がお答えいただけない場合には、ご家族の方が宛名の方の立場でお答えください。
- 設問ごとに（1つに○印）、（3つまで○印）など、それぞれ回答方法が指定されていますので、ご注意ください。
- 記入いただいた調査票は、12月28日（火）までに
同封の返信用封筒に入れてポストに投函してください。
（切手は不要です。）

【お問い合わせ先】

竹田市役所
企画情報課 総合政策室
電 話： 0974-63-4801
FAX： 0974-63-0995

問1

あなたご自身のことについて、それぞれの項目ごとにあてはまる番号を選んで1つに○印をつけてください。

(1) あなたの性別は	1. 男性 2. 女性	3. その他 4. 答えたくない
(2) あなたの年齢は	1. 10 歳代 2. 20 歳代 3. 30 歳代 4. 40 歳代	5. 50 歳代 6. 60 歳代 7. 70 歳以上
(3) あなたの職業は	1. 農林畜産業 2. 製造業・建設業 3. 商業・金融・サービス業 4. 公務員・団体職員	5. 学生 6. 専業主婦・主夫 7. 無職 8. その他 ()
(4) あなたの就学先・勤務先は	1. 市内 2. 市外 (県内)	3. 県外 4. 就学、勤務していない
(5) あなたの居住歴は	1. 竹田市に生まれてからずっと住んでいる 2. 竹田市出身だが、竹田市以外での居住経験がある 3. 県内の他の市町村から転入してきた 4. 県外から転入してきた	
竹田市に住んで通算何年になりますか	1. 5 年未満 2. 5 年以上 10 年未満	3. 10 年以上 20 年未満 4. 20 年以上
(6) あなたの世帯構成は	1. ひとり暮らし 2. 夫婦のみ 3. 二世帯 (親と子) 同居	4. 三世帯 (親と子と孫) 同居 5. その他 ()
(7) あなたの居住地区は	1. 竹田 9. 宮砥 17. 都野 2. 岡本 10. 菅生 18. 長湯 3. 明治 11. 宮城 19. 下竹田 4. 豊岡 12. 城原 20. わからない 5. 玉来 13. 荻 (大字) 6. 松本 14. 柏原 7. 入田 15. 久住 8. 姫岳 16. 白丹	

問2

あなたは、竹田市が「住みやすいまち」だと感じますか。

(1つに○印)

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 住みやすい | 4. どちらかといえば住みにくい |
| 2. どちらかといえば住みやすい | 5. 住みにくい |
| 3. どちらともいえない | |

問3

あなたは、これからも竹田市に住み続けたいと思いますか。(進学や転職などやむを得ない理由は無いものとしてお考えください。)

(1つに○印)

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1. 住み続けたい | 3. どちらかといえば住み続けたくない |
| 2. どちらかといえば住み続けたい | 4. 住み続けたくない |

「1」または「2」に○をつけた方は、
問3-1もお答えください。

「3」または「4」に○をつけた方は、
問3-2もお答えください。

問3-1

住み続けたいと思う
主な理由は何ですか。

(3つまで○印)

1. 保健・医療サービスが整っている
2. 子育て・教育環境が整っている
3. 福祉サービスが整っている
4. 文化・スポーツ環境が整っている
5. 歴史・文化資源が充実している
6. 自然環境が良い
7. 活力ある産業がある
8. 働く場所がある
9. 買い物など日常生活が便利
10. 公園や緑地が多い
11. 上・下水道などの生活環境が整っている
12. 公共交通が利用しやすい
13. 道路交通の便が良い
14. 消防・防災・防犯体制が整っている
15. 情報通信網が整っている
16. 行政サービスが充実している
17. 地域の連帯感がある
18. 近所付き合いがしやすい
19. 住み慣れて愛着がある
20. その他
(具体的に:)

問3-2

住み続けたくないと思
う主な理由は何です
か。(3つまで○印)

1. 保健・医療サービスが整っていない
2. 子育て・教育環境が整っていない
3. 福祉サービスが整っていない
4. 文化・スポーツ環境が整っていない
5. 歴史・文化資源が充実していない
6. 自然環境が良くない
7. 活力ある産業がない
8. 働く場所が少ない
9. 買い物など日常生活が不便
10. 公園や緑地が少ない
11. 上・下水道などの生活環境が整っていない
12. 公共交通が利用しにくい
13. 道路交通の便が良くない
14. 消防・防災・防犯体制が整っていない
15. 情報通信網が整っていない
16. 行政サービスが充実していない
17. 地域の連帯感が乏しい
18. 近所付き合いがしにくい
19. まちに対して愛着があまりない
20. その他
(具体的に:)

3

まちづくりの満足度とこれからの重要度について

問4

各分野にわたる取り組みについて、これまでの「満足度」と、これからの「重要度」をおたずねします。

左右それぞれの項目ごとに、あなたのお考えに（あなたにとって）一番近い番号を1つ選んで○印をつけてください。

これまでの満足度					記入例 項目	これからの重要度				
満足	やや満足	普通	やや不満	不満		重要である	やや重要	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
5	4	3	2	1	1 自然との共生	5	4	3	2	1

※満足度と重要度、それぞれ1つ○印をつけてください。

これまでの満足度					項 目	これからの重要度				
満足	やや満足	普通	やや不満	不満		重要である	やや重要	どちらとも いえない	あまり 重要でない	重要でない
← 両方、それぞれに1つ○をつけてください →										

1 自然と共生する住みやすい里づくり

5	4	3	2	1	1 自然との共生（環境保全・循環型社会）	5	4	3	2	1
5	4	3	2	1	2 生活基盤整備 （公営住宅・水道 生活排水・都市公園）	5	4	3	2	1
5	4	3	2	1	3 道路・交通網整備 （道路網の整備 公共交通の拡充）	5	4	3	2	1
5	4	3	2	1	4 情報基盤整備	5	4	3	2	1
5	4	3	2	1	5 土地利用 （調和のとれた土地利用 地籍調査事業の推進）	5	4	3	2	1
5	4	3	2	1	6 市街地整備	5	4	3	2	1
5	4	3	2	1	7 消防・救急・防災対策	5	4	3	2	1
5	4	3	2	1	8 防犯・交通安全対策	5	4	3	2	1
5	4	3	2	1	9 温泉の有効活用	5	4	3	2	1

2 未来を担う心豊かな人づくり

5	4	3	2	1	1 生涯学習の充実	5	4	3	2	1
5	4	3	2	1	2 学校教育の充実	5	4	3	2	1
5	4	3	2	1	3 社会教育の充実	5	4	3	2	1
5	4	3	2	1	4 歴史や文化の保全・継承	5	4	3	2	1

これまでの満足度					項 目	これからの重要度				
満足	やや満足	普通	やや不満	不満		重要である	やや重要	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
5	4	3	2	1	5 芸術文化の振興	5	4	3	2	1
5	4	3	2	1	6 スポーツ・レクリエーション活動の支援	5	4	3	2	1
3 やすらぎと安心に満ちた支えあうくらしづくり										
5	4	3	2	1	1 保健・医療サービスの充実	5	4	3	2	1
5	4	3	2	1	2 高齢者支援施策の充実	5	4	3	2	1
5	4	3	2	1	3 障がい者支援の充実	5	4	3	2	1
5	4	3	2	1	4 社会保障の充実	5	4	3	2	1
5	4	3	2	1	5 子育て支援の充実	5	4	3	2	1
5	4	3	2	1	6 地域福祉活動の強化	5	4	3	2	1
5	4	3	2	1	7 健康づくりの推進	5	4	3	2	1
4 自然の恵みを活かし結び合うまちづくり										
5	4	3	2	1	1 農林・畜産業の振興	5	4	3	2	1
5	4	3	2	1	2 内水面漁業の振興 〔河川, ダム漁業〕 環境の充実	5	4	3	2	1
5	4	3	2	1	3 商業の振興	5	4	3	2	1
5	4	3	2	1	4 工業（製造業）の振興	5	4	3	2	1
5	4	3	2	1	5 観光の振興	5	4	3	2	1
5	4	3	2	1	6 就労環境の整備	5	4	3	2	1
5 公民協働によるふれあう地域づくり										
5	4	3	2	1	1 地域経営の推進 〔効率的な行政運営 財政基盤の強化〕	5	4	3	2	1
5	4	3	2	1	2 協働のまちづくりの推進 〔市民参加 コミュニティ〕	5	4	3	2	1
5	4	3	2	1	3 人権の尊重	5	4	3	2	1
5	4	3	2	1	4 ふれあい交流活動の充実 〔地域間交流 国際交流〕	5	4	3	2	1

問5

まちづくりに対するあなたの「意識」と「取り組み」について、それぞれの質問ごとに、あなたのお考えに一番近い番号を1つ選んで○印をつけてください。

1. あなたご自身のことについて

1 日頃、食生活の改善や運動など、健康管理のための取り組みをしていますか。

1. している	2. ある程度 している	3. どちらとも いえない	4. あまりして いない	5. していない
---------	-----------------	------------------	-----------------	----------

2 かかりつけの医者はいますか。

1. いる	2. どちらかと いえる	3. どちらとも いえない	4. どちらかとい えはいる	5. いない
-------	-----------------	------------------	-------------------	--------

3 環境美化や省資源・省エネルギー、アイドリングストップなど、環境に配慮した生活をして
いますか。

1. している	2. ある程度 している	3. どちらとも いえない	4. あまりして いない	5. していない
---------	-----------------	------------------	-----------------	----------

4 ごみの減量化のための3R運動（リデュース：発生抑制、リユース：再使用、リサイクル：
再生使用）をしていますか。

1. している	2. ある程度 している	3. どちらとも いえない	4. あまりして いない	5. していない
---------	-----------------	------------------	-----------------	----------

5 普段、できるだけ公共の交通機関を利用していますか。

1. よく利用 する	2. まあまあ 利用する	3. どちらとも いえない	4. あまり利用 しない	5. ほとんど利 用しない
---------------	-----------------	------------------	-----------------	------------------

6 災害時の避難場所を知っていますか。

1. 知っている	2. ある程度 知っている	3. どちらとも いえない	4. あまり知ら ない	5. 知らない
----------	------------------	------------------	----------------	---------

7 職場や地域での防災訓練に参加していますか。

1. している	2. ある程度 している	3. どちらとも いえない	4. あまりして いない	5. していない
---------	-----------------	------------------	-----------------	----------

8 市の講座や教室等の生涯学習活動に参加していますか。

1. している	2. ある程度 している	3. どちらとも いえない	4. あまりして いない	5. していない
---------	-----------------	------------------	-----------------	----------

9 地域のいろいろな行事に参加していますか。

1. している	2. ある程度 している	3. どちらとも いえない	4. あまりして いない	5. していない
---------	-----------------	------------------	-----------------	----------

10 地域活動やボランティアなどで社会のために活動してみたいと思いますか。

1. 活動して みたい	2. たまには 活動してみ たい	3. どちらとも いえない	4. あまり活動 したいとは思 わない	5. 活動したい とは思わな い
----------------	------------------------	------------------	---------------------------	------------------------

11 市政に関する情報を主にどの方法で知りますか。(3つまで○印)

- | | |
|------------|------------------------|
| 1. 広報たけた | 7. 市のパンフレット・カレンダーなど |
| 2. 市ホームページ | 8. 民間情報誌 |
| 3. 議会だより | 9. イベント |
| 4. 自治会回覧板 | 10. SNS (ブログ、フェイスブック等) |
| 5. 新聞 | 11. その他 () |
| 6. テレビ・ラジオ | |

12 市と一緒にまちづくりを考えてみたいと思いますか。

- | | | | | |
|---------------|----------------|------------------|------------------|-----------|
| 1. 是非
考えたい | 2. 少しは
考えたい | 3. どちらとも
いえない | 4. あまり考え
たくない | 5. 考えたくない |
|---------------|----------------|------------------|------------------|-----------|

13 頼りになる知り合いが近所にいますか。

- | | | | | |
|-------|-------------------|------------------|--------------------|--------|
| 1. いる | 2. どちらかと
いえはいる | 3. どちらとも
いえない | 4. どちらかとい
えはいない | 5. いない |
|-------|-------------------|------------------|--------------------|--------|

2. お住まいの地域について

14 住んでいる地域の高齢者や障がいのある人にも暮らしやすいと思いますか。

- | | | | | |
|---------|---------------|------------------|------------------|-----------|
| 1. そう思う | 2. まあそう
思う | 3. どちらとも
いえない | 4. あまりそう
思わない | 5. そう思わない |
|---------|---------------|------------------|------------------|-----------|

15 住んでいる地域は買い物や通院に便利だと思いますか。

- | | | | | |
|---------|---------------|------------------|------------------|-----------|
| 1. そう思う | 2. まあそう
思う | 3. どちらとも
いえない | 4. あまりそう
思わない | 5. そう思わない |
|---------|---------------|------------------|------------------|-----------|

16 住んでいる地域は子育てに積極的だと思いますか。

- | | | | | |
|---------|---------------|------------------|------------------|-----------|
| 1. そう思う | 2. まあそう
思う | 3. どちらとも
いえない | 4. あまりそう
思わない | 5. そう思わない |
|---------|---------------|------------------|------------------|-----------|

17 住んでいる地域の子どもはのびのびと育っていると思いますか。

- | | | | | |
|---------|---------------|------------------|------------------|-----------|
| 1. そう思う | 2. まあそう
思う | 3. どちらとも
いえない | 4. あまりそう
思わない | 5. そう思わない |
|---------|---------------|------------------|------------------|-----------|

18 住んでいる地域の公共交通は便利だと思いますか。

- | | | | | |
|---------|---------------|------------------|------------------|-----------|
| 1. そう思う | 2. まあそう
思う | 3. どちらとも
いえない | 4. あまりそう
思わない | 5. そう思わない |
|---------|---------------|------------------|------------------|-----------|

19 住んでいる地域はきれいだと思いますか。

- | | | | | |
|---------|---------------|------------------|------------------|-----------|
| 1. そう思う | 2. まあそう
思う | 3. どちらとも
いえない | 4. あまりそう
思わない | 5. そう思わない |
|---------|---------------|------------------|------------------|-----------|

20 住んでいる地域に活気がありますか。

- | | | | | |
|----------|----------------|------------------|-----------------|----------|
| 1. 活気がある | 2. まあ活気
がある | 3. どちらとも
いえない | 4. あまり活気
がない | 5. 活気がない |
|----------|----------------|------------------|-----------------|----------|

21 自慢したい地域の風景や名所がありますか。

- | | | | | |
|-------|------------------|------------------|-------------------|-------|
| 1. ある | 2. どちらかと
いえはる | 3. どちらとも
いえない | 4. どちらかと
いえはない | 5. ない |
|-------|------------------|------------------|-------------------|-------|

22 地元や県内でとれた農畜産物を買っていますか。

- | | | | | |
|----------------|------------------|------------------|------------------|-------------------|
| 1. よく買って
いる | 2. まあまあ買
っている | 3. どちらとも
いえない | 4. あまり買っ
ていない | 5. ほとんど買
っていない |
|----------------|------------------|------------------|------------------|-------------------|

23 災害に対して住んでいる地域は安全だと思いますか。

- | | | | | |
|---------------|-----------------|------------------|--------------------|-----------------|
| 1. 安全だと
思う | 2. まあ安全だ
と思う | 3. どちらとも
いえない | 4. あまり安全と
は思わない | 5. 安全とは
思わない |
|---------------|-----------------|------------------|--------------------|-----------------|

24 女性の活躍を多面的に支援する地域だと思いますか。

- | | | | | |
|---------|---------------|------------------|------------------|-----------|
| 1. そう思う | 2. まあそう
思う | 3. どちらとも
いえない | 4. あまりそう
思わない | 5. そう思わない |
|---------|---------------|------------------|------------------|-----------|

25 若者が希望を持てる地域だと思いますか。

- | | | | | |
|---------|---------------|------------------|------------------|-----------|
| 1. そう思う | 2. まあそう
思う | 3. どちらとも
いえない | 4. あまりそう
思わない | 5. そう思わない |
|---------|---------------|------------------|------------------|-----------|

5

今後のまちづくりについて

問6

あなたは、今後のまちづくりを進めていくときに、市民と行政の関係は
どうあるべきだと思いますか。(1つに○印)

1. 行政の支援を受けながら、市民主導でまちづくりを進める
2. 市民と行政が協力しながら、一体となってまちづくりを進める
3. 市民が協力しながら、行政主導でまちづくりを進める
4. 行政が積極的に進めて、市民は特に関与しない
5. わからない
6. その他（具体的に：)

問7

これからの竹田市全体の施策の中で、特に重点を置くべきだと思う取り
組みは何ですか。(1つに○印)

- | | |
|-------------|-----------------|
| 1. 保健・福祉の分野 | 7. 都市基盤整備の分野 |
| 2. 教育の分野 | 8. 交通の分野 |
| 3. 子育ての分野 | 9. 防災・防犯の分野 |
| 4. 人口減少対策 | 10. 生涯学習の分野 |
| 5. 環境保全の分野 | 11. 市政運営の分野 |
| 6. 産業振興の分野 | 12. その他（具体的に：) |

問8

あなたは竹田市が子育てしやすいまちになるために、どのようなことに
力を入れたらよいと思いますか。(3つまで○印)

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. 若者・女性への就職・再就職支援 | 6. 地域での子育て支援や交流の充実 |
| 2. 若者の雇用の場づくり | 7. 子育て家庭への経済的支援の充実 |
| 3. 家庭での男女共同参画の推進 | 8. 若い世代向けの住宅の確保 |
| 4. 保育サービスの充実 | 9. わからない |
| 5. 学校教育の充実 | 10. その他（具体的に：) |

問 9

あなたは、今後のまちづくりにおいて、竹田市をどのようなまちにしたいと考えますか。
(3つまで○印)

- | | |
|------------------------|---------------------------|
| 1. 美しい自然環境や景観が誇れるまち | 7. 保育・教育環境が充実したまち |
| 2. 安全・安心な住環境の整備を優先するまち | 8. 生涯学習や文化芸術・スポーツ活動が活発なまち |
| 3. 農林畜産業を中心として発展するまち | 9. ITサービスの充実した情報化が進んだまち |
| 4. 商業の振興や企業立地を推進するまち | 10. わからない |
| 5. 観光や交流事業を進めるまち | 11. その他(具体的に:) |
| 6. 保健・医療・福祉の充実したまち | |

問 10

市民と行政が協力して課題解決や地域づくりを行う「市民参画・協働のまちづくり」を進めるため、今後行政においてどのような取り組みが必要だと思いますか。
(3つまで○印)

- | | |
|----------------------------------|-----------------------------|
| 1. 行政情報の提供・公開の充実 | 7. ボランティア活動を活性化するための仕組みづくり |
| 2. 自治会組織の強化、活動支援 | 8. 多くの市民の意見や要望を聞くための広聴活動の充実 |
| 3. まちづくりリーダーの育成 | 9. 市民参画・協働のまちづくりは必要ではない |
| 4. 新たなまちづくりの担い手(NPO等)の育成・支援 | 10. わからない |
| 5. まちづくりに関する学習機会の提供 | 11. その他(具体的に:) |
| 6. 審議会や委員会などへの公募委員、パブリックコメント※の充実 | |

※パブリックコメントとは

行政が条例等を決めようとする際に、あらかじめその案を公表し、広く市民からの意見、情報を募集する手続のこと。「意見公募手続」などとも呼ばれます。

問 11

地方自治体を取り巻く財政状況は依然として厳しく、これからのまちづくりは、限られた財源をより効果的に配分・活用していくことが求められています。竹田市においても経費の削減や収入の確保に努めていますが、このような時代を迎え、これからの行政サービスのあり方について、どのようにお考えですか。
(1つに○印)

1. 今までどおりの行政サービスの種類や水準が維持されるなら、受益者の金銭的負担が増えるのはやむを得ない
2. 受益者の金銭的負担を増やさずに、行政サービスの種類や水準を維持するべき
3. 受益者の金銭的負担を増やさない場合、行政サービスの種類が減るのは仕方ないが、水準は維持してほしい
4. 受益者の金銭的負担を増やさない場合、行政サービスの水準の低下は仕方ないが、種類は維持してほしい
5. 受益者の金銭的負担を増やさない場合、行政サービスの種類が減り、水準も低下するのはやむを得ない
6. その他(具体的に:)

あなたは、竹田市の今後の行財政改革で優先的に行うべき項目は何だと思いませんか。 (3つまで○印)

1. 市の助成金、補助金効果を検証して見直しして、適正かつ効果的に運用すること
2. 市が主催するイベント、講演会等の開催頻度や内容の見直し
3. 公共施設の統廃合
4. 公共施設の運営の民間・市民団体への委託
5. 市有地（遊休地）や公共施設などの有効活用（売却・貸付など）
6. 窓口サービスの向上
7. 公共工事のコスト削減・適正化
8. 公共料金の適正化
9. 市税等の滞納金の徴収率の向上
10. 周辺市町村との連携
11. 情報公開の推進
12. 現状のままでよい
13. その他（具体的に： ）

6

インターネットや情報入手方法について

問 13

あなたが所有している携帯電話の端末はどの種類ですか。(1つに○印)

1. スマートフォン
(スマホ)
2. スマホでない
携帯電話
3. その他
()
4. 所有していない

問 14

あなたはインターネットを利用する場合は、どの端末を利用していますか。
(あてはまるものすべてに○印)

1. パソコン 2. スマートフォン 3. タブレット 4. その他() 5. インターネットを利用しない

問 15

あなたが、プライベートにおいて利用している、音声通話を除く連絡手段のうち、利用頻度の高い上位3つを以下より選んでください。

- | 1 番 「
」 | 2 番 「
」 | 3 番 「
」 |
|--------------------|------------|-----------------------|
| 1. Eメール | | 5. ツイッター ダイレクトメッセージ |
| 2. ショートメール (SMS) | | 6. インスタグラム ダイレクトメッセージ |
| 3. ライントーク (LINE) | | 7. その他 () |
| 4. フェイスブック メッセンジャー | | 8. 利用していない |

問 16

あなたは行政からのお知らせなどの情報を、どの広報媒体から入手していますか。
(あてはまるものすべてに○印)

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. 市広報紙 | 6. 防災行政無線 |
| <u>2. 市ホームページ</u> | 7. 市公式フェイスブック |
| 3. 市公式ライン | 8. H Pスマートフォンアプリ |
| 4. 市公式ツイッター | 9. その他（ ） |
| 5. 登録制メール | 10. 情報を必要としていない |

問 16-1

問16で「2. 市ホームページ」に○を付けられた方におたずねします。あなたは、市ホームページをどのような時に利用しますか。
(あてはまるものすべてに○印)

- | | | |
|--------------------------|--------------------|---------------|
| 1. 日常的の情報収集
(広報紙の代わり) | 2. 大雨等非常時の
情報収集 | 3. その他
() |
|--------------------------|--------------------|---------------|

問 17

現在、防災行政の告知放送内容を市ホームページにも掲載しており、市公式ライン及びツイッターでも通知する予定にしておりますが、各家庭に配付している防災行政の音声告知放送端末(受信機)についてどのように思われますか。
(1つに○印)

- | | | | | |
|----------------------|------------|-----------------------|------------|---------------|
| 1. 屋外拡声器があれば必要な
い | 2. 緊急時には必要 | 3. 他に情報収集の手段がないため必ず必要 | 4. 利用していない | 5. その他
() |
|----------------------|------------|-----------------------|------------|---------------|

7**政策提案について****問 18**

【任意でお答えください】

これからの竹田市を良くしていく上で、新たな政策提案などがありましたらお書きください。

＜政策提案＞

政策名：「」
内 容：

8**ご意見・ご提言について****問 19**

最後に、あなたが将来に向けて市の行政に望むことや、まちづくりに関する意見・提案などがありましたら、自由にご記入ください。

**アンケートはこれで終わりです。ご協力ありがとうございました。
調査の結果については、竹田市ホームページでお知らせいたします。**